

令和5年度
西予市まちづくり報告書

～第2次西予市総合計画の進行管理～

西予市

令和6年 10月

目次

1. 西予市まちづくり報告書の基本的な考え方.....	5
(1) 西予市まちづくり報告書の意義.....	5
(2) 総合計画の構成.....	5
①まちづくりを施策体系の中で進めていく総合計画.....	5
②まちづくりのめざすべき姿を市民にわかりやすい『モノサシ（成果指標）』で示す総合計画.....	5
(3) 総合計画の進行管理方法.....	6
2 施策体系.....	7
3 令和4年度の評価概要.....	13
4 施策の進捗状況.....	17
(1) 報告書の見方.....	17
5 施策・基本事業の評価結果.....	19
【政策】1) しごとづくり.....	19
1) 商工業の振興.....	19
2) 農業の振興.....	23
3) 森林保全と林業の振興.....	29
4) 水産業の振興.....	35
5) 観光の振興.....	39
【政策】2) ひとづくり.....	45
1) 子育て支援の推進.....	45
2) 学校教育の充実.....	51
3) 健康づくりの推進.....	59
4) 継続的な医療体制づくりの推進.....	65
5) 火災・救急体制の整備.....	71
6) 高齢者福祉・介護保険の推進.....	77
7) 障がい者福祉の推進.....	83
8) セーフティネットの確保と地域福祉の推進.....	89
9) 生涯学習の推進.....	95
10) 人権の尊重と男女共同参画の推進.....	99
11) スポーツの振興.....	103
12) 文化の振興.....	109
【政策】3) まちづくり.....	113
1) 持続可能な市域へのデザイン.....	113
2) 市民協働の推進.....	121
3) 防災・減災対策の推進.....	127
4) 交通安全・防犯対策の推進.....	131
5) 道路・橋梁整備と維持管理.....	135
6) 水道水の安定供給.....	139
7) 汚水処理の推進.....	143

8) 自然環境・生活環境の保全	147
9) 地域情報化と情報発信力の向上.....	153
【政策】 4) 行財政	159
1) 持続的な行政経営への取り組み推進.....	159

1. 西予市まちづくり報告書の基本的な考え方

(1) 西予市まちづくり報告書の意義

西予市では、平成 28 年 3 月に西予市総合計画策定条例に基づき「**変革、それこそ夢と希望を叶える唯一のすべである**」をテーマに「第 2 次西予市総合計画（平成 28 年度～令和 8 年度）」を策定しました。

総合計画は、全ての計画の基本となる、まちづくりの最上位計画であると共に、西予市の目指すまちづくりを示した「まちづくりの設計図」であり、その設計図に基づき、税金などの財源を活用して事業を展開しています。その「まちづくりの設計図」どおりに順調に進んでいるか、遅れ気味の施策はないか、施策別の財源の使われ方や事務事業の状況について、市民のみなさんにわかりやすく示していくことは、市の重要な役割と考えます。

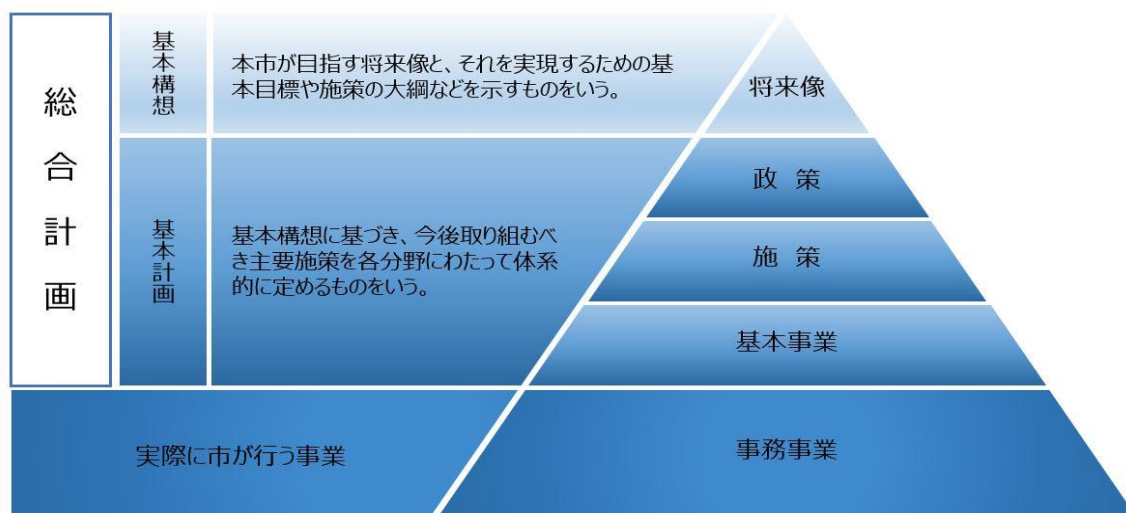
「設計図どおりにまちづくりが進んでいるか」

「限られた財源が有効に使われているか、成果が出ているか」

「自治体を取り巻く環境変化に対応していくために、どの事務事業を見直す必要があるか」

また、総合計画の進捗状況を評価し、「まちづくり設計図」の見直しの必要性や事務事業の新規展開、スクラップ・アンド・ビルドをおこなうための資料や行政の意思決定の判断材料としても活用します。

(2) 総合計画の構成



① まちづくりを施策体系の中で進めていく総合計画

第 2 次西予市総合計画では、令和 9 年 3 月末の人口 35,000 人、市内総生産 800 億円という目標値を掲げ、実現するために 4 つの基本目標（政策）と 27 の施策で構成する設計図として、新しいまちづくりを進めていくこととしています。

② まちづくりのめざすべき姿を市民にわかりやすい『モノサシ（成果指標）』で示す総合計画

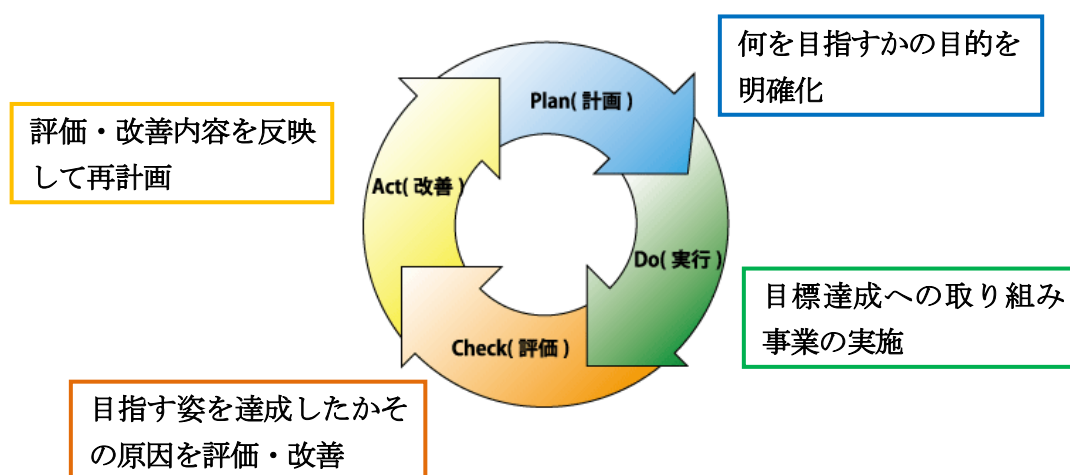
総合計画の進行管理（まちづくりの進展の確認）をおこなうために、施策ごとに「何をめざすのか」というモノサシ＝成果指標を設定し、『まちの設計図』として進行管理できるよ

うにしました。

西予市では、27 の施策とその手段である 107 の基本事業に 253 の成果指標を設定し、まちづくりの進展を評価しています。

(3) 総合計画の進行管理方法

総合計画のめざすまちづくりを施策体系でとらえ、「市民起点」「成果重視」の視点に立って、『Plan(企画)⇒Do(実施)⇒Check(評価)⇒Action(見直し)』というサイクルの中で進行管理等をおこなう「行政評価」の仕組みを適用するため、行政経営システムによる進行管理を行っております。



行政経営システムは、総合計画の体系に基づいて、施策（基本目標）・基本事業・事務事業の3階層による評価で構成され、それぞれ成果指標を設定し、管理しております。

施策・基本事業の成果に影響を及ぼす手段である事務事業については、事務事業評価表で事業コストや活動指標、成果指標による評価を行い、施策・基本事業の目的達成やコストダウン等に向けた次年度の方向性を検討する資料として活用します。その検討結果は施策・基本事業評価の次年度方向性に反映されます。この「西予市まちづくり報告書」では施策単位ごとに評価結果をまとめて報告します。

2 施策体系

【基本計画】

基本計画の政策体系に基づく事業

しごとづくり

1 - 商工業の振興

- 空き店舗・空き地活用の推進
- 事業所の経営支援
- 企業誘致と創業支援

4 - 水産業の振興

- 水産物流通円滑化の推進
- 水産業の担い手育成
- 漁港の整備と維持管理

2 - 農業の振興

- 持続的な農業経営への基盤づくり
- 地産・地消の推進
- 経営安定化への支援
- 畜産・酪農の推進
- 特産品・産地化の推進

5 - 観光の振興

- 観光施設の活用と適正な管理
- 観光推進組織の強化
- イベントによる観光の促進
- ジオパークの普及推進

3 - 森林保全と林業の振興

- 林業事業体の育成支援
- 林業環境の基盤整備
- 森林除間伐の推進
- 市産材の活用促進

ひとづくり

1 - 子育て支援の推進

- 幼保機能の充実／保育サービスの充実
- 全ての子どもが健やかに育つ支援
- 子育て家庭への経済援助
- 家族形成の支援

2 - 学校教育の充実

- 確かな学力の育成
- 健やかな体の育成
- 豊かな心を育む
- 教育環境の整備
- 地域の特色を活かした学習の推進
- 地域と共にある学校づくり
- 安全な通学環境整備と放課後活動の充実

3 - 健康づくりの推進

- 早期発見・早期治療の促進
- 生活習慣の改善による疾病予防
- 心の健康づくり
- 母子の健やかな成長支援

4 - 継続的な医療体制づくりの推進

- 地域医療の継続的運営への取組み
- 救急医療の確保
- 国民健康保険財政の健全運営

5 - 火災・救急体制の整備

- 常備消防・救急体制の確保
- 常備消防施設整備の整備
- 警防・予防体制の充実
- 消防団活動の推進

6 - 高齢者福祉・介護保険の推進

- 社会参加促進と連携による見守りの推進
- 介護予防の推進
- 地域包括ケアシステムの推進
- 住み慣れた地域で暮らせる介護環境づくり
- 介護保険の適正利用

7 - 障がい者福祉の推進

- 自立支援・地域生活支援サービスの利用促進
- 障がい者への経済援助
- 障がいに対する理解の推進
- 社会参加の促進

ひとづくり

8 - セーフティネットの確保と地域福祉の推進

- 自立支援と適正な生活保護
- 生活困窮者対策の推進
- インフォーマルサービスの推進
- 窓口業務のワンストップ化

11 - スポーツの振興

- スポーツ推進の基盤整備
- スポーツ機会の充実
- 競技スポーツの支援
- スポーツ施設の管理と利用促進

9 - 生涯学習の推進

- 生涯学習施設の管理
- 生涯学習機会の充実
- 地域・学校との連携

12 - 文化の振興

- 文化財の保護
- 文化施設の適正化と維持管理
- 特色のある文化施策の取組み

10 - 人権の尊重と男女共同参画の推進

- 人権教育の推進
- 人権の擁護
- 男女共同参画の推進

まちづくり

1 - 持続的な市域へのデザイン

- 市街地整備及びコンパクトシティの推進
- 地域計画の策定によるまちづくり
- 遊休資産の有効活用
- 公園の維持管理
- 国際化・地域間交流の推進
- 市内高等学校の魅力化
- 大学連携の推進

2 - 市民協働の推進

- コミュニティ施設の管理・再編
- 支所・公民館機能の再編
- 地域主導の地域づくり
- 市民活動の活性化

3 - 防災・減災対策の推進

- 地域防災力の強化
- 防災情報システムの整備
- 空き家の安全管理

4 - 交通安全・防犯対策の推進

- 交通安全対策の推進
- 防犯対策の推進
- 被害に合わない・被害を軽減する取組みの推進

5 - 道路・橋梁整備と維持管理

- 道路の整備と維持管理
- 橋梁の整備と維持管理

6 - 水道水の安定供給

- 水道施設の整備・更新
- 安定した上水道経営の推進
- 水質の保全

7 - 汚水処理の推進

- 汚水処理施設・管渠の維持管理
- 安定した下水道経営の推進
- 汚水処理施設への接続促進

8 - 自然環境・生活環境の保全

- 適正な廃棄物処理
- 減量化・資源化の推進
- 生活環境の改善
- 自然への負荷低減
- 生物多様性の保全・推進

9 - 地域情報化と情報発信力の向上

- ICT利活用の推進
- 情報提供及び発信の強化
- 庁内システムの整備と管理

行 財 政

1 - 持続的な行政経営への取組み推進

財政運営の健全化

信頼される職員・組織・人事管理

成果志向・効率的な仕事の推進

移住・定住・安住への取組み推進

公共施設マネジメントの推進

情報公開と保護

適切な事務の執行

3 令和5年度の評価概要

第2次西予市総合計画の施策に設定された46の成果指標について、令和5年度の成果指標動向は、以下のとおりとなっています。

評価種別		対基準値の評価		対前年度の評価	
☀	順調・良好な指標	11	23.9%	9	19.6%
☁	現状維持・遅延傾向の指標	13	28.3%	17	37.0%
☔	順調・良好でない指標	10	21.7%	7	15.2%
—	比較不可の指標	12	26.1%	13	28.3%
合計		46	100%	46	100%

【①基準値（R1）と比較した政策別の成果指標の動向】

政策	評価種別				施策の成果指標
政策	☀	☁	☔	—	☀：順調・良好な指標 ☁：現状維持・遅延傾向の指標 ☔：順調・良好でない指標 —：比較不可の指標
経済・産業・観光	1	3	4	1	☁ 第2次産業市民総生産額 ☁ 第3次産業市民総生産額 ☔ 農業市内総生産額 ☔ 農業所得 ☀ 林業市内総生産額 ☁ 林業経営体数 ☔ 水産業市内総生産額 — 水産業経営体数 ☔ 観光入込客数
子育て・教育・文化・スポーツ	5	8	6	3	☁ この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児保護者の割合 ☁ 子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児保護者の割合 ☔ 子ども・子育て計画で、予定どおりに進行している項目割合 ☀ 学校生活に満足している児童割合（小学生） ☔ 学校生活に満足している生徒割合（中学生） ☁ 平均自立期間（男性） ☁ 平均自立期間（女性） ☁ 標準化死亡比（SMR） 男性 ※5年毎 ☁ 標準化死亡比（SMR） 女性 ※5年毎 — 市内、近隣市町に、必要な医療機関が整っていると感じる市民の割合 ☀ 国民健康保険の法定外繰入金額 ☔ 年間火災発生件数 ☁ 自立高齢者割合 ☔ 障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障がいの者の割合（分母から重度障がいの者を除く） ☁ 在宅で生活している障がいの者の割合 — 法定受託事業のため「なし」 — 生涯学習活動を行っている市民の割合 ☔ 最近1年間に人権を傷つけられたことがある市民の相談件数 ☀ 女性の就業割合 ☀ 西予市が維持管理するスポーツ施設の利用者数 ☔ 文化施設・文化事業の入場者・参加者数（文化会館、資料館・美術館、公民館） ☀ 毀損・消滅した有形・無形文化財数
まちづくり	4	1	0	7	☀ 都市マスタープラン進捗率 — 自助共助の意識が維持若しくは、向上していると感じる市民割合 — 市民レベルでの防災・減災体制ができていると思う市民の割合 ☀ 交通事故発生件数 — 幹線道路に満足している市民の割合 — 生活道路に満足している市民の割合 — 水道水が常に安心・安全に使えと思う市民の割合 ☀ 汚水処理人口普及率 ☁ 最終処分量 ☀ 生活環境・公害に関する苦情・トラブル件数 — 自然環境に関する満足度 — 市内の情報環境が整っていると思う市民割合
行財政	1	1	0	1	— 標準財政規模に占める財政調整基金残高の割合 ☀ 効率的・計画的なまちづくりが進められていると思う職員の割合 ☁ 総合計画（施策・基本事業）の成果指標向上割合（対基準値）

【②前年度（R4）と比較した政策別の成果指標の動向】

政策	評価種別				施策の成果指標
	☀	☘	☂	—	
産業経済	3	2	3	1	☀：順調・良好な指標 ☘：現状維持・遅延傾向の指標 ☂：順調・良好でない指標 —：比較不可の指標 ☂ 第2次産業市民総生産額 ☘ 第3次産業市民総生産額 ☂ 農業市内総生産額 ☂ 農業所得 ☀ 林業市内総生産額 ☘ 林業経営体数 ☀ 水産業市内総生産額 — 水産業経営体数 ☀ 観光入込客数
子育て・教育	3	13	3	3	☘ この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児保護者の割合 ☘ 子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児保護者の割合 ☘ 子ども・子育て計画で、予定どおりに進行している項目割合 ☘ 学校生活に満足している児童割合（小学生） ☂ 学校生活に満足している生徒割合（中学生） ☘ 平均自立期間（男性） ☘ 平均自立期間（女性） ☘ 標準化死亡比（SMR） 男性 ※5年毎 ☘ 標準化死亡比（SMR） 女性 ※5年毎 — 市内、近隣市町に、必要な医療機関が整っていると感じる市民の割合 ☀ 国民健康保険の法定外繰入金額 ☂ 年間火災発生件数 ☘ 自立高齢者割合 ☘ 障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障がい者の割合（分母から重度障がい者を除く） ☘ 在宅で生活している障がい者の割合 — 法定受託事業のため「なし」 — 生涯学習活動を行っている市民の割合 ☘ 最近1年間に人権を傷つけられたことがある市民の相談件数 ☘ 女性の就業割合 ☀ 西予市が維持管理するスポーツ施設の利用者数 ☂ 文化施設・文化事業の入場者・参加者数（文化会館、資料館・美術館、公民館） ☘ 毀損・消滅した有形・無形文化財数
まちづくり	2	1	1	8	☀ 都市マスタープラン進捗率 — 自助共助の意識が維持若しくは、向上していると感じる市民割合 — 市民レベルでの防災・減災体制ができていると思う市民の割合 ☀ 交通事故発生件数 — 幹線道路に満足している市民の割合 — 生活道路に満足している市民の割合 — 水道水が常に安心・安全に使えと思う市民の割合 — 汚水処理人口普及率 ☘ 最終処分量 ☂ 生活環境・公害に関する苦情・トラブル件数 — 自然環境に関する満足度 — 市内の情報環境が整っていると思う市民割合
行財政	1	1	0	1	— 標準財政規模に占める財政調整基金残高の割合 ☀ 効率的・計画的なまちづくりが進められていると思う職員の割合 ☘ 総合計画（施策・基本事業）の成果指標向上割合（対基準値）

第2次西予市総合計画の施策に設定された46の成果指標について、令和5年度の目標達成度は、以下のとおりとなっています。

評価種別		目標達成度の評価	
達成	総合計画の目標値を達成している	9	19.6%
高	総合計画目標値達成率75%-100%未満	2	4.3%
中	総合計画目標値達成率50%-75%未満	4	8.7%
低	総合計画目標値達成率0%-50%未満	19	41.3%
—	比較不可の指標	12	26.1%
合計		46	100%

【③政策別の目標達成度の動向】

政策	評価種別					施策の成果指標
政策	達成	高	中	低	—	達成：総合計画の目標値を達成している 高：総合計画目標値達成率75%-100%未満 中：総合計画目標値達成率50%-75%未満 低：総合計画目標値達成率0%-50%未満 —：比較不可の指標
産業振興	2	0	1	5	1	達成 第2次産業市民総生産額 中 第3次産業市民総生産額 低 農業市内総生産額 低 農業所得 達成 林業市内総生産額 低 林業経営体数 低 水産業市内総生産額 — 水産業経営体数 低 観光入込客数
子育て・教育	5	1	2	11	3	低 この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児保護者の割合 低 子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児保護者の割合 低 子ども・子育て計画で、予定どおりに進行している項目割合 達成 学校生活に満足している児童割合（小学生） 達成 学校生活に満足している生徒割合（中学生） 低 平均自立期間（男性） 低 平均自立期間（女性） 低 標準化死亡比（SMR） 男性 ※5年毎 低 標準化死亡比（SMR） 女性 ※5年毎 — 市内、近隣市町に、必要な医療機関が整っていると感じる市民の割合 達成 国民健康保険の法定外繰入金額 低 年間火災発生件数 達成 自立高齢者割合 低 障がいの特性及びその環境に応じて就業している障がいの者の割合（分母から重度障がいの者を除く） 高 在宅で生活している障がいの者の割合 — 法定受託事業のため「なし」 — 生涯学習活動を行っている市民の割合 中 最近1年間に人権を傷つけられたことがある市民の相談件数 中 女性の就業割合 達成 西予市が維持管理するスポーツ施設の利用者数 低 文化施設・文化事業の入場者・参加者数（文化会館、資料館・美術館、公民館） 達成 毀損・消滅した有形・無形文化財数
まちづくり	2	1	1	1	7	高 都市マスタープラン進捗率 — 自助共助の意識が維持若しくは、向上していると感じる市民割合 — 市民レベルでの防災・減災体制ができていていると思う市民の割合 達成 交通事故発生件数 — 幹線道路に満足している市民の割合 — 生活道路に満足している市民の割合 — 水道水が常に安心・安全に使えていると思う市民の割合 中 汚水処理人口普及率 低 最終処分量 達成 生活環境・公害に関する苦情・トラブル件数 — 自然環境に関する満足度 — 市内の情報環境が整っていると思う市民割合
行財政	0	0	0	2	1	— 標準財政規模に占める財政調整基金残高の割合 低 効率的・計画的なまちづくりが進められていると思う職員の割合 低 総合計画（施策・基本事業）の成果指標向上割合（対基準値）

※比較不可の主な理由

- ・指標の増減が成果と言えない指標のため
例) 標準財政規模に占める財政調整基金残高の割合
- ・令和5年度を対象とする市民アンケート未実施により、実績値の取得が不可のため
例) 幹線道路に満足している市民の割合
- ・実績値の取得が数年毎となる指標のため
例) 水産業経営体数

4 施策の進捗状況

今回の報告は、第2次総合計画で掲げた以下に記載している政策単位で、その政策を実現するための手段である施策・基本事業の「成果指標値の推移」、「成果指標に対する評価」、「特記事項」等を各施策の主管課・関係課が記載、評価しています。

(1) 報告書の見方

政策 01 しごとづくり

施策 01 商工業の振興

■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか) 市民、市内事業者、就職希望者	意図(どのような状態にしたいのか) 商工業の発展により地域が活性化し、就業機会も拡充されます。
---	---

② 指標

第2次産業市民総生産額（百万円）

④ 対基準値
 (向上)

対前年度
 (横ばい)

目標達成度
 (達成)

⑤ 指標値の注釈

③ 指標の動き

後期基準値	16,621
R02実績	20,561
R03実績	23,767
R04実績	18,404
R05実績	16,779
R06実績	
R06目標値	16,700

経済振興課

⑤ 特記事項

実績値低下の要因は、製造業・建設業の生産額減少によるものと考えられる。近年はコロナ禍の影響により受注・製造・生産等が低迷していたが、今後は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、受注機会の増加や製造・建設業の活性化が見込める。

※システムの都合上、目標値の年度が「R06」となっておりますが、総合計画最終年度である「R08」が正式なものです。

①総合計画の各分野における施策や基本事業の名称を記載しています。

②施策・基本事業に係る成果指標を記載しています。

「成果指標」とは、施策や基本事業の達成度を示すモノサシです。

③令和2年度から令和5年度の実績値と、総合計画にも記している当指標の目標値を記載しています。

④対基準値・・・令和5年度の実績値を基準値（令和元年度）と比較し、「☀️向上」「🔴横ばい」「☔️低下」「—比較不可」の4種で評価しています。

対前年度・・・令和5年度の実績値を前年度（令和4年度）と比較し、「☀️向上」「🔴横ばい」「☔️低下」「—比較不可」の4種で評価しています。

目標達成度・・・目標値と基準値（令和元年度）の差を、令和5年度どれだけ改善することができたか、「達成」「高」「中」「低」「-」の5種で評価しています。

⑤担当課が特記事項を記載しています。

5 施策・基本事業の評価結果

次ページより、施策・基本事業ごとの評価結果をお示ししております。

政策 01 しごとづくり

施策 01 商工業の振興

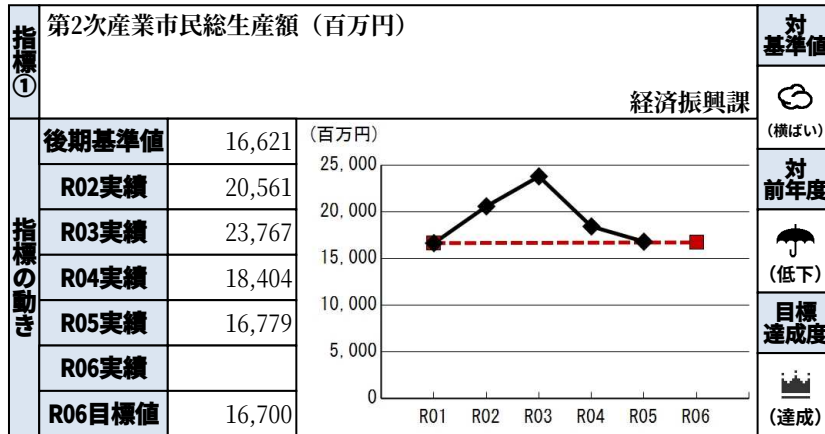
■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)

市民、市内事業者、就職希望者

意図(どのような状態にしたいのか)

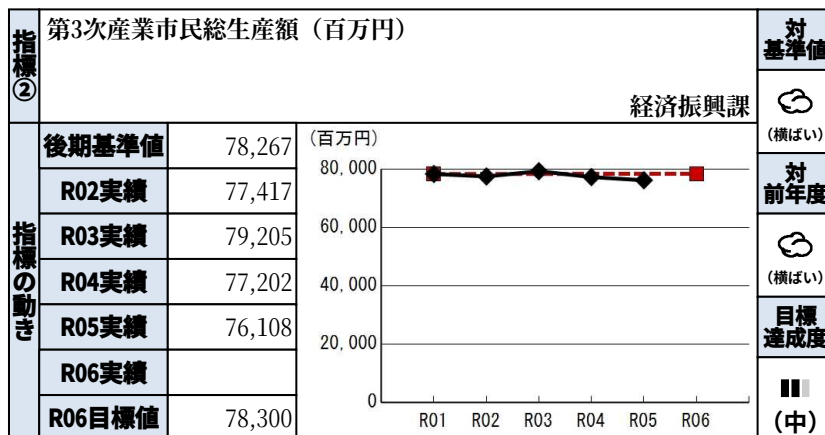
商工業の発展により地域が活性化され、就業機会も拡充されます。



指標値の注釈

特記事項

実績値低下の要因は、製造業・建設業の生産額減少によるものと考えられる。近年はコロナ禍の影響により受注・製造・生産等が低迷していたが、今後は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、受注機会の増加や製造・建設業の活性化が見込める。



指標値の注釈

特記事項

実績値低下の要因は運輸・郵便業、宿泊・飲食サービス業、教育分野の生産額減少によるものとする。近年はコロナ禍の影響により流通等が低迷していたが、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い経済好循環が見込める。

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 空き店舗・空き地活用の推進

指標①	空き店舗・空き地活用件数（計画期間累計）（件）		対基準値
	経済振興課		☁ (横ばい)
指標の動き	後期基準値	5	対前年度 ☀ (向上)
	R02実績	3	
	R03実績	5	
	R04実績	2	
	R05実績	5	
	R06実績		
	R06目標値	5	

目標達成度
🏠
(達成)

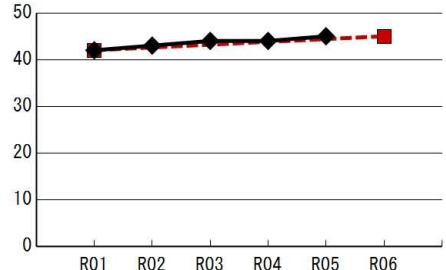
指標値の注釈

計画期間累計ではなく、単年度集計とする。

特記事項

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、新規及び規模拡大の事業計画が見込め、事業推進が図れたと考えられる。

基本事業02 事業所の経営支援

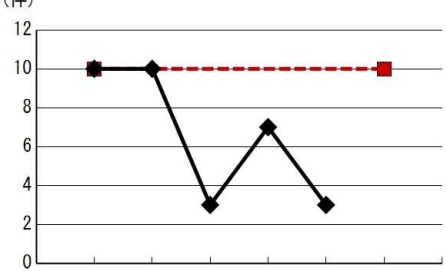
指標①	黒字化している事業所割合（法人市民税の法人税割を納めている事業所割合）（％）		経済振興課	対基準値 ☀ (向上)
	後期基準値	42		
指標の動き	R02実績	43		対前年度 ☁ (横ばい)
	R03実績	44		目標達成度 🏠 (達成)
	R04実績	44		
	R05実績	45		
	R06実績			
	R06目標値	45		

指標値の注釈

特記事項

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、経済の好循環とともに事業経営が向上したものと考えられる。

基本事業02 事業所の経営支援

指標②	後継者不足による廃業件数(計画期間累計) ※自主的廃業は除く(継続したいが、できないもののみ)（件）		経済振興課	対基準値 ☀ (向上)
	後期基準値	10		
指標の動き	R02実績	10		対前年度 ☀ (向上)
	R03実績	3		目標達成度 🏠 (達成)
	R04実績	7		
	R05実績	3		
	R06実績			
	R06目標値	10		

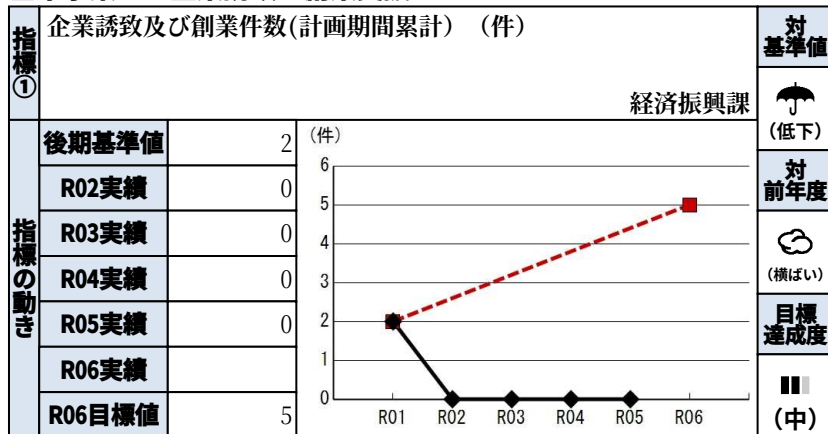
指標値の注釈

計画期間累計ではなく、単年度集計とする。

特記事項

事業者の高齢化は進行しているものの、商工会の各事業支援計画等により廃業件数は抑制されている。

基本事業03 企業誘致と創業支援



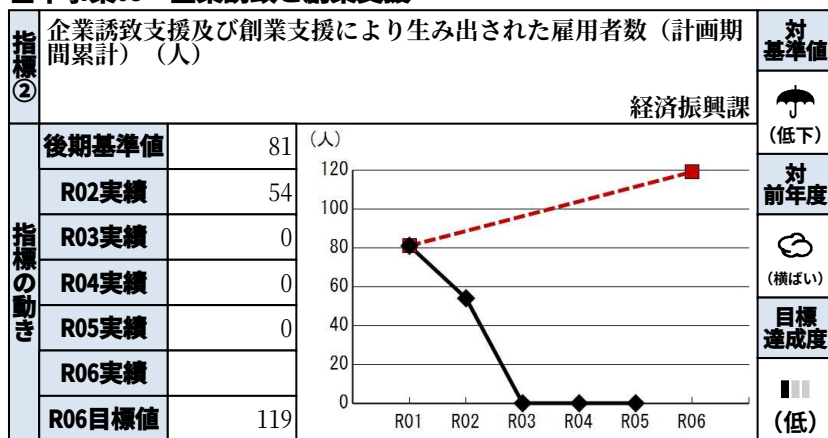
指標値の注釈

計画期間累計ではなく、単年度集計とする。

特記事項

西予市企業誘致条例に基づく指定企業数を指標値としており、令和2年度以降、実績がない状況であるが、現在指定申請に向けて、検討されている企業の情報もあり、令和6年度以降、複数件の新規操業が見込まれる。

基本事業03 企業誘致と創業支援



指標値の注釈

計画期間累計ではなく、単年度集計とする。

特記事項

企業誘致条例に基づく雇用奨励金の対象者数を指標値としているが、「純増」が要件となっているため、例年実績がゼロの状況となっている。

政策 01 しごとづくり

施策 02 農業の振興

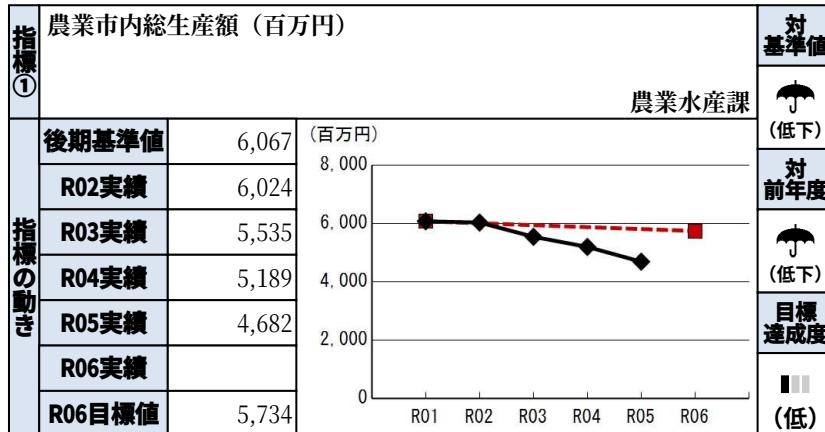
■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)

市内農業者

意図(どのような状態にしたいのか)

持続可能な生産基盤の強化により、農業振興が図られています。

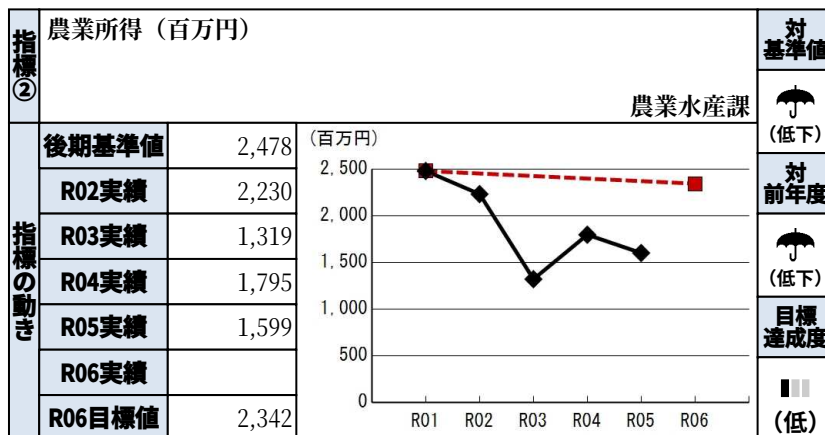


指標値の注釈

実績値はN-2年度

特記事項

農家の高齢化や、後継者不足によって、経営耕地面積も減っていることから、対前年度比で実績値が減少した。引き続き、認定農業者に対して、農用地の利用集積の目標及び経営改善等を記載した経営改善計画の作成を推進し、農業市内総生産額の向上に努める。



指標値の注釈

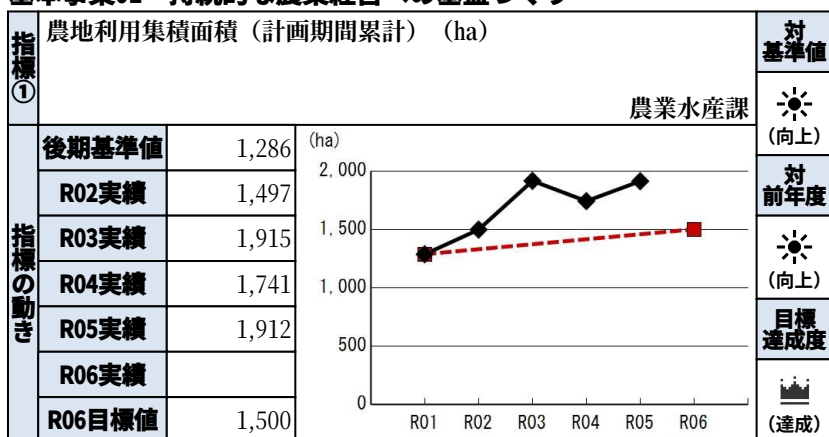
実績値はN-2年度

特記事項

農業所得は市場価格に大きく左右されるため、増減理由の判断は難しい。今後は、食料・農業・農村基本法改正による生産コストの価格転嫁に向けた国の施策に注視するとともに、引き続き、高収益作物を推進することで、農業所得の向上に努める。

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 持続的な農業経営への基盤づくり



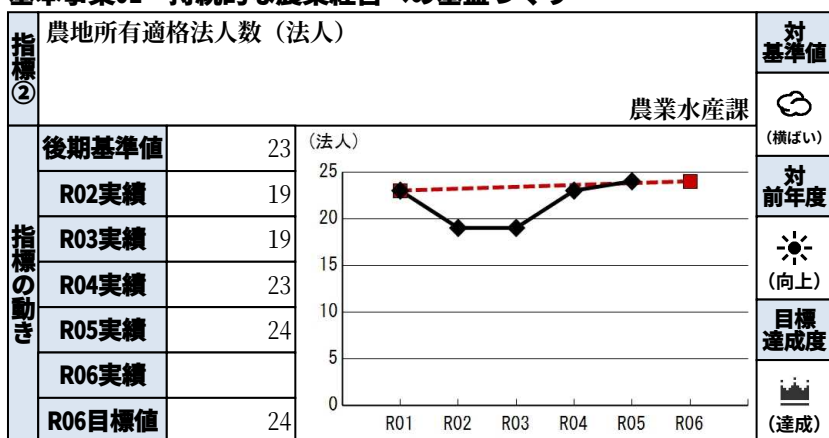
指標値の注釈

計画期間累計ではなく、単年度集計とする。

特記事項

農地の利用権設定が進み、目標値が達成された。今後も、農地中間管理事業等の利用を促進して改善に努める。

基本事業01 持続的な農業経営への基盤づくり

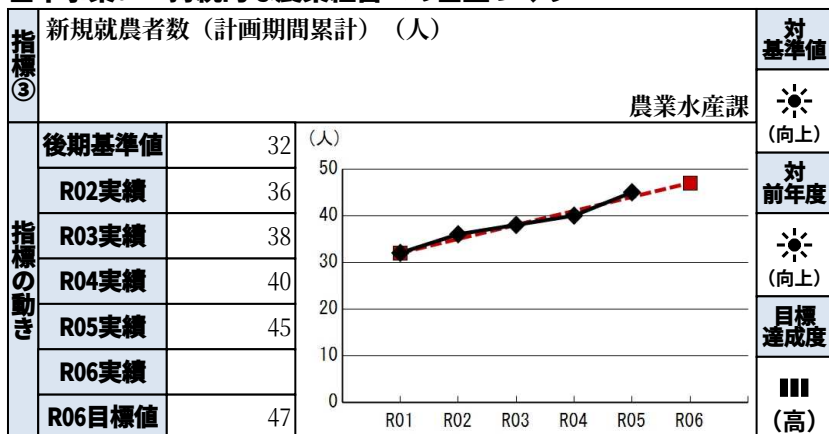


指標値の注釈

特記事項

前年度より農地の所有を予定している1法人の増加があった。今後は、制度の周知を図り実績値の向上に努める

基本事業01 持続的な農業経営への基盤づくり



指標値の注釈

特記事項

親元就農が2名、親とは別部門で経営を開始した者が2名、1ターン就農者が1名と、計5名の新規就農が図られたことにより、累計目標達成に向けて向上が図られた。

基本事業02 地産・地消の推進

指標①	農産物直売所（どんぶり館）の販売額（百万円）		農業水産課	対基準値 ☀ (向上)
	後期基準値	369		
指標の動き	R02実績	381		対前年度 ☀ (向上)
	R03実績	374		
	R04実績	389		
	R05実績	405		
	R06実績			
	R06目標値	380		目標達成度 🏠 (達成)

指標値の注釈

特記事項

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い来館者数も回復し、販売額が昨年と比べ16百万円増加した。今後も誘客イベントの実施や、近接した「ちぬやパーク」との相乗効果等により販売増加につなげたい。

基本事業02 地産・地消の推進

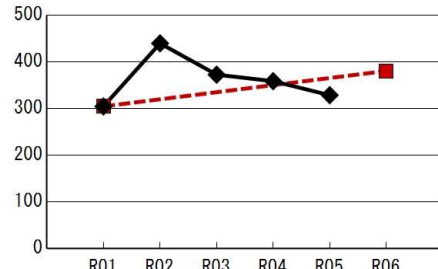
指標②	西予市給食センター産食材使用率（％）		農業水産課	対基準値 ☀ (向上)
	後期基準値	15.5		
指標の動き	R02実績	18.3		対前年度 ☀ (低下)
	R03実績	16.8		
	R04実績	22.8		
	R05実績	20.9		
	R06実績			
	R06目標値	16.2		目標達成度 🏠 (達成)

指標値の注釈

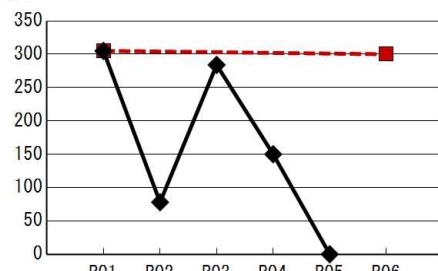
特記事項

地域食材活用に留意することで、使用率の維持を図っている。納品いただける生産者を見つけることに苦慮しているが、今後も市内の農産物の生産状況を確認し、食材の見直しに努める。

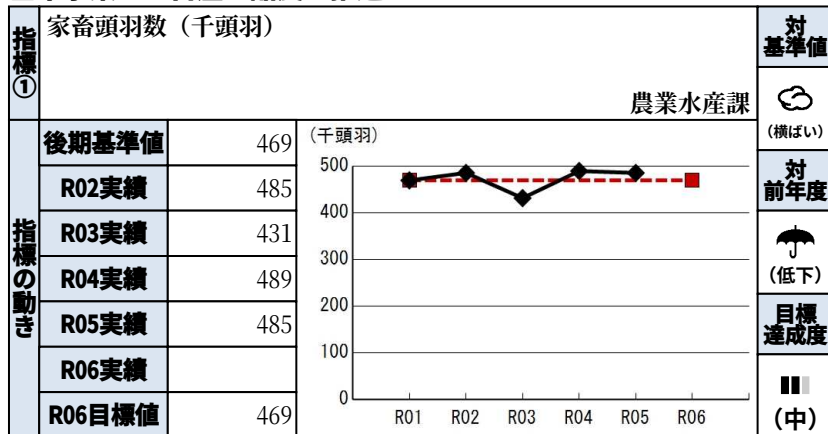
基本事業03 経営安定化への支援

認定農業者の所得平均（万円）		農業水産課		指標値の注釈	
指標①	後期基準値	304		対基準値	
	R02実績	439		対前年度	
R03実績	372	対前年度			
R04実績	358	対前年度			
R05実績	328	対前年度			
R06実績		対前年度			
R06目標値	380	対前年度			
指標の動き			目標達成度	特記事項	
				農業所得は市場価格に大きく左右されるため、増減理由の判断は難しい。今後も、農業経営改善計画の目標を達成するように指導に努める。	

基本事業03 経営安定化への支援

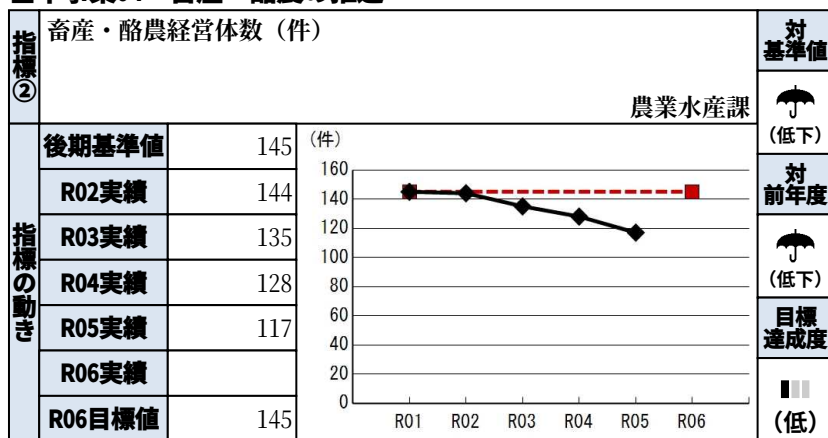
指標②	野菜安定対策事業受給者延べ人数（人）		農業水産課	対基準値	指標値の注釈
				(比較不可)	指標の増減が成果と言えないため、比較不可。
指標の動き	後期基準値	305		対前年度	特記事項 令和5年度より事業を廃止したことに伴い、測定不能。
	R02実績	78		(比較不可)	
	R03実績	284		■ 目標達成度	
	R04実績	150		(---	
	R05実績	0			
	R06実績				
	R06目標値	300			

基本事業04 畜産・酪農の推進



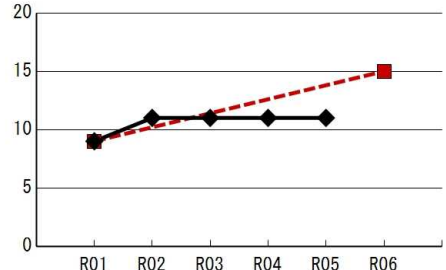
指標値の注釈
令和6年2月1日現在 家畜飼養状況調査
特記事項
養豚においては、大規模農家の本格稼働により増頭したが、乳用牛・肉用牛において、農家離農による頭数が減少した。また採卵鶏の調査日における飼養羽数により増羽している。

基本事業04 畜産・酪農の推進



指標値の注釈
令和6年2月1日現在 家畜飼養状況調査
特記事項
農家の高齢化、飼料価格高騰等による経営難による農家数減少で実績値が減少した。今後についても飼料価格が高止まりで推移しており厳しい経営状況となる見込みである。

基本事業05 特産品・産地化の推進

指標①	ジオの至宝（特産品）の認定数（件）		経済振興課		対基準値	指標値の注釈
					☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	9			対前年度	特記事項 令和5年度はジオの至宝認定申請が1件あったものの、認定とならなかった。その他にも2件問合せ等もあり、引き続き市内最上位ブランドという位置づけを守り、慎重に審査していくとともに、ジオ物産部会を中心に市内産品のブラッシュアップを図っていく。
	R02実績	11			☁ (横ばい)	
	R03実績	11			目標達成度	
	R04実績	11			■■■ (低)	
	R05実績	11				
	R06実績					
	R06目標値	15				

政策 01 しごとづくり

施策 03 森林保全と林業の振興

■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)

市民、市内林業者

意図(どのような状態にしたいのか)

健全な森林を継続的に育成し、水源のかん養や災害の防止など公益的な働きを発揮しています。

指標①	林業市内総生産額（百万円）		対基準値 ☀ (向上)
	後期基準値	718	
指標の動き	R02実績	795	対前年度 ☀ (向上)
	R03実績	718	
	R04実績	679	目標達成度 🏠 (達成)
	R05実績	859	
	R06実績		指標値の注釈
	R06目標値	600	

林業課

(百万円)

指標②	林業経営体数（経営体）		対基準値 ☁ (横ばい)
	後期基準値	453	
指標の動き	R02実績	122	対前年度 ☁ (横ばい)
	R03実績	122	
	R04実績	122	目標達成度 ■■ (低)
	R05実績	122	
	R06実績		指標値の注釈
	R06目標値	460	

林業課

(経営体)

特記事項
実績値上昇の要因としては、令和3年度から始まったウッドショックによる木材価格の上昇が考えられる。木材価格が所得や素材生産量に大きく関わることが見て取れ、今後も注視が必要である。

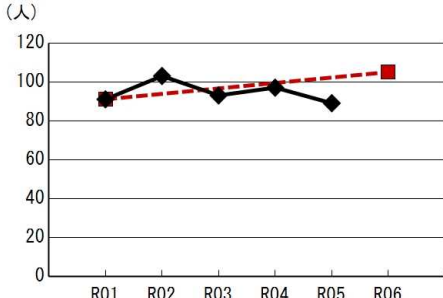
特記事項
農林業センサスにおいて、林業経営体数のうち、法人化していない経営体数が減少したため、331経営体減少し73.1ポイント低下した。

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 林業事業体の育成支援

林業事業体数（事業体）			対基準値	指標値の注釈																					
指標①	後期基準値	7	林業課 <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R01</td><td>7</td><td>7</td></tr><tr><td>R02</td><td>6</td><td>7</td></tr><tr><td>R03</td><td>6</td><td>7.2</td></tr><tr><td>R04</td><td>6</td><td>7.4</td></tr><tr><td>R05</td><td>6</td><td>7.6</td></tr><tr><td>R06</td><td>8</td><td>8</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	R01	7	7	R02	6	7	R03	6	7.2	R04	6	7.4	R05	6	7.6	R06	8	8	実績値の取得は5年毎（令和2年度、令和7年度）
	年度	実績値		目標値																					
	R01	7		7																					
	R02	6		7																					
	R03	6		7.2																					
	R04	6		7.4																					
	R05	6		7.6																					
	R06	8		8																					
R02実績	6	（低下）	特記事項																						
R03実績	6	対前年度																							
R04実績	6	（横ばい）																							
R05実績	6	目標達成度																							
R06実績		（低）																							
R06目標値	8																								
				評価基準値の農林業センサス2015と実績値の農林業センサス2020の5年の間に1事業体が減ったため、低と評価する。																					

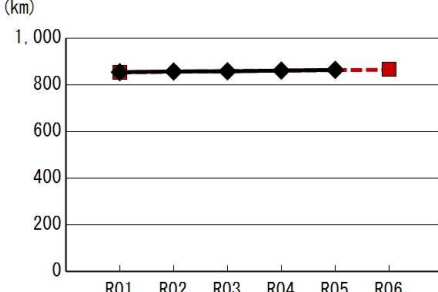
基本事業01 林業事業体の育成支援

林業事業体雇用者数（人）		林業課		対基準値	指標値の注釈
指標②				☁ (横ばい)	
指標の動き	後期基準値	91		対前年度	特記事項 新規就労者に比べ退職者が増加したため、令和4年度より8人減少し、8.2ポイント低下した。
	R02実績	103		☂ (低下)	
	R03実績	93		目標達成度	
	R04実績	97		■ (低)	
	R05実績	89			
	R06実績				
	R06目標値	105			

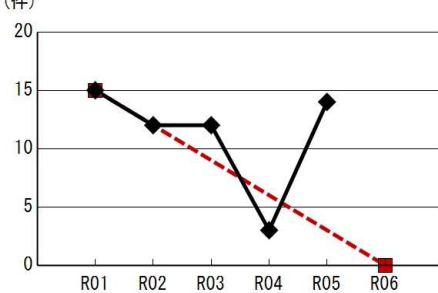
基本事業01 林業事業体の育成支援

自伐林家数（世帯）		林業課		対基準値	指標値の注釈																					
指標③				☀ (向上)																						
指標の動き	後期基準値	22	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績</th><th>目標</th></tr></thead><tbody><tr><td>R01</td><td>22</td><td>22</td></tr><tr><td>R02</td><td>26</td><td>23</td></tr><tr><td>R03</td><td>33</td><td>24</td></tr><tr><td>R04</td><td>34</td><td>25</td></tr><tr><td>R05</td><td>34</td><td>26</td></tr><tr><td>R06</td><td>25</td><td>27</td></tr></tbody></table>	年度	実績	目標	R01	22	22	R02	26	23	R03	33	24	R04	34	25	R05	34	26	R06	25	27	対前年度	特記事項 前年度と比べ、同人数となっているため横ばいと評価する。
	年度	実績		目標																						
	R01	22		22																						
	R02	26		23																						
	R03	33		24																						
	R04	34		25																						
	R05	34		26																						
R06	25	27																								
R02実績	26	☁ (横ばい)																								
R03実績	33	目標達成度																								
R04実績	34	🏠 (達成)																								
R05実績	34																									
R06実績																										
R06目標値	25																									

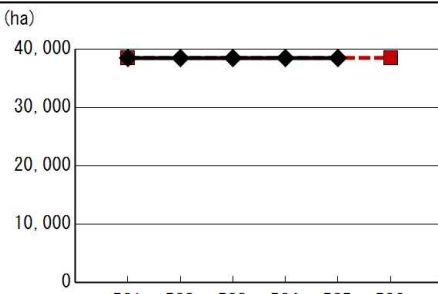
基本事業02 林業環境の基盤整備

指標①	林道・作業道の整備量 (km)		林業課	対基準値	指標値の注釈
				 (横ばい)	
指標の動き	後期基準値	853		対前年度	特記事項 事務事業の適切な推進により、概ね計画通りの実績値となった。
	R02実績	856		 (横ばい)	
	R03実績	857			
	R04実績	860			
	R05実績	863			
	R06実績				
	R06目標値	864			
			目標達成度	III (高)	

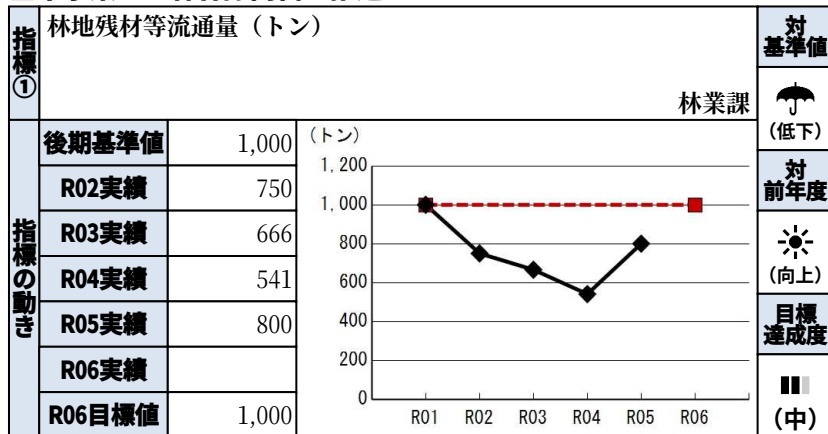
基本事業02 林業環境の基盤整備

指標②	林道の施設維持管理上の不具合件数（件）		林業課	対基準値	指標値の注釈
				☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	15		対前年度	特記事項 林道管理上の不具合件数は、その年の気象状況に因るところが大きく、前年度と比べ、大幅な件数増となった。
	R02実績	12		☂ (低下)	
	R03実績	12		目標達成度	
	R04実績	3		■■ (中)	
	R05実績	14			
	R06実績				
	R06目標値	0			

基本事業02 林業環境の基盤整備

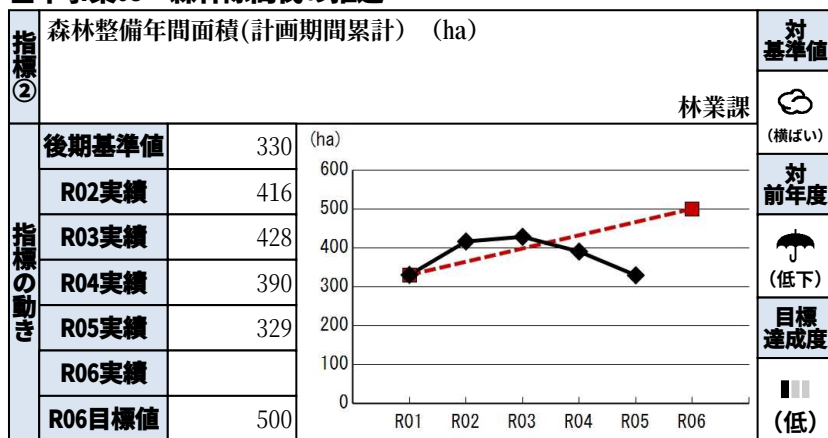
指標③	森林システムで管理している面積（ha）		林業課	対基準値	指標値の注釈
				(比較不可)	指標の増減が成果と言えないため、比較不可。
指標の動き	後期基準値	38,453		対前年度	特記事項 市内森林状況調査（森林簿集計）から、令和5年度は令和4年度と比較し、実績値の増減なし。
	R02実績	38,435		(比較不可)	
	R03実績	38,435		目標達成度	
	R04実績	38,435		(---)	
	R05実績	38,435			
	R06実績				
	R06目標値	38,453			

基本事業03 森林除間伐の推進



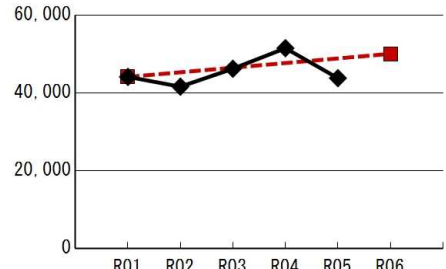
指標値の注釈
特記事項
林家からの出荷は依然として減少しているが林業事業体によりペレット原木の生産量に合わせて受入出来ている。ペレット使用量は横ばいで推移しており、在庫管理と合わせ令和5年度は上昇している。

基本事業03 森林除間伐の推進



指標値の注釈
計画期間累計ではなく、単年度集計とする。
特記事項
木材価格高騰の落ち着き並びに作業員の減少により森林整備面積についても減少した。令和4年度から61ha減少し、15.6ポイント減少した。今後は、担い手の育成も含めて検討していく。

基本事業04 市産材の活用促進

指標①	市産材流通量（m3）		林業課	対基準値	指標値の注釈
				 (横ばい)	
指標の動き	後期基準値	44,062		対前年度	特記事項
	R02実績	41,551		 (低下)	
	R03実績	46,165		目標達成度	
	R04実績	51,441		 (低)	
	R05実績	43,735			
	R06実績				
	R06目標値	50,000			

政策 01 しごとづくり

施策 04 水産業の振興

■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)

市内漁業者

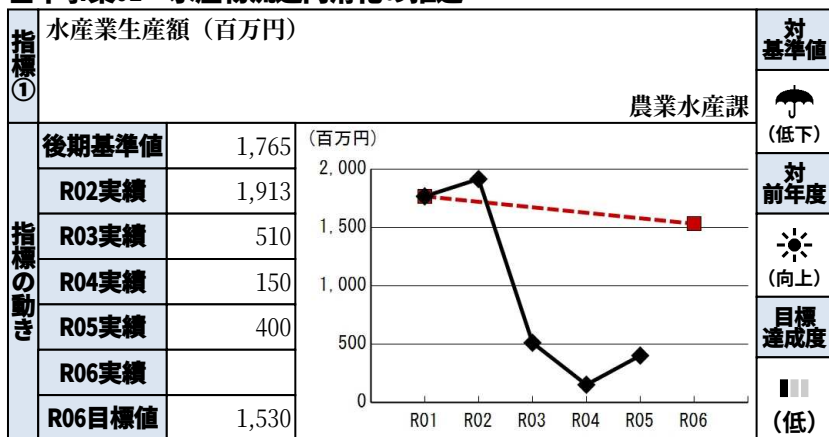
意図(どのような状態にしたいのか)

安定した漁業経営が図られています。

指標①	水産業市内総生産額（百万円）		農業水産課	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	1,765		(低下)	
指標の動き	R02実績	1,913		対前年度	実績値はN-2年度 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により水産物の流通の正常化、魚価回復による向上が見込まれる。またアコヤガイ稚貝大量死の影響により真珠価格が上昇している。
	R03実績	510		(向上)	
	R04実績	150		目標達成度	
	R05実績	400		(低)	
	R06実績				
	R06目標値	1,530			
指標②	水産業経営体数（経営体）		農業水産課	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	139		(比較不可)	
指標の動き	R02実績	139		対前年度	実績値の取得は5年毎（平成30年度、令和5年度） 漁業センサス2023確定値が未公表の為、比較不可
	R03実績	139		(比較不可)	
	R04実績	139		目標達成度	
	R05実績	139		(---)	
	R06実績				
	R06目標値	149			

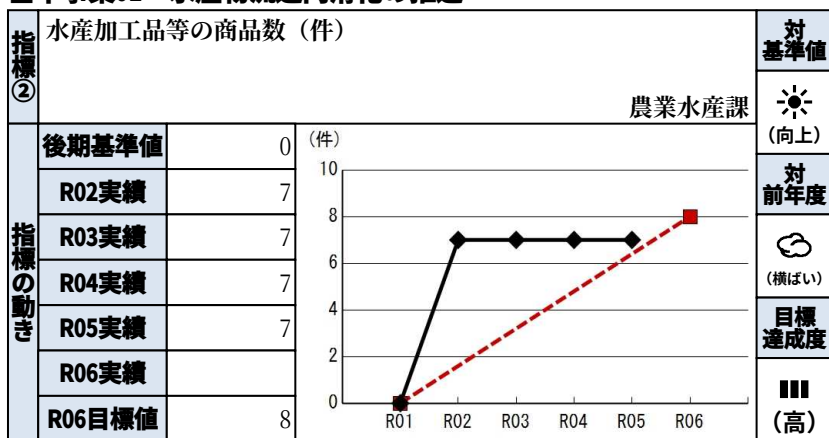
■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 水産物流通円滑化の推進



指標値の注釈
実績値はN-2年度
特記事項
新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により水産物の流通の正常化、魚価回復による向上が見込まれる。またアコヤガイ稚貝大量死の影響により真珠価格が上昇している。

基本事業01 水産物流通円滑化の推進



指標値の注釈
特記事項
令和5年度ジオの至宝事業及び「愛」あるブランド事業における新規登録が無かった。

基本事業02 水産業の担い手育成

指標①	水産業新規就業者数（計画期間累計）（人）		対基準値
	農業水産課		☁ (横ばい)
指標の動き	後期基準値	0	対前年度
	R02実績	2	☂ (低下)
	R03実績	0	目標達成度
	R04実績	1	■■■ (低)
	R05実績	0	
	R06実績		
	R06目標値	4	

(人)

年度	実績	目標値
R01	0	0
R02	2	0
R03	0	0
R04	1	0
R05	0	0
R06	4	4

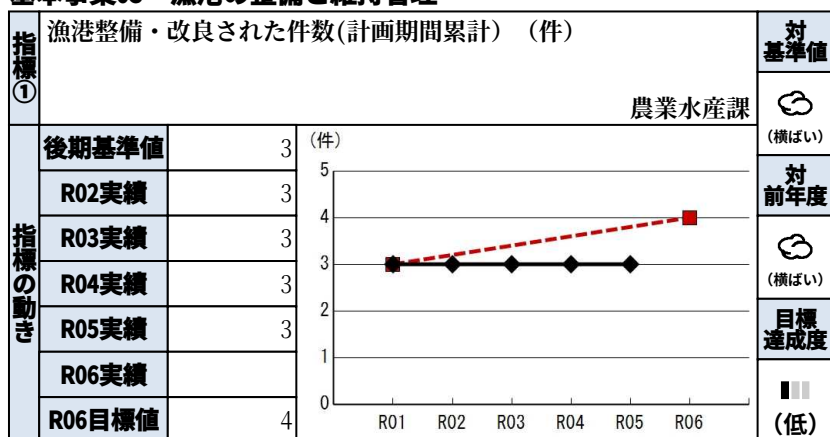
指標値の注釈

計画期間累計ではなく、単年度集計とする。

特記事項

令和2年度から漁業新規就業者等支援事業を実施しており、令和5年度は新規申請がなかった事から低下とした。水産業における新規就業については、資格取得や高額な初期投資、自然環境に伴う漁獲量の低下など様々な問題があることから容易ではない。

基本事業03 漁港の整備と維持管理

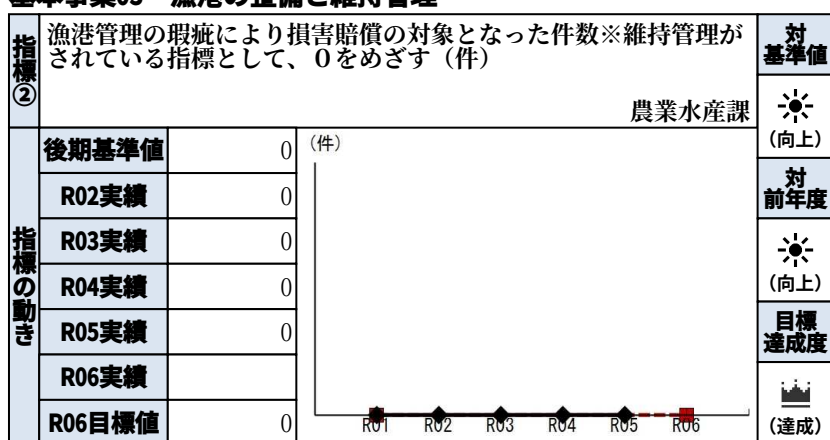


指標値の注釈

特記事項

目標整備件数のうち、3件については完了済み。未済の1件については整備費用が大きい
ため、令和元年度から事業を実施しており、
事業としての目標達成度は高い。

基本事業03 漁港の整備と維持管理

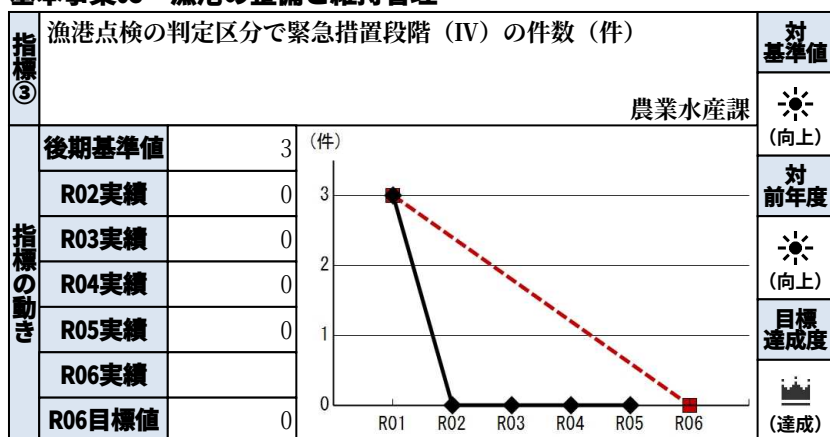


指標値の注釈

特記事項

グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値
0を目指す指標のため、対前年度、対基準値
の評価は「向上」とする。

基本事業03 漁港の整備と維持管理



指標値の注釈

特記事項

漁港施設における保全工事の推進にて、緊急
を要する危険箇所が大幅に減少。グラフは横
ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す
指標のため、対前年度の評価は「向上」とす
る。

政策 01 しごとづくり

施策 05 観光の振興

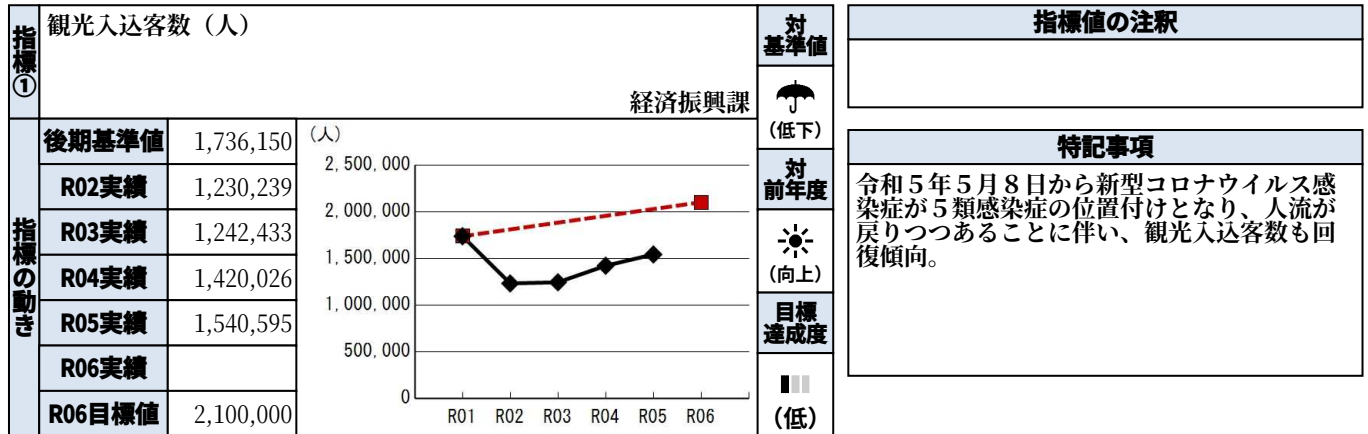
■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)

市民、来訪者、関係団体

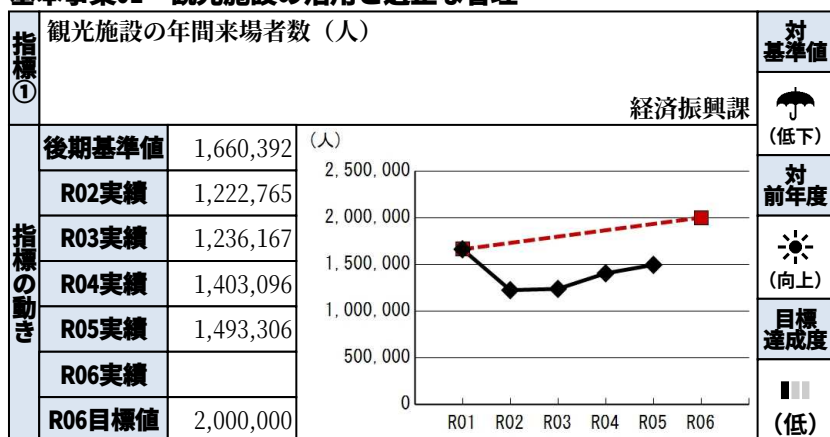
意図(どのような状態にしたいのか)

観光客が増加し、観光産業が活気にあふれています。



■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 観光施設の活用と適正な管理

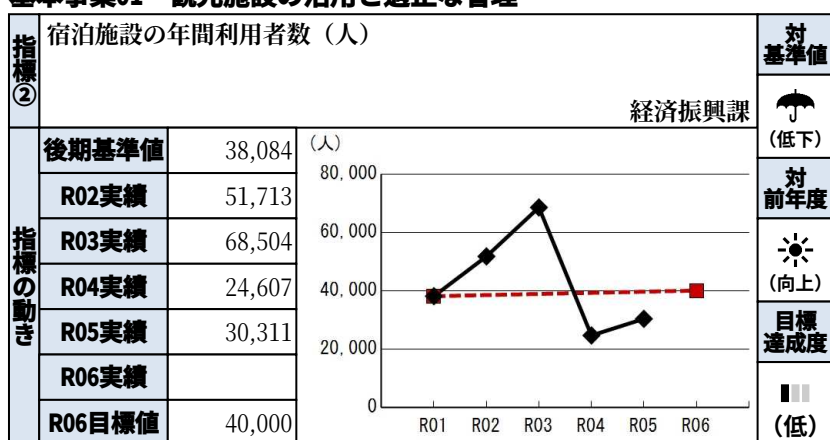


指標値の注釈

特記事項

新型コロナウイルス感染症が5類感染症の位置付けとなり人流が回復しつつあるに伴い、来場者数も回復傾向。

基本事業01 観光施設の活用と適正な管理



指標値の注釈

特記事項

新型コロナウイルス感染症が5類感染症の位置付けとなり、人流が回復しつつあるに伴い宿泊客も増加。

基本事業02 観光推進組織の強化

指標①	観光推進組織主体のイベント等事業数（事業）		経済振興課	対基準値 ☂ (低下)
	後期基準値	4		
指標の動き	R02実績	0		対前年度 ☀ (向上)
	R03実績	1		
	R04実績	2		
	R05実績	3		
	R06実績			
	R06目標値	4		
				目標達成度 ■■■ (中)

指標値の注釈

特記事項

4年ぶりに「れんげまつり」を実施。「かっぱMATURI」は台風接近のため中止となったが、「奥地の海のかーにばる」と「乙亥大相撲」について開催できた。

基本事業02 観光推進組織の強化

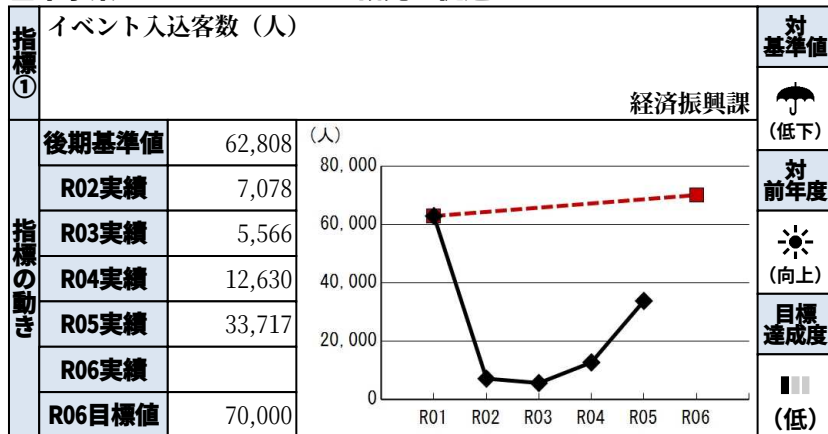
指標②	観光（せいよじかん）年間アクセス数（件）		経済振興課	対基準値 ☀ (向上)
	後期基準値	53,235		
指標の動き	R02実績	118,101		対前年度 ☀ (向上)
	R03実績	166,129		
	R04実績	183,374		
	R05実績	202,101		
	R06実績			
	R06目標値	240,000		
				目標達成度 ■■■ (高)

指標値の注釈

特記事項

デジタルマーケティングに係るコンサルティングを受けることで、HP動線や更新回数、掲載内容の整理やSNSとの連動等を行い、複合連動的な情報発信ができています。

基本事業03 イベントによる観光の促進

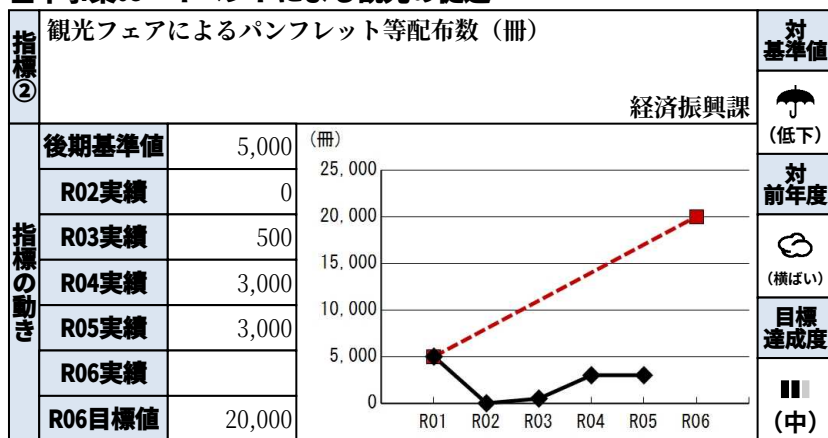


指標値の注釈

特記事項

新型コロナウイルス感染症が5類感染症の位置付けになったことに伴い、イベント活動が再開されたため。

基本事業03 イベントによる観光の促進

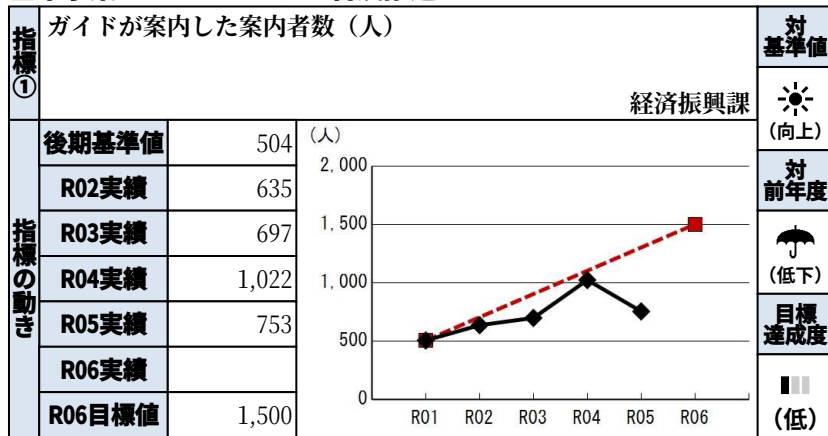


指標値の注釈

特記事項

せとうち旬彩館（東京都）や東京都庁、愛媛県大阪事務所等などでの観光フェアの際に、パンフレットの配布を行った。フェアでの配布実績は3,000冊であるが、施設等でのラック配置数を含めると年間18,000部は配布している状況。

基本事業04 ジオパークの普及推進

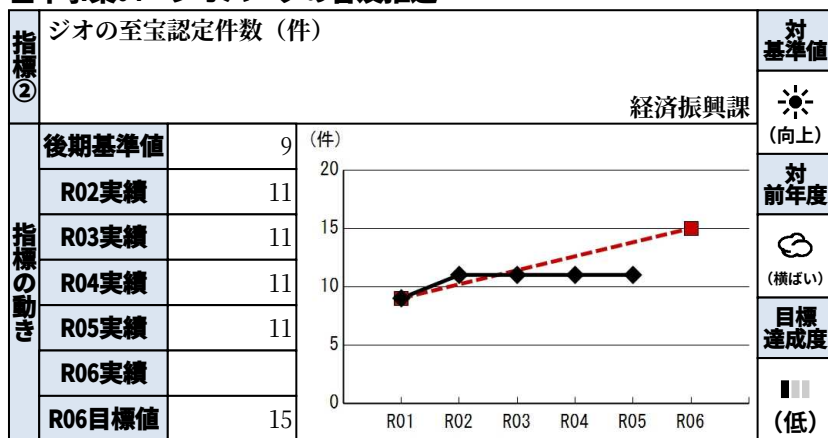


指標値の注釈

特記事項

ジオミュージアムのオープンによる効果が薄れつつあり、後期基準値は上回っているものの昨年度から減少となった。

基本事業04 ジオパークの普及推進



指標値の注釈

特記事項

令和5年度はジオの至宝認定申請が1件あったものの、認定とならなかった。その他にも2件問合せ等もあり、引き続き市内最上位ブランドという位置づけを守り、慎重に審査していくとともに、ジオ物産部会を中心に市内産品のブラッシュアップを図っていく。

政策 02 ひとづくり

施策 01 子育て支援の推進

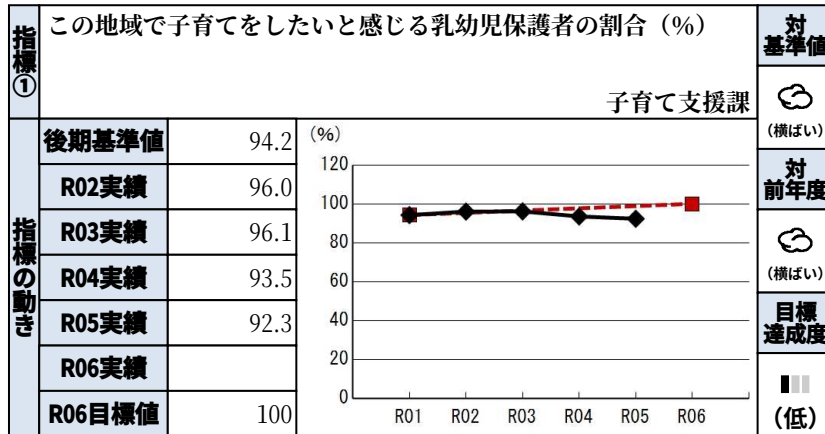
■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)

保護者、子ども

意図(どのような状態にしたいのか)

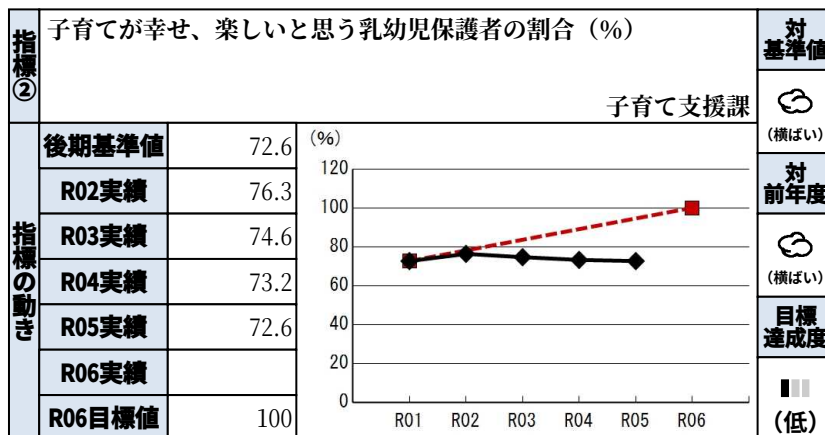
子どもたちが、すくすくところもからだも健やかに成長している。



指標値の注釈

特記事項

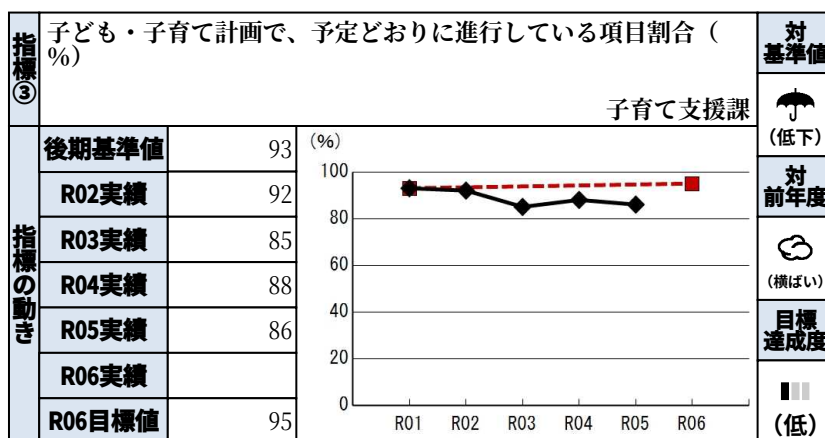
令和4年度から1.2ポイント低下し、目標値にも達していない。各健診や訪問等で保護者の相談に応じ、安心して育児ができる環境を整えていく。



指標値の注釈

特記事項

令和4年度から0.6ポイント低下はしたが、微減の範囲である。健診や相談にて、保護者の不安を傾聴し、安心して育児が行える環境作りを行っている。今後も継続して実施し、保護者の不安軽減に努める。



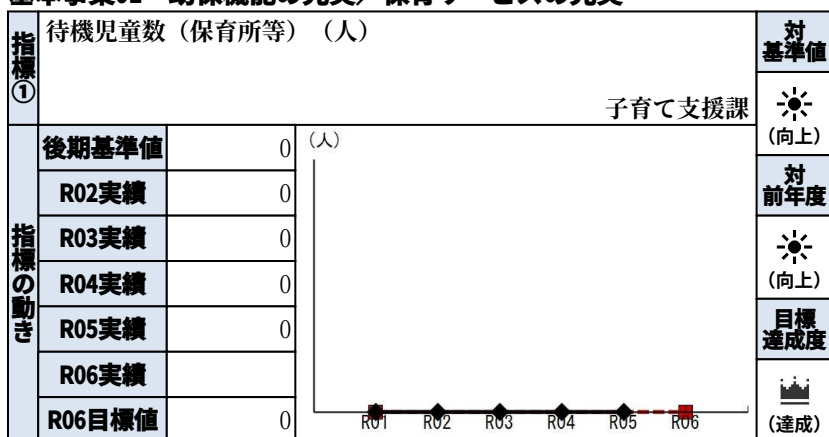
指標値の注釈

特記事項

各事業の子育て支援達成割合の平均が後期基準値より7ポイント減少している。実施している事業については、概ね予定どおり実施できているが、未実施事業等があるため基準値より低下している。

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 幼保機能の充実／保育サービスの充実

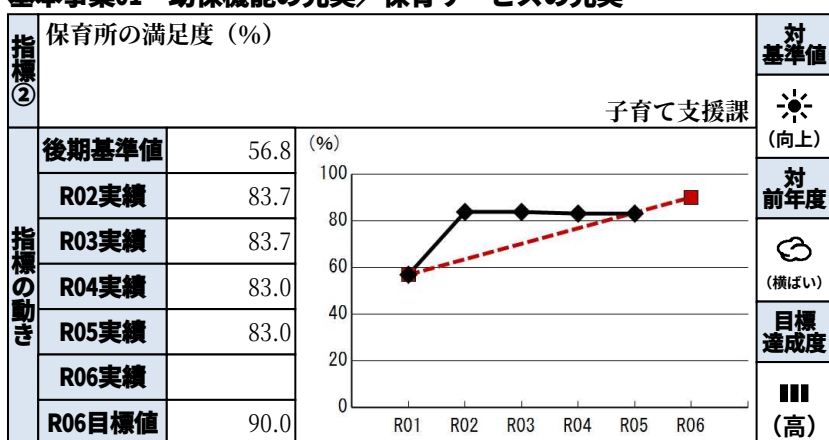


指標値の注釈

特記事項

グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。保育士不足がより一層深刻化する中、子育て環境の変化とともに待機児童の経過を注視しながら、引き続き安定した保育の提供ができるよう対策に努める。

基本事業01 幼保機能の充実／保育サービスの充実



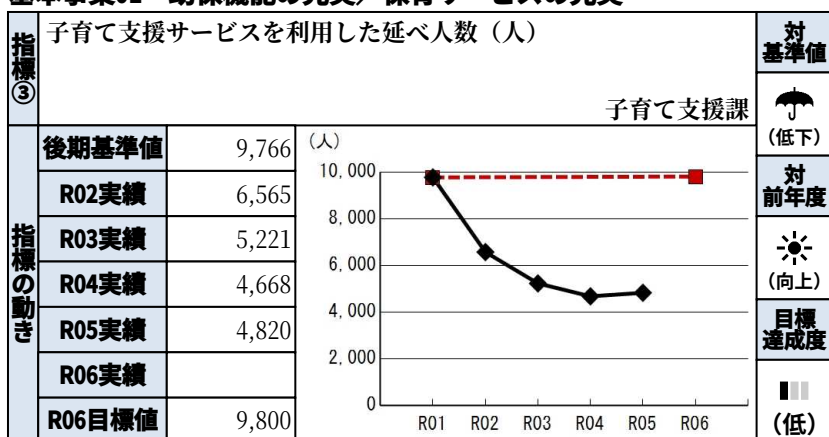
指標値の注釈

実績値の取得は隔年（R3年度、R5年度、R7年度）

特記事項

保育行政の推進にあたり、児童の保護者を対象に、令和5年度「市内保育所等満足度調査」に関するアンケートを実施した。その結果、「大変満足」、「ほぼ満足」の割合が83.0%の割合であった。今後も安全で安心な保育を提供できるよう努めていく。

基本事業01 幼保機能の充実／保育サービスの充実



指標値の注釈

特記事項

※実績値の誤りにより、R04の実績値を「7898」から「4668」に修正。新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も、各種感染症の蔓延による利用控えや、出生数や在宅児数の減少の影響もあり、昨年度より約150人の利用者数増加となり、大幅な利用者増には至らなかった。

基本事業02 全ての子どもが健やかに育つ支援

指標①	社会性の発達過程を知っている保護者割合 (%)		子育て支援課	対基準値
	後期基準値	93.3		(低下)
指標の動き	R02実績	89.2		対前年度
	R03実績	91.7		(低下)
	R04実績	93.3		目標達成度
	R05実績	89.7		(低)
	R06実績			
	R06目標値	95.0		

指標値の注釈

特記事項

令和4年度から3.6ポイント低下し、目標値には達していない。子どもの発達を促すため、健診や相談において、子どもの発達について普及啓発を行っている。今後も継続して普及啓発を行う。

基本事業02 全ての子どもが健やかに育つ支援

指標②	育てにくさを感じたときに対処できる保護者割合 (%)		子育て支援課	対基準値
	後期基準値	89.9		(低下)
指標の動き	R02実績	84.4		対前年度
	R03実績	88.0		(低下)
	R04実績	81.1		目標達成度
	R05実績	78.0		(低)
	R06実績			
	R06目標値	95.0		

指標値の注釈

特記事項

令和4年度から3.1ポイント低下し、目標値にも達していない。健診において子どもの発達や発育を確認し、必要時は継続した支援を行っている。今後も継続した支援を行い、保護者の不安軽減と子どもの発達を促す取り組みを行う。

基本事業02 全ての子どもが健やかに育つ支援

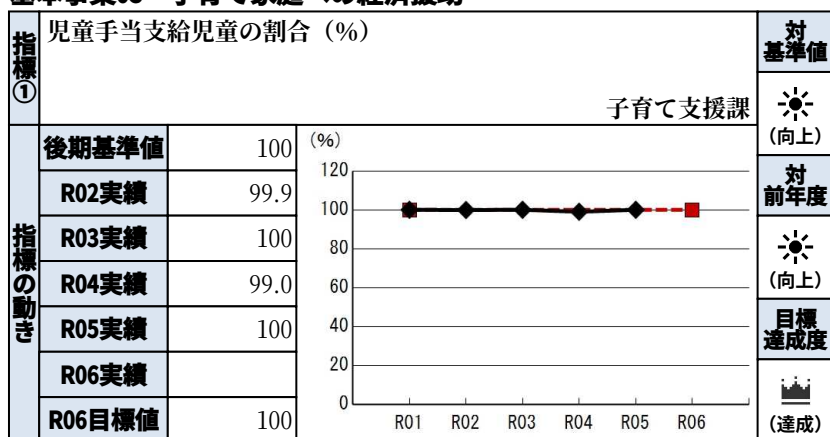
指標③	地域における子育て支援施設利用者数 (人)		子育て支援課	対基準値
	後期基準値	558		(低下)
指標の動き	R02実績	377		対前年度
	R03実績	232		(低下)
	R04実績	205		目標達成度
	R05実績	181		(低)
	R06実績			
	R06目標値	459		

指標値の注釈

特記事項

※実績値の誤りにより、R04の実績値を「294」から「205」に修正。各種感染症の蔓延による利用控えに加え、出生数や在宅児の減少に伴い、昨年度より利用者数（月平均）も減少し、目標値を大きく下回る結果となった。

基本事業03 子育て家庭への経済援助

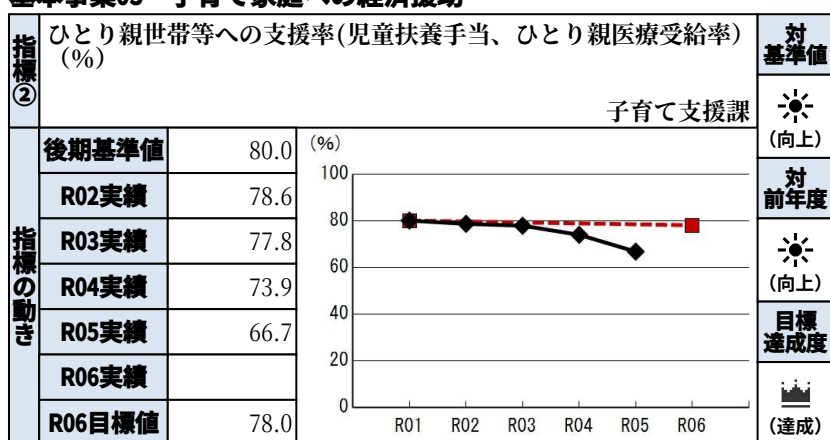


指標値の注釈

特記事項

令和5年度は、全受給者に児童手当を支給することができ、実績値は100%となった。グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値100%を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

基本事業03 子育て家庭への経済援助

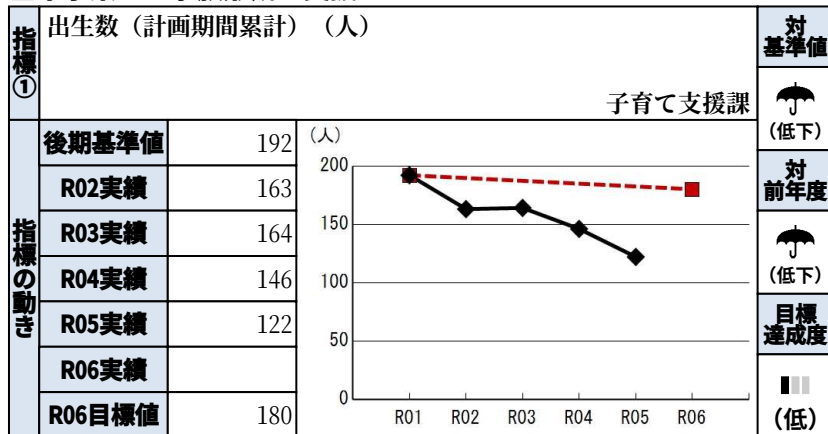


指標値の注釈

特記事項

児童扶養手当受給者数はほぼ横ばい、ひとり親医療の受給者数は減少している。少子化による新規申請者の減少と、年齢到達や所得税課税による資格喪失から、児童扶養手当・ひとり親家庭医療をどちらも受給している受給者も減少している。

基本事業04 家族形成の支援



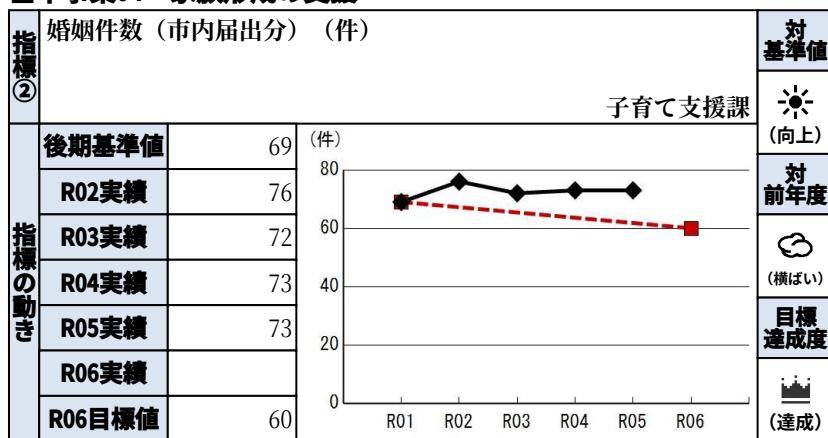
指標値の注釈

計画期間累計ではなく、単年度集計とする。

特記事項

人口減少に伴い出生数は減少しているが、婚姻届出数は前年度と変化がないことから、出産に踏み切れない世帯も多いと考えられる。今後は、出産・子育てへの不安や諦めなどを払拭するため、県連携事業や結婚新生活事業などの利用促進を図り、出生数の増加に努める。

基本事業04 家族形成の支援



指標値の注釈

特記事項

令和4年度と、全く同じ婚姻数となった。結婚新生活支援事業の認知度も上がってきていると思われるので、引き続き結婚新生活支援事業について、広報や市ホームページ等で周知に努め、婚姻件数の増加を図る。

政策 02 ひとづくり

施策 02 学校教育の充実

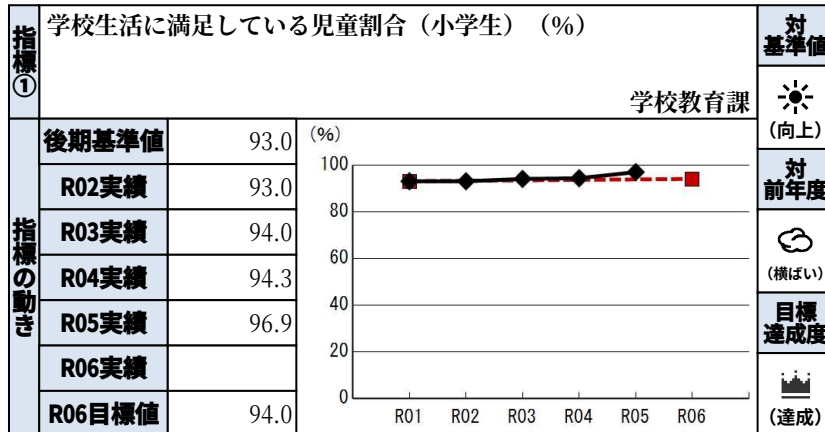
■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)

小学生、中学生、保護者、地域住民、教職員、学校施設

意図(どのような状態にしたいのか)

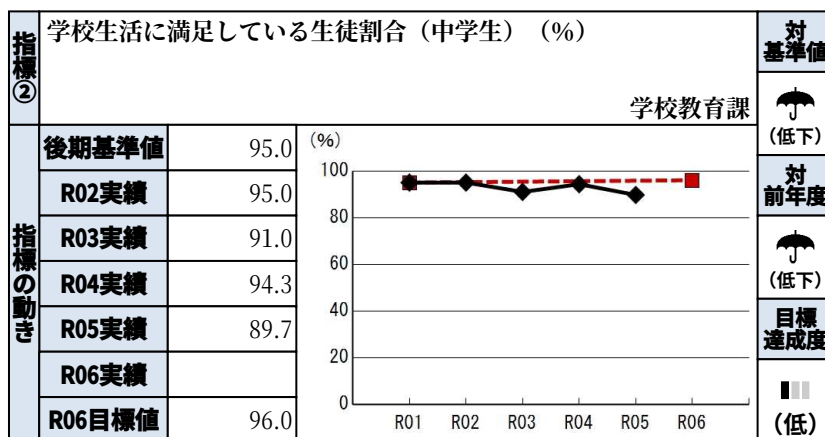
児童生徒が充実した学校生活を送っています。



指標値の注釈

特記事項

令和5年5月に新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、学校生活や行事における制限が緩和されたことが2.6ポイント向上の要因の一つと考えられる。今後も感染対策を講じながら、児童が自己有用感を感じられるような学校行事の実施を立案する。



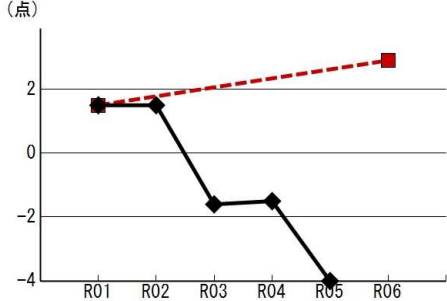
指標値の注釈

特記事項

令和5年5月に新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、学校生活や行事における制限が緩和されたにもかかわらず、4.6ポイント下がっている。今後は学校行事の充実はもちろん、円滑な人間関係の構築により生徒自身が自己有用感を持って学校生活が送られるよう改善を図る。

基本事業の成果状況と評価

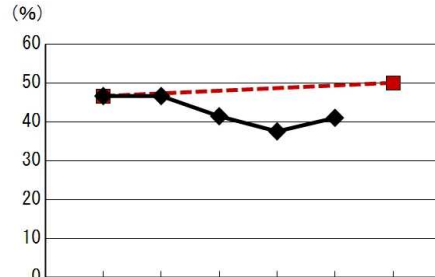
基本事業01 確かな学力の育成

指標①	全国学力・学習状況調査結果の（国語・算数総合）全国平均との差異（児童）（点）		学校教育課	対基準値	指標値の注釈
				☂ (低下)	
指標の動き	後期基準値	1.6		対前年度	特記事項 令和5年度は、国語、算数ともに、平均正答率が全国平均を大きく下回った。各校において結果の分析をもとに、授業改善に取り組んでいる。今後も各校の学力向上推進計画に基づき、児童の基礎学力の向上に努める。
	R02実績	1.6		☂ (低下)	
	R03実績	-1.5		目標達成度	
	R04実績	-1.4		■ (低)	
	R05実績	-3.9			
	R06実績				
	R06目標値	3.0			

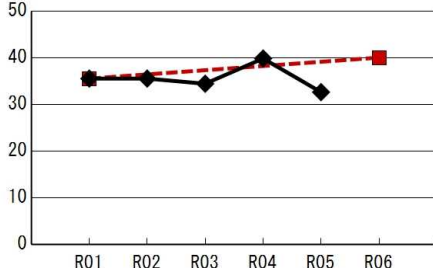
基本事業01 確かな学力の育成

指標②	全国学力・学習状況調査結果の（国語・数学総合）正答率との差異（生徒）（点）		学校教育課	対基準値 ☂ (低下)	指標値の注釈													
	後期基準値	3.4	<table><thead><tr><th>年度</th><th>差</th></tr></thead><tbody><tr><td>R01</td><td>3.4</td></tr><tr><td>R02</td><td>3.4</td></tr><tr><td>R03</td><td>-2.6</td></tr><tr><td>R04</td><td>+0.3</td></tr><tr><td>R05</td><td>-3.4</td></tr><tr><td>R06</td><td>3.0</td></tr></tbody></table>	年度	差	R01	3.4	R02	3.4	R03	-2.6	R04	+0.3	R05	-3.4	R06	3.0	対前年度 ☂ (低下)
年度	差																	
R01	3.4																	
R02	3.4																	
R03	-2.6																	
R04	+0.3																	
R05	-3.4																	
R06	3.0																	
R02実績	3.4	目標達成度 ■■■ (低)																
R03実績	-2.6																	
R04実績	+0.3																	
R05実績	-3.4																	
R06実績																		
R06目標値	3.0																	

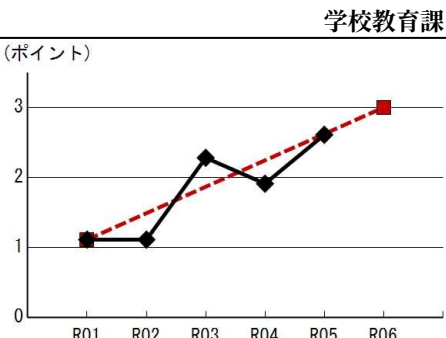
基本事業01 確かな学力の育成

指標③	授業がわかると答えた児童割合(国語と算数の平均) (%)		学校教育課	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	46.6		☂ (低下)	特記事項 令和5年度は、国語、算数の授業がよくわかると回答した児童の割合は40%を上回った。各校においては、今後も調査結果の分析を丁寧に行うとともに、授業改善に積極的に取り組み、児童にとってわかりやすい授業の実現を目指す。
	R02実績	46.6		対前年度	
	R03実績	41.4		☀ (向上)	
	R04実績	37.5		目標達成度	
	R05実績	41.0		■ (低)	
	R06実績				
R06目標値	50.0				

基本事業01 確かな学力の育成

指標④	授業がわかると答えた生徒割合(国語と算数の平均) (%)		学校教育課	対基準値	指標値の注釈
				☂ (低下)	
指標の動き	後期基準値	35.5		対前年度	特記事項 令和5年度は、国語、数学の授業がよくわかると回答した生徒の割合は全国平均とほぼ同等だった。各校においては、今後も教科の調査結果の分析を丁寧に行うとともに、ICTの活用を積極的に行うなど、授業改善に取り組む、生徒にとってわかりやす授業の実現を目指す。
	R02実績	35.5		☂ (低下)	
	R03実績	34.4		目標達成度	
	R04実績	39.8		■ (低)	
	R05実績	32.6			
	R06実績				
	R06目標値	40.0			

基本事業02 健やかな体の育成

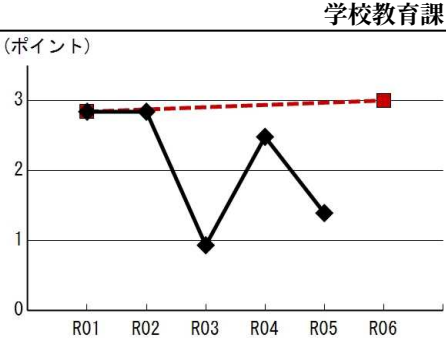
指標①	全国体力・運動能力調査の全国平均点との差異：小学5年生（ポイント）		学校教育課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	1.11		対前年度
	R02実績	1.11		☀ (向上)
	R03実績	2.28		目標達成度
	R04実績	1.91		■■■ (高)
	R05実績	2.61		
	R06実績			
	R06目標値	3.00		

指標値の注釈

特記事項

小学校5年生の男女とも、全国平均、愛媛県平均を上回る結果となった。特に女子は、全国平均を3.44ポイント上回り、良好な結果となった。今後も各校の体力向上計画に基づき、児童の体力向上に取り組む。

基本事業02 健やかな体の育成

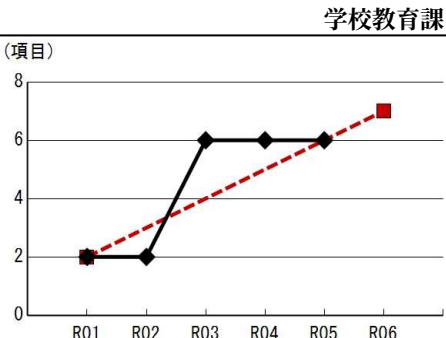
全国体力・運動能力調査の平均点との差異：中学2年生（ポイント）			学校教育課	対基準値 ☔ (低下)
指標の動き	後期基準値	2.84		対前年度 ☔ (低下)
	R02実績	2.84		目標達成度 ■■ (低)
	R03実績	0.93		
	R04実績	2.48		
	R05実績	1.39		
	R06実績			
	R06目標値	3.00		

指標値の注釈

特記事項

中学校2年生全体の結果としては全国平均を上回った。特に女子は全国平均を3.37ポイント上回り、良好な結果となった。男子が全国平均を下回っているため、今後も各校の体力向上推進計画に基づき、生徒の体力向上に取り組む。

基本事業02 健やかな体の育成

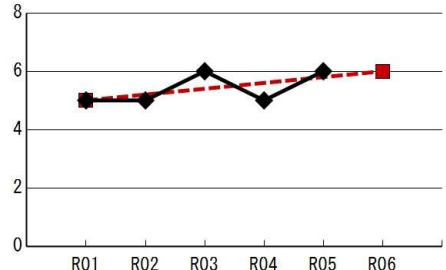
指標③	基本的生活習慣に関して全国平均を超えている項目（設問）数 （項目）		学校教育課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	2		対前年度
	R02実績	2		☁ (横ばい)
	R03実績	6		目標達成度
	R04実績	6		■■■ (高)
	R05実績	6		
	R06実績			
	R06目標値	7		

指標値の注釈

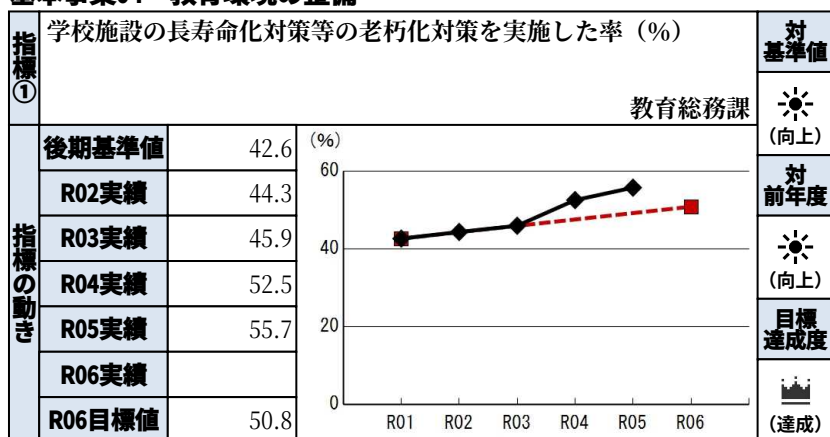
特記事項

基本的生活習慣に関する項目においては、肯定的な回答をした児童生徒の割合が全国平均より多い項目が7項目中6項目あり、良好な結果となった。今後も各校において、家庭との連携を図り、基本的生活習慣の定着に努める。

基本事業03 豊かな心を育む

指標①	道徳性に関して全国平均を超えている項目（設問）数（項目）		学校教育課	対基準値	指標値の注釈
				☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	5		対前年度	特記事項 令和5年度は、全ての項目で肯定的な回答をした児童生徒の割合が全国平均を上回る結果となった。道徳が教科化となり複数年経過し、各校における道徳教育の充実が図られていると考えられる。
	R02実績	5		☀ (向上)	
	R03実績	6		目標達成度	
	R04実績	5		🏠 (達成)	
	R05実績	6			
	R06実績				
	R06目標値	6			

基本事業04 教育環境の整備



対基準値

☀
(向上)

対前年度

☀
(向上)

目標達成度

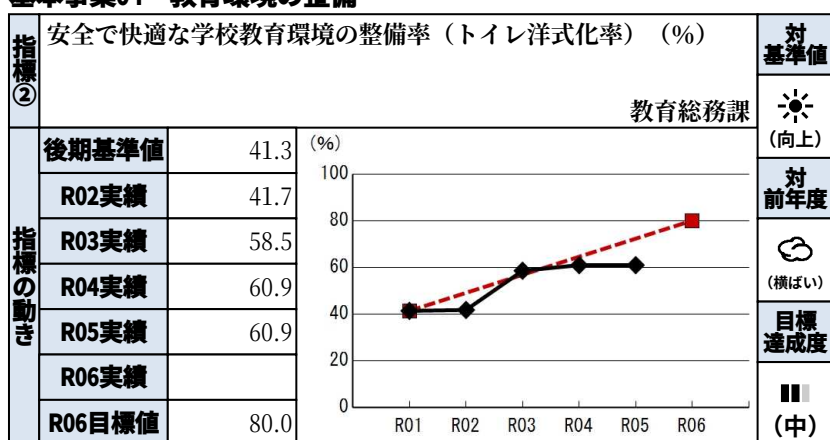
🏠
(達成)

指標値の注釈

特記事項

中川小学校屋内運動場及び皆田小学校屋内運動場の改修により、前年度から3.2ポイント向上している。今後はも計画的な老朽化対策を実施し、安全安心な学校教育環境整備を図る。

基本事業04 教育環境の整備



対基準値

☀
(向上)

対前年度

☁
(横ばい)

目標達成度

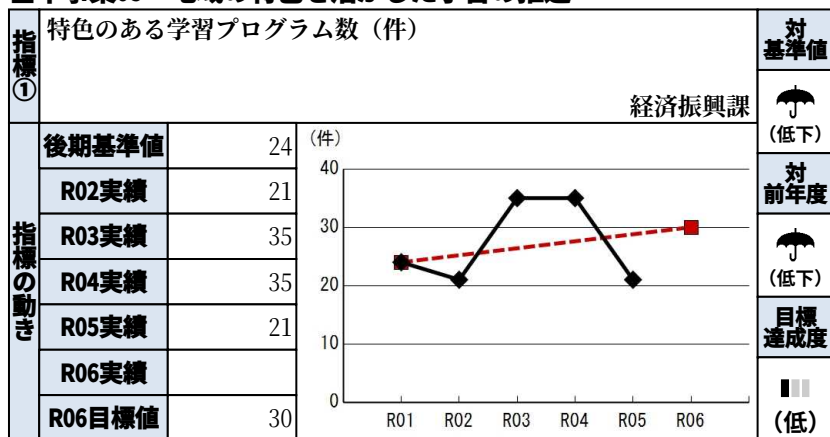
■■
(中)

指標値の注釈

特記事項

トイレの洋式化については、今年度整備を行わなかったため、横ばいの状況となった。本市の洋式トイレ整備率は60.9%であり、令和6年度の目標値と乖離はあるものの、県内の公立学校施設の整備率が55.8%であるため、平均値よりは高い整備状況にある。

基本事業05 地域の特色を活かした学習の推進

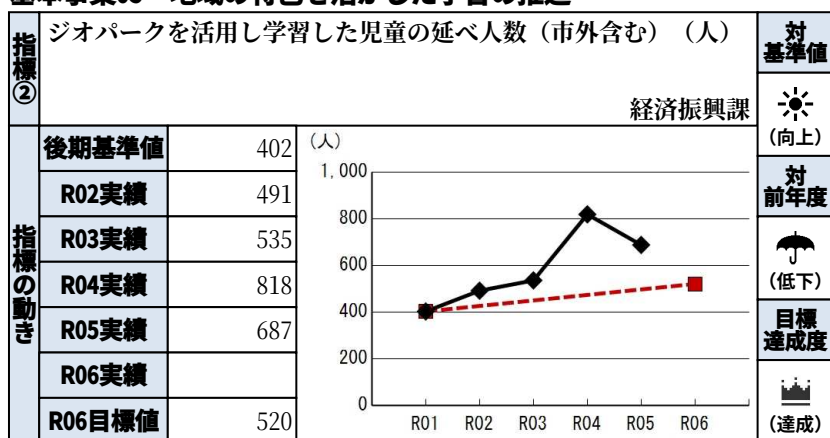


指標値の注釈

特記事項

令和4年度は中川小学校と城川小学校が西予市教育委員会の「小学生夢チャレンジサポート事業」に採択され、20回程度学校やジオサイトでの指導を行ったが、令和5年度はその機会がなかったため、実績値が低下した。

基本事業05 地域の特色を活かした学習の推進

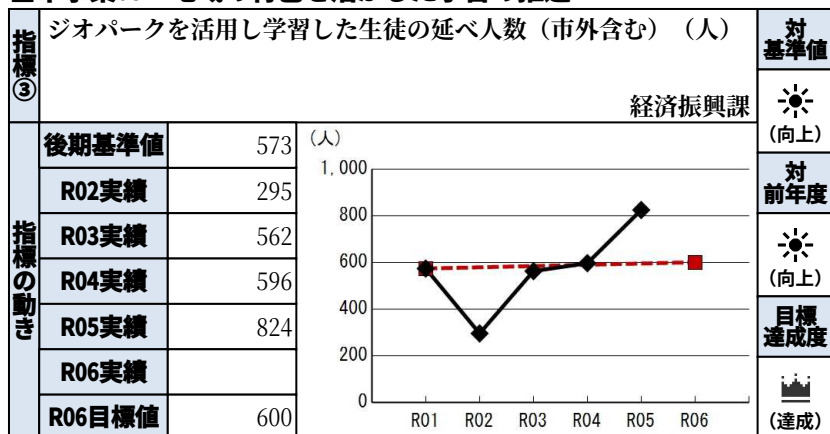


指標値の注釈

特記事項

後期目標値はクリアしているものの、令和4年度ジオミュージアムのオープンでジオ学習を多く行っていた反動で令和5年度は減少したのではないかと考えられる。

基本事業05 地域の特色を活かした学習の推進

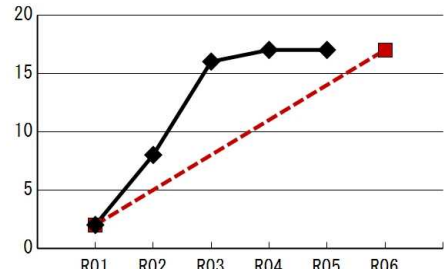


指標値の注釈

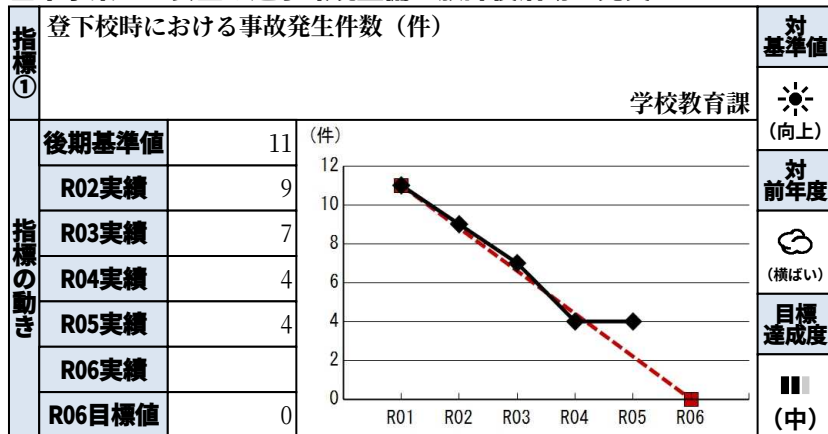
特記事項

ジオミュージアム開館に合わせて学校での地域学習でジオ学習を取り入れていただき、それらが定着しつつあるのではないかと考えられる。

基本事業06 地域と共にある学校づくり

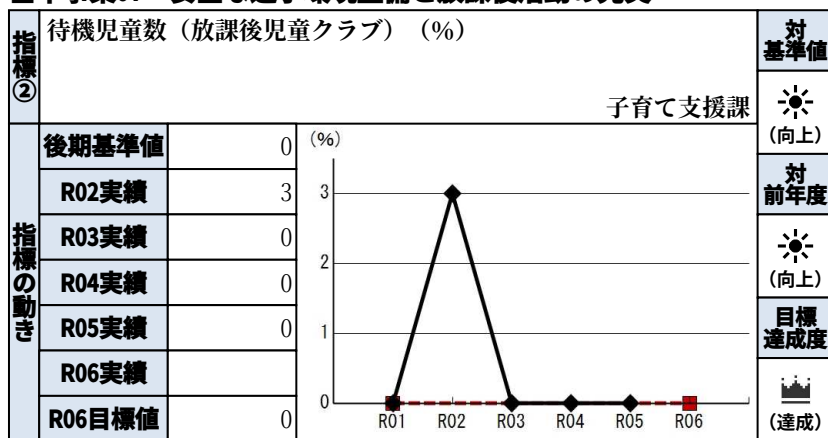
コミュニティ・スクールの導入している学校数（校）		学校教育課		対基準値		指標値の注釈	
指標①				☀ (向上)			
指標の動き	後期基準値	2		対前年度	特記事項 すべての学校で導入できており、地域とともに魅力ある学校づくりを進めることができた。		
	R02実績	8		☁ (横ばい)			
	R03実績	16		目標達成度			
	R04実績	17		🏰 (達成)			
	R05実績	17					
	R06実績						
	R06目標値	17					

基本事業07 安全な通学環境整備と放課後活動の充実



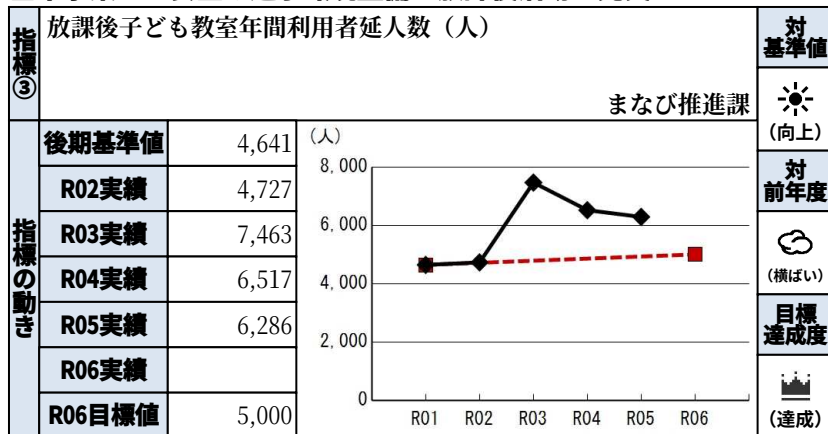
指標値の注釈
特記事項
昨年度と同じく4件の事故が発生しており、いずれも軽傷であった。今後も児童・生徒が安全に通学できるよう、学校での交通安全指導の徹底と関係各課、警察との連携を図っていく。

基本事業07 安全な通学環境整備と放課後活動の充実



指標値の注釈
特記事項
令和5年5月1日時点での待機児童数は15人となったが、児童の状況の変化による取りやめや長期休暇後の登録の空き状況等により、最終的な待機児童数は0人となった。

基本事業07 安全な通学環境整備と放課後活動の充実



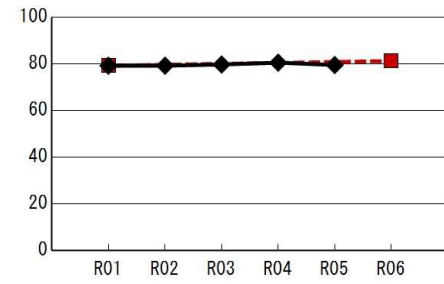
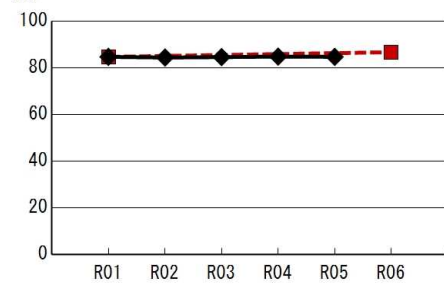
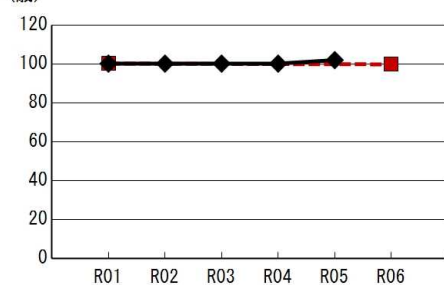
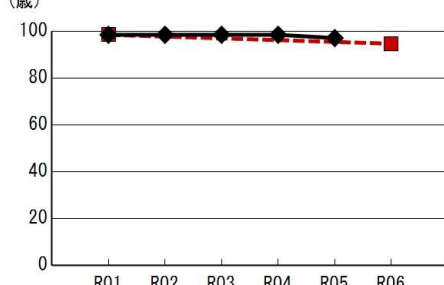
指標値の注釈
特記事項
利用者数は前年度実績と比較すると4%減と微減であるが児童数も減っているため低下しているとはいえない。

政策 02 ひとづくり

施策 03 健康づくりの推進

■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)	意図(どのような状態にしたいのか)
市民	市民が元気で長生きし、安心して生き生きと生活を送っています。

指標①	平均自立期間（男性）（歳）		健康づくり推進課		対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	79.1		(横ばい)		
	R02実績	79.1		対前年度		
	R03実績	79.6		(横ばい)		
	R04実績	80.4		目標達成度		
	R05実績	79.4		(低)		
	R06実績					
	R06目標値	81.1				
指標②	平均自立期間（女性）（歳）		健康づくり推進課		対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	84.6		(横ばい)		
	R02実績	84.3		対前年度		
	R03実績	84.5		(横ばい)		
	R04実績	84.7		目標達成度		
	R05実績	84.6		(低)		
	R06実績					
	R06目標値	86.6				
指標③	標準化死亡比（SMR） 男性 ※5年毎（歳）		健康づくり推進課		対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	100.1		(横ばい)		
	R02実績	100.1		対前年度		
	R03実績	100.1		(横ばい)		
	R04実績	100.1		目標達成度		
	R05実績	101.9		(低)		
	R06実績					
	R06目標値	99.7				
指標④	標準化死亡比（SMR） 女性 ※5年毎（歳）		健康づくり推進課		対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	98.4		(横ばい)		
	R02実績	98.4		対前年度		
	R03実績	98.4		(横ばい)		
	R04実績	98.4		目標達成度		
	R05実績	97.0		(低)		
	R06実績					
	R06目標値	94.6				
特記事項						
平均自立期間（要介護2以上を除く）の数値は二次医療圏域単位の数値であるが昨年度より低下している。引き続き、生活習慣病の発症・重症化予防の取組み、心身の生活機能の維持・向上の取組みを行っていく。						

特記事項					
平均自立期間（要介護2以上を除く）の数値は二次医療圏域単位の数値であるが横ばい状態である。引き続き、生活習慣病の発症・重症化予防の取組み、心身の生活機能の維持・向上の取組みを行っていく。					

指標値の注釈					
実績値の取得は5年毎					
特記事項					
平成30年から令和4年の標準化死亡比は、平成25年から平成29年と比較すると1.8増加している。心疾患・脳出血・自殺が高い傾向にあり、引き続き生活習慣病発症予防と重症化予防、こころの健康づくりの推進に努める。					

指標値の注釈					
実績値の取得は5年毎					
特記事項					
平成30年から令和4年の標準化死亡比は、平成25年から平成29年と比較すると1.4減少している。心疾患・脳出血・自殺が高い傾向にあり、引き続き生活習慣病発症予防と重症化予防、こころの健康づくりの推進に努める。					

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 早期発見・早期治療の促進

指標①

特定健診受診者の割合（％）

健康づくり推進課

後期基準値	36.5
R02実績	29.6
R03実績	33.1
R04実績	33.3
R05実績	33.6
R06実績	
R06目標値	45.0

対基準値

(低下)

対前年度

(横ばい)

目標達成度

(低)

指標値の注釈

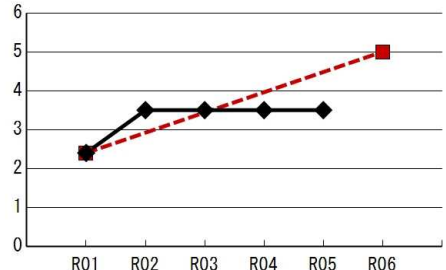
特記事項

令和2年度の新型コロナウイルス感染症の影響で健診受診率は低迷し、その後は横ばい状態である。
愛媛県の課題である心不全対策のため、令和5年度からは心電図検査を全員実施し、健診内容と保健指導の充実を図ることで、健康寿命の延伸を図る。

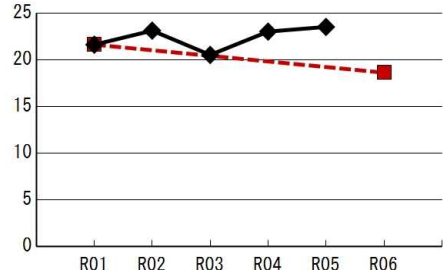
基本事業01 早期発見・早期治療の促進

がん検診受診者の割合（肺・胃・子宮・乳・大腸）（％）			対基準値	指標値の注釈															
指標②	健康づくり推進課			☂ (低下)															
	後期基準値	11.3	<table><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R01</td><td>11.3</td></tr><tr><td>R02</td><td>9.2</td></tr><tr><td>R03</td><td>10.3</td></tr><tr><td>R04</td><td>9.4</td></tr><tr><td>R05</td><td>9.7</td></tr><tr><td>R06</td><td>25.0</td></tr></table>	年度	実績値	R01	11.3	R02	9.2	R03	10.3	R04	9.4	R05	9.7	R06	25.0	対前年度	特記事項 検診受診率は前年度より微増となったが、一昨年の10.3%に至らなかった。またがん発見者数は17人で、過去5年（平均10.6人）の中で最も多かった。検診の精度向上により発見者数が増えていると思われる。今後も検診及び要精検者の受診率向上に努める。
	年度	実績値																	
	R01	11.3																	
	R02	9.2																	
	R03	10.3																	
	R04	9.4																	
R05	9.7																		
R06	25.0																		
R02実績	9.2	☁ (横ばい)																	
R03実績	10.3	目標達成度																	
R04実績	9.4	■ ■ ■ (低)																	
R05実績	9.7																		
R06実績																			
R06目標値	25.0																		

基本事業02 生活習慣の改善による疾病予防

指標①	健康のために実践している平均項目数（禁煙、運動、適正飲酒、睡眠、食事、健診受診等）（項目）		健康づくり推進課		対基準値	指標値の注釈
指標の動き	後期基準値	2.4	(項目)		(比較不可)	特記事項 令和5年度を対象とする市民アンケート未実施により、実績値の取得が不可のため、評価内容は前年度のまちづくり報告書と同様とする。
	R02実績	3.5			対前年度	
	R03実績	3.5				
	R04実績	3.5			(比較不可)	
	R05実績	3.5			目標達成度	
	R06実績					
	R06目標値	5.0			(---)	

基本事業03 心の健康づくり

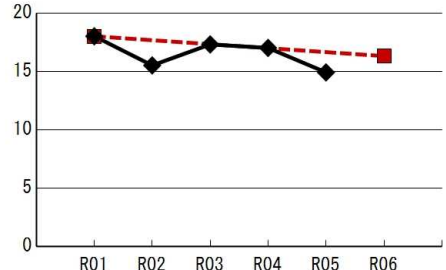
指標①	人口10万人当たりの自殺者数（人口10万対）		健康づくり推進課		対基準値
					☂ (低下)
指標の動き	後期基準値	21.6	(人口10万対)		対前年度
	R02実績	23.1			☁ (横ばい)
	R03実績	20.5			目標達成度
	R04実績	23.0			■■■ (低)
	R05実績	23.5			
	R06実績				
	R06目標値	18.6			

指標値の注釈

特記事項

令和5年の自殺死亡率は34.06、5年間平均は23.5で高くなっている。令和6年度から第2次西予市自殺対策計画に沿って進めていく。50・60歳の男性、40・60歳の女性の「こころの健康調査」を実施し、うつ状態にある人の早期対応、支援を行う。職域への「こころの健康教育」も継続実施する。

基本事業04 母子の健やかな成長支援

指標①	むし歯のある3歳児の割合※乳幼児の保護者育児の成果として 3歳児のう歯罹患率 (%)		健康づくり推進課		対基準値	指標値の注釈
					☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	18.0			対前年度	特記事項 継続的な歯科指導を実施し、う歯罹患率の低下に努めたことで、令和4年度と比較すると実績値が向上した。
	R02実績	15.5			☀ (向上)	
	R03実績	17.3			☀ (向上)	
	R04実績	17.0			☀ (向上)	
	R05実績	14.9			☀ (向上)	
	R06実績				☀ (向上)	
	R06目標値	16.3			🏠 (達成)	

政策 02 ひとづくり

施策 04 継続的な医療体制づくりの推進

■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)		意図(どのような状態にしたいのか)	
市民、両市立病院		両市立病院が公立病院としての役割を果たしつつ、市民へ健康や安心を提供しています。	
指標①	市内、近隣市町に、必要な医療機関が整っていると感じる市民の割合 (%)		医療対策室
	後期基準値	67.7	(比較不可)
	R02実績	67.7	対前年度
	R03実績	67.7	(比較不可)
	R04実績	67.7	目標達成度
	R05実績	67.7	(---)
	R06実績		
	R06目標値	80.0	
		指標値の注釈 	
		特記事項 令和5年度を対象とする市民アンケート未実施により、実績値の取得が不可のため、評価内容は前年度のまちづくり報告書と同様とする。	
指標②	国民健康保険の法定外繰入金額 (千円)		市民課
	後期基準値	0	(向上)
	R02実績	0	対前年度
	R03実績	0	(向上)
	R04実績	0	目標達成度
	R05実績	0	(達成)
	R06実績		
	R06目標値	0	
		指標値の注釈 	
		特記事項 グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。	

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域医療(市民病院等)の継続的運営への取組み

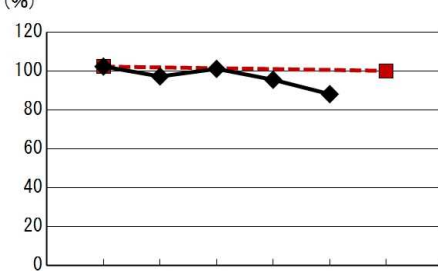
指標①		経常収支比率（病院会計）		市民病院（％）		医療対策室		対基準値	
								対前年度	
								目標達成度	
								（低）	
								</	

指標値の注釈

特記事項

新型コロナウイルス感染症に係る補助金の減収があったものの、入院及び外来収益、一般会計繰入金が増収したため、前年度比2.8ポイント増の94.9%となった。

基本事業01 地域医療(市民病院等)の継続的運営への取組み

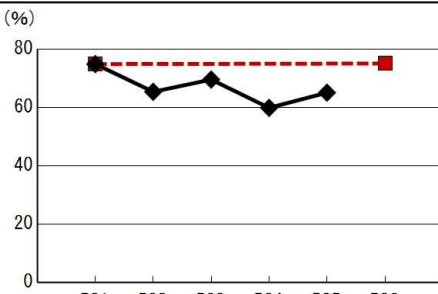
経常収支比率（病院会計） 野村病院（％）			医療対策室		対基準値
指標②					☂ (低下)
指標の動き	後期基準値	102.2			対前年度
	R02実績	97.1			☂ (低下)
	R03実績	101.0			目標達成度
	R04実績	95.4			■ ■ ■ (低)
	R05実績	88.0			
	R06実績				
	R06目標値	100.0			

指標値の注釈

特記事項

職員給与費や委託料など費用の圧縮となったものの、新型コロナウイルス感染症に係る補助金の大幅減収により対前年度7.4ポイント減の88.0%となった。

基本事業01 地域医療(市民病院等)の継続的運営への取組み

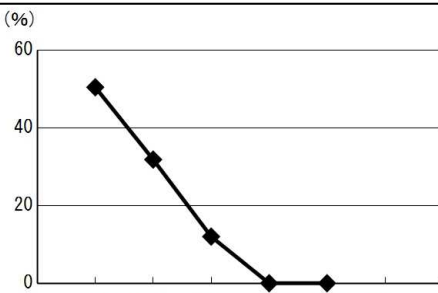
指標③	病床利用率(市民病院 一般病床) (%)		医療対策室	対基準値
				 (低下)
指標の動き	後期基準値	74.8		対前年度
	R02実績	65.3		 (向上)
	R03実績	69.5		目標達成度
	R04実績	59.8		 (低)
	R05実績	65.0		
	R06実績			
	R06目標値	75.0		

指標値の注釈

特記事項

年間延入院者数は対前年度比2,287人(9.5%増)の65.0%となったが、目標値には達していない。

基本事業01 地域医療(市民病院等)の継続的運営への取組み

病床利用率(市民病院 療養病床) (%)		医療対策室		対基準値
指標④	後期基準値	50.4		(比較不可)
	R02実績	31.8		対前年度
	R03実績	12.0		(比較不可)
	R04実績	0		目標達成度
	R05実績	0		(---)
	R06実績			
	R06目標値	-		

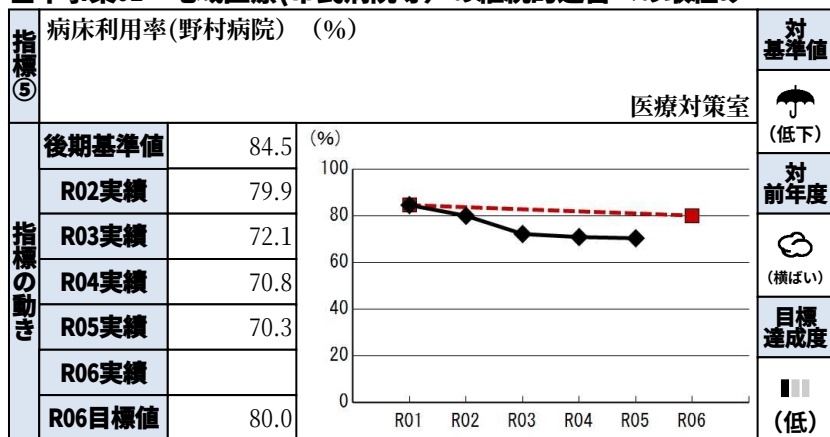
指標値の注釈

病棟閉鎖中のため、目標値の設定不可。

特記事項

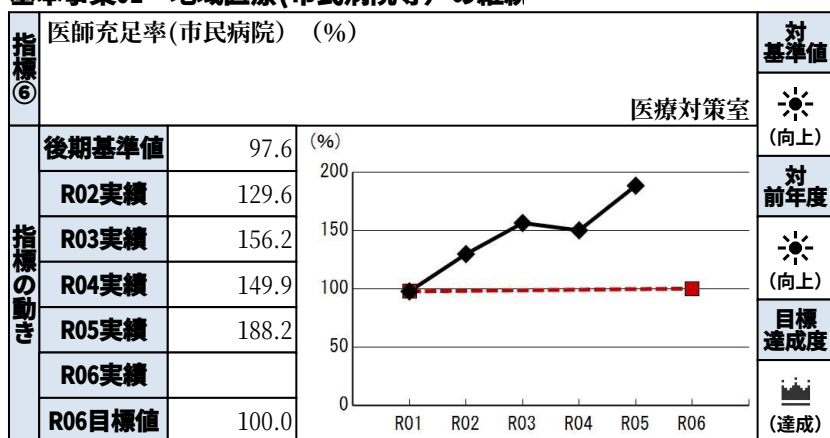
令和3年度途中から新型コロナウイルス感染症対策等により、病棟閉鎖中のため、目標値の設定不可

基本事業01 地域医療(市民病院等)の継続的運営への取組み



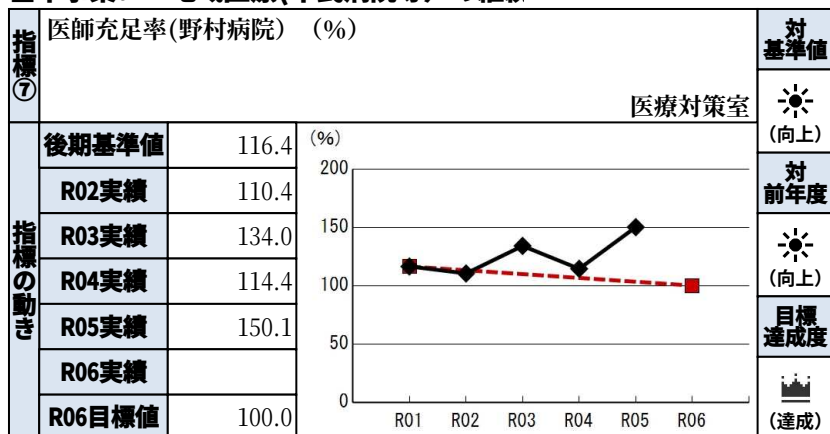
指標値の注釈
特記事項
新型コロナウイルス感染症による受診控えも解消されつつあり、外来患者数は対前年度比で0.1%増に対し、入院がほぼ前年並みの対前年度比0.5ポイント減の70.3%となった。

基本事業01 地域医療(市民病院等)の継続



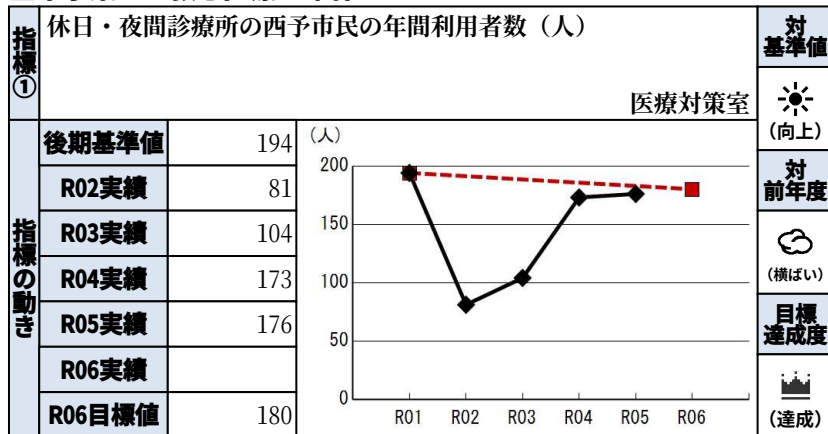
指標値の注釈
特記事項
派遣を含む常勤医師の確保、非常勤医師の支援などにより維持している。

基本事業01 地域医療(市民病院等)の継続



指標値の注釈
特記事項
臨床研修医及び非常勤医師の診療支援等により、基準値を上回った。

基本事業02 救急医療の確保

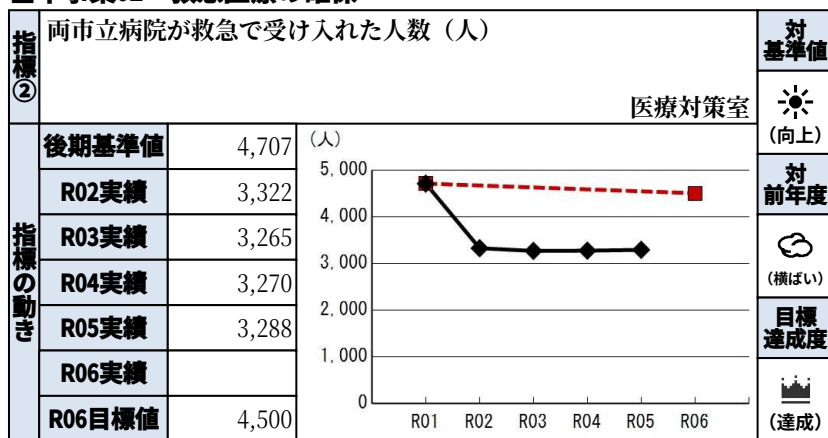


指標値の注釈

特記事項

前年度とほぼ横ばいの患者数であった。

基本事業02 救急医療の確保



指標値の注釈

特記事項

市民病院1,744（うち救急車748）、野村病院1,544（うち救急車528）の3,288件で、前年度とほぼ横ばいで推移している。

基本事業03 国民健康保険財政の健全運営

指標①	国民健康保険1人あたり医療費（円）		市民課	対基準値	指標値の注釈														
				☂ (低下)															
指標の動き	後期基準値	430,045	<table><thead><tr><th>年度</th><th>医療費（円）</th></tr></thead><tbody><tr><td>R01</td><td>430,045</td></tr><tr><td>R02</td><td>427,865</td></tr><tr><td>R03</td><td>444,862</td></tr><tr><td>R04</td><td>431,873</td></tr><tr><td>R05</td><td>436,202</td></tr><tr><td>R06</td><td>425,009</td></tr></tbody></table>	年度	医療費（円）	R01	430,045	R02	427,865	R03	444,862	R04	431,873	R05	436,202	R06	425,009	対前年度	特記事項 被保険者数の減少に伴い、療養諸費額と療養諸費件数は前年度より減少したが、一人当たり療養諸費は増加した。 高齢化や生活習慣病などの長期的な治療が必要となる疾患の増加、医療技術の進歩による治療の質の向上が原因と考えられる。
	年度	医療費（円）																	
	R01	430,045																	
	R02	427,865																	
	R03	444,862																	
	R04	431,873																	
	R05	436,202																	
R06	425,009																		
R02実績	427,865	☂ (低下)																	
R03実績	444,862	目標達成度 ■■ (中)																	
R04実績	431,873																		
R05実績	436,202																		
R06実績																			
R06目標値	425,009																		

基本事業03 国民健康保険財政の健全運営

指標②	国民健康保険収納率（％）		市民課	対基準値	指標値の注釈
指標の動き	後期基準値	96.86	(％) R01 R02 R03 R04 R05 R06	対前年度	特記事項
	R02実績	97.64			
	R03実績	97.84			
	R04実績	97.80			
	R05実績	97.37			
	R06実績				
	R06目標値	97.00			
					納税指導・文書催告・財産調査・債権差し押さえ、執行停止処分等を積極的に実施し、徴収困難事案等については、愛媛県地方税滞納整理機構に移管して徴収を強化したことなどにより、昨年度と同水準の収納率が確保できた。

政策 02 ひとづくり

施策 05 火災・救急体制の整備

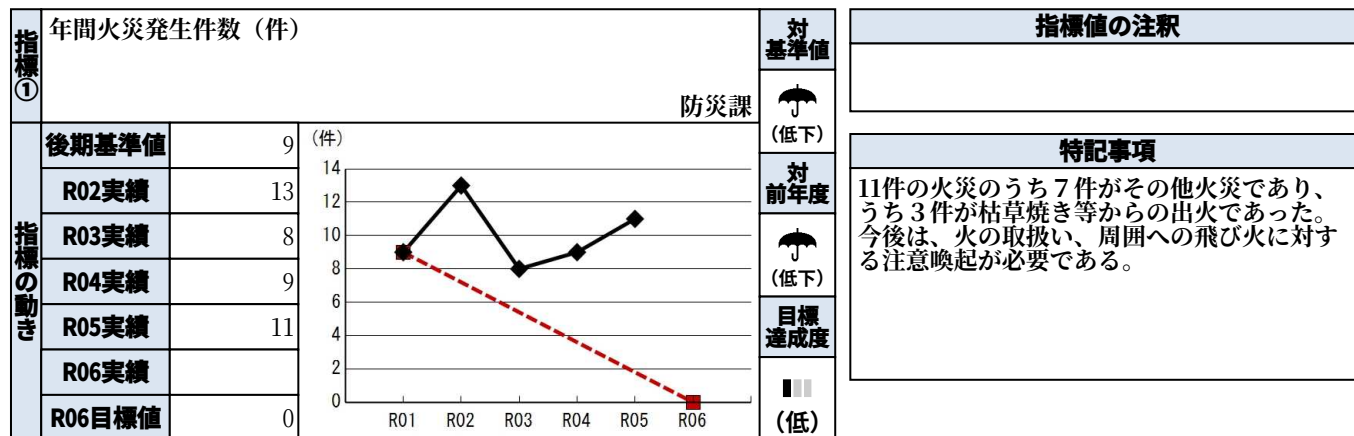
■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)

市民、消防団員、消防施設、消防関係職員、市職員

意図(どのような状態にしたいのか)

防火意識が高く、火災件数も減少し安心して暮らせるまちを目指しています。



■基本事業の成果状況と評価

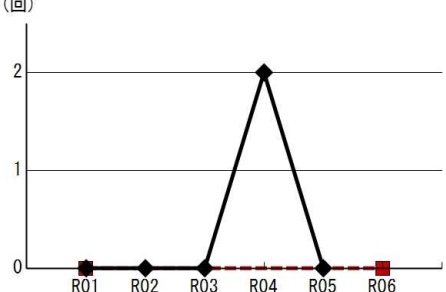
基本事業01 常備消防・救急体制の確保

救急等の現場到着平均時間（分.秒）		防災課		指標値の注釈														
指標①				対基準値														
				☂ (低下)														
後期基準値	9.17	(分.秒) <table><thead><tr><th>指標</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R01</td><td>9.17</td></tr><tr><td>R02</td><td>9.32</td></tr><tr><td>R03</td><td>10.20</td></tr><tr><td>R04</td><td>10.15</td></tr><tr><td>R05</td><td>9.50</td></tr><tr><td>R06</td><td>9.00</td></tr></tbody></table>	指標	値	R01	9.17	R02	9.32	R03	10.20	R04	10.15	R05	9.50	R06	9.00	対前年度	特記事項
指標	値																	
R01	9.17																	
R02	9.32																	
R03	10.20																	
R04	10.15																	
R05	9.50																	
R06	9.00																	
R02実績	9.32	☀ (向上)	救急件数は、令和4年より85件増加、現場到着時間は25秒短縮している。															
R03実績	10.20	目標達成度																
R04実績	10.15	■ ■ ■ (低)																
R05実績	9.50																	
R06実績																		
R06目標値	9.00																	

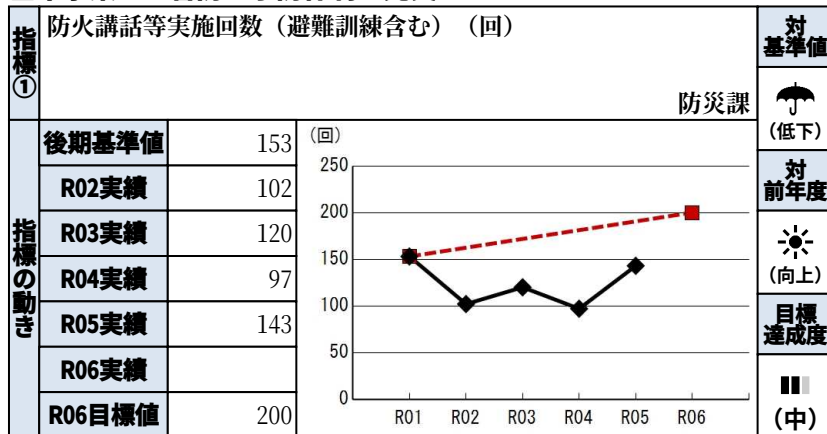
基本事業01 常備消防・救急体制の確保

救急の軽症患者搬送率（％）		防災課		対基準値	指標値の注釈
指標②				☂ (低下)	
	後期基準値	34.9		対前年度	特記事項 前年と比較、中等症以上の搬送が微減となった結果、軽症患者の搬送が微増となっている。しかしながら、全国の軽症患者搬送率48.4%と比較すると、11.4ポイント低い値となっている。
指標の動き	R02実績	33.2		☁ (横ばい)	
	R03実績	33.5		目標達成度	
	R04実績	36.2		■ ■ ■ (低)	
	R05実績	37.0			
	R06実績				
	R06目標値	30.0			

基本事業02 常備消防施設設備の整備

指標①	緊急通信指令装置の修繕回数（回）		防災課		対基準値	指標値の注釈
					☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	0			対前年度	特記事項 緊急通信指令装置の更新を年度内に控え、保守点検の結果から、軽微なものや放置可能なものは業者と相談し継続使用している。大きな修繕等がでないよう大事に使用していきたい。
	R02実績	0			☀ (向上)	
	R03実績	0			目標達成度	
	R04実績	2			🏠 (達成)	
	R05実績	0				
	R06実績					
	R06目標値	0				

基本事業03 警防・予防体制の充実

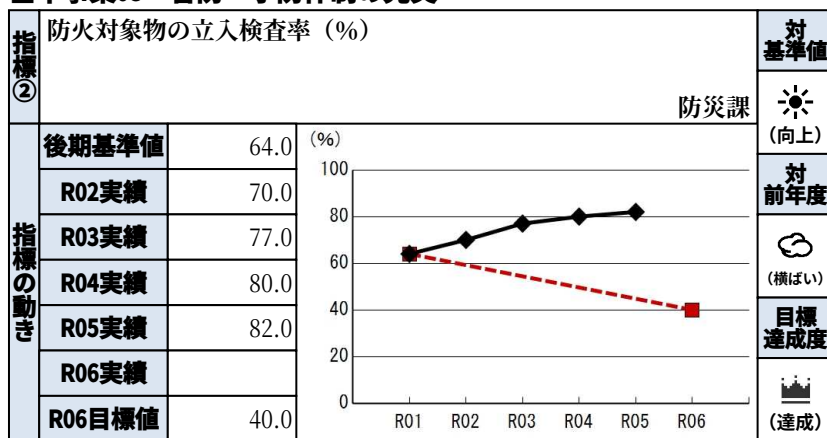


指標値の注釈

特記事項

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、各事業所での訓練等が実施できる体制となり増加したと考える。

基本事業03 警防・予防体制の充実

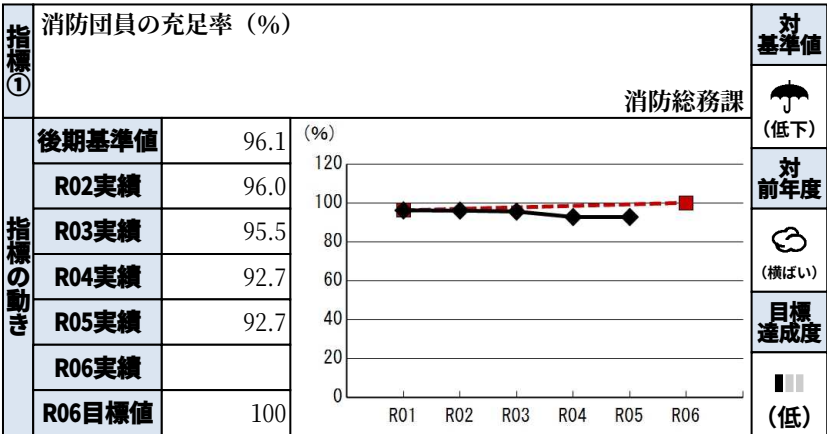


指標値の注釈

特記事項

業務内の優先度を上げ、計画的に実施したことにより、実績値が微増した。

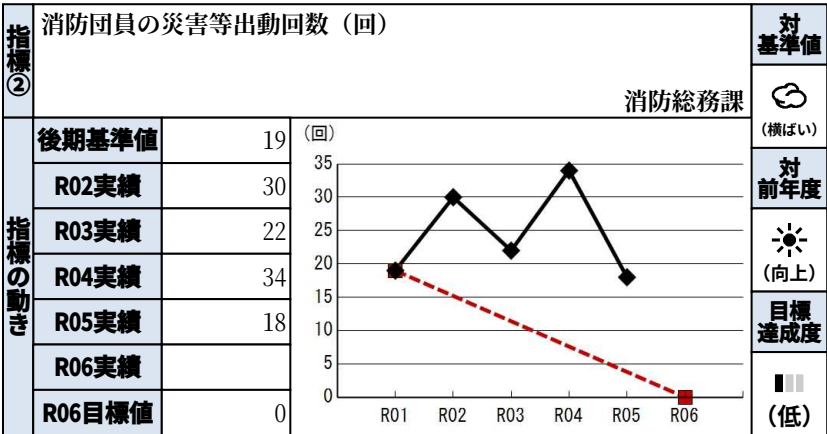
基本事業04 消防団活動の推進



指標値の注釈
特記事項

令和5年度は団員の役職入れ替わりの少ない年であり、大きな増減はなかった。少子高齢化により団員確保が困難な地域が存在する。消防団再編計画等の課題があるため、目標達成度は「低」とする。

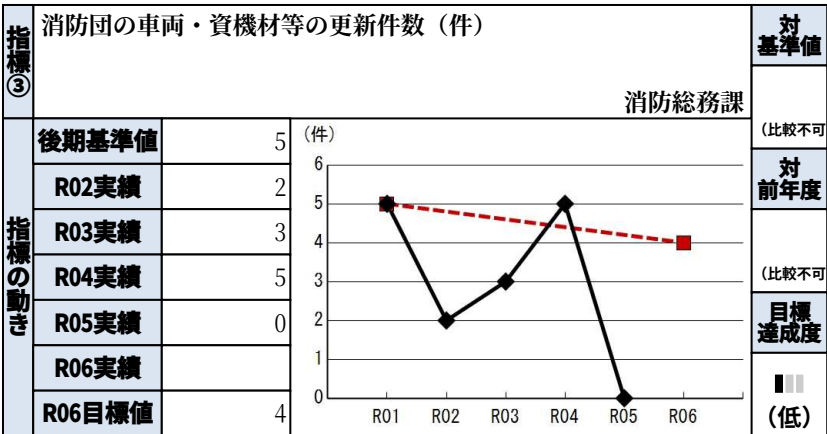
基本事業04 消防団活動の推進



指標値の注釈
特記事項

令和5年度は令和4年度に比べ、災害が少なかったため出動回数が少なくなった。今後も、火災予防の広報などを積極的に行い出動回数の低下に努める。

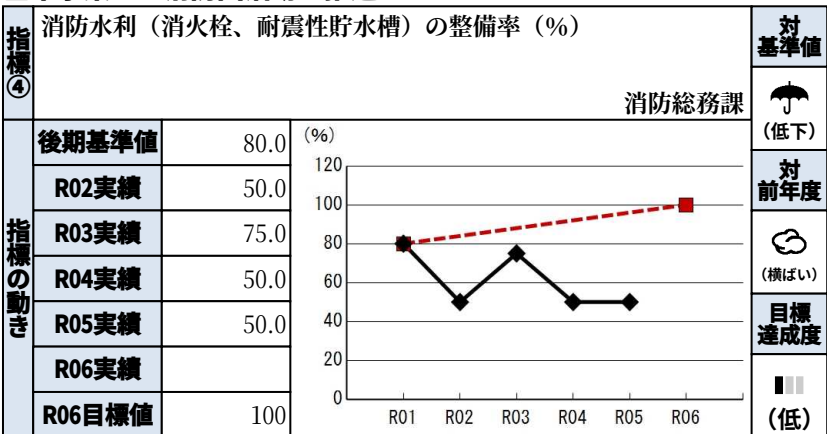
基本事業04 消防団活動の推進



指標値の注釈
特記事項

本事業は、令和7年度まで延期することになっており、車両等の更新はなし。

基本事業04 消防団活動の推進



指標値の注釈
特記事項

令和4年度予定していた分1基が繰り越しとなり令和5年に完成した。整備計画は2年に2基としており、令和5年度は設置無し、令和6年度に2基設置予定。年度内に完成するよう、前年度から調整を行う。

政策 02 ひとづくり

施策 06 高齢者福祉・介護保険の推進

■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)		意図(どのような状態にしたいのか)	
高齢者（元気、虚弱、要支援、要介護）、地域住民		本市がこれまで培った地域のぬくもり（コミュニティ意識）を、全ての市民が支え合う仕組み（地域包括ケアシステム、地域共生社会）につなげていきます。	

指標①	自立高齢者割合（％）		対基準値 ☁ (横ばい)
	後期基準値	79.49	
指標の動き	R02実績	78.97	対前年度 ☁ (横ばい)
	R03実績	78.85	
	R04実績	78.83	目標達成度 🏠 (達成)
	R05実績	78.68	
	R06実績		
	R06目標値	76.50	

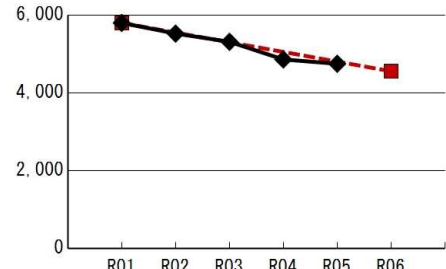
長寿介護課

指標値の注釈

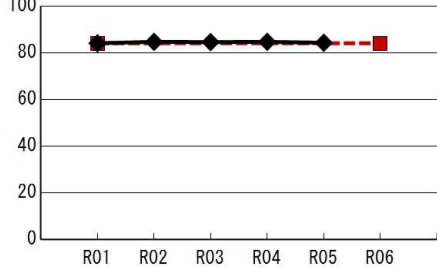
特記事項
自立支援施策の効果によって自立高齢者割合の低下は抑えられている。介護予防運動教室を実施し、終了後は住民主体の通いの場となるよう働きかけ、継続した介護予防の取組を行っている。保健事業と連携しフレイル予防等の普及啓発を行っている。

■基本事業の成果状況と評価

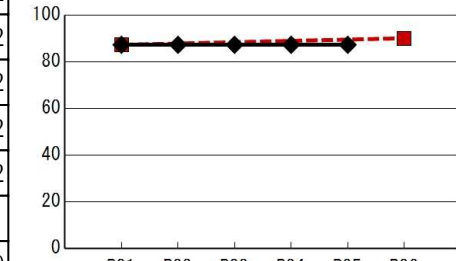
基本事業01 社会参加促進と連携による見守りの推進

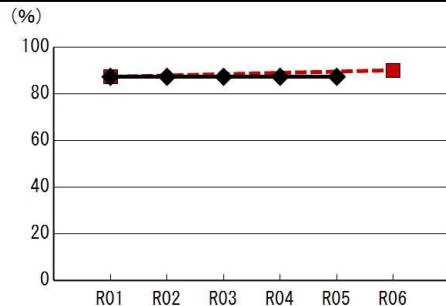
指標①		高齢者の社会参加に関する団体登録者延人数（老人クラブ、シルバー人材センター登録者数、その他）（人）		対基準値		指標値の注釈	
		長寿介護課		☂ (低下)			
指標の動き	後期基準値	5,794		対前年度	特記事項 会員の高齢化による会員数の減少及び新規会員の加入の減少が要因と考えられる。		
	R02実績	5,520		☂ (低下)			
	R03実績	5,309					
	R04実績	4,855					
	R05実績	4,744		目標達成度			
	R06実績			☎ (達成)			
	R06目標値	4,551					

基本事業02 介護予防の推進

指標①	要支援認定の新規該当者の平均年齢（歳）		対基準値		指標値の注釈	
	長寿介護課		 (横ばい)			
指標の動き	後期基準値	84.0	(歳) 		対前年度	
	R02実績	84.6			 (横ばい)	
	R03実績	84.5			特記事項 介護予防・生活支援サービス事業の利用や介護予防運動教室を実施し、終了後は住民主体の通いの場となるよう働きかけ、継続した介護予防の取組を行っている。保健事業と連携しフレイル予防等の普及啓発を行っている。	
	R04実績	84.6				
	R05実績	84.2				
	R06実績					
	R06目標値	84.0				
			目標達成度		 (達成)	

基本事業03 地域包括ケアシステムの推進

指標①		相談先がある高齢者の割合（％）		対基準値	
				長寿介護課	
指標の動き	後期基準値	87.2	(％)	(比較不可)	
	R02実績	87.2		対前年度	
	R03実績	87.2		(比較不可)	
	R04実績	87.2		目標達成度	
	R05実績	87.2		(---)	
	R06実績				
	R06目標値	90.0			



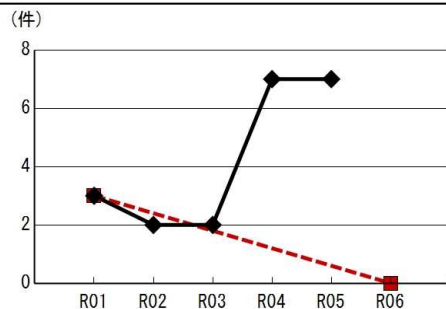
指標値の注釈

特記事項

令和5年度を対象とする市民アンケート未実施により、実績値の取得が不可のため、評価内容は前年度のまちづくり報告書と同様とする。

基本事業03 地域包括ケアシステムの推進

高齢者の権利が損なわれた件数（虐待・権利）（件）			長寿介護課			対基準値
指標②						（低下）
指標の動き	後期基準値	3			対前年度	
	R02実績	2			（横ばい）	
	R03実績	2			目標達成度	
	R04実績	7			（低）	
	R05実績	7				
	R06実績					
	R06目標値	0				

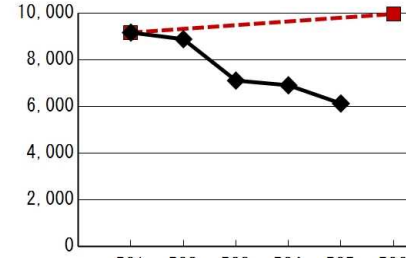


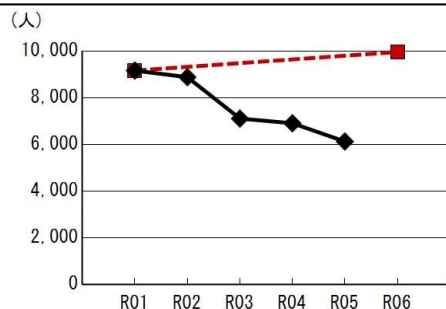
指標値の注釈

特記事項

家庭環境及び養護者の疲労（ストレス）等も要因ではないかと考える。

基本事業03 地域包括ケアシステムの推進

指標③		日常生活支援サービスの年間延べ利用者数（人）		対基準値																						
				長寿介護課																						
指標の動き	後期基準値	9,157	 <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績 (人)</th><th>目標 (人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R01</td><td>9,100</td><td>9,100</td></tr><tr><td>R02</td><td>8,800</td><td>9,200</td></tr><tr><td>R03</td><td>7,100</td><td>9,300</td></tr><tr><td>R04</td><td>6,900</td><td>9,400</td></tr><tr><td>R05</td><td>6,100</td><td>9,500</td></tr><tr><td>R06</td><td>-</td><td>9,900</td></tr></tbody></table>	年度	実績 (人)	目標 (人)	R01	9,100	9,100	R02	8,800	9,200	R03	7,100	9,300	R04	6,900	9,400	R05	6,100	9,500	R06	-	9,900	対前年度	
	年度	実績 (人)		目標 (人)																						
	R01	9,100		9,100																						
	R02	8,800		9,200																						
	R03	7,100		9,300																						
	R04	6,900		9,400																						
	R05	6,100		9,500																						
R06	-	9,900																								
R02実績	8,874	(低下)																								
R03実績	7,101	目標達成度																								
R04実績	6,899	(低下)																								
R05実績	6,118	目標達成度																								
R06実績		(低)																								
R06目標値	9,954																									

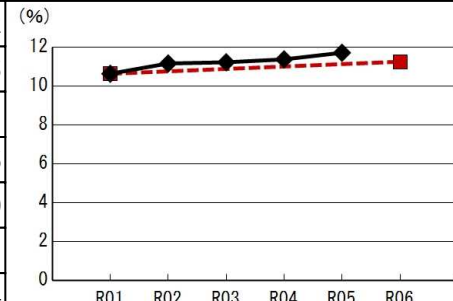


指標値の注釈

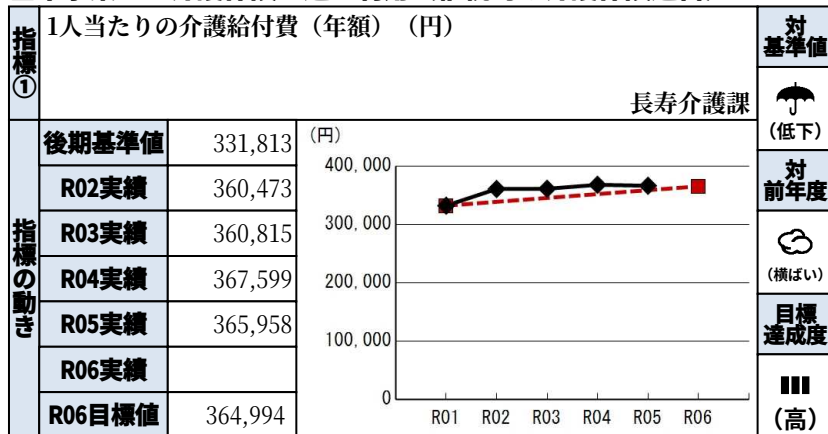
特記事項

新型コロナウイルス感染症による利用者の利用自粛及びサービス提供事業所の休止などの影響がある。

基本事業04 住み慣れた地域で暮らせる介護環境づくり

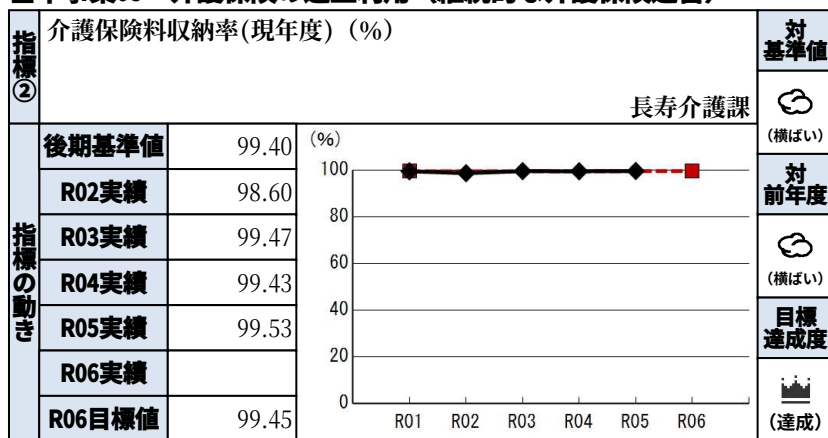
指標①	居宅サービス受給率（％）		長寿介護課	対基準値	指標値の注釈
				対前年度	
指標の動き	後期基準値	10.62		対前年度	特記事項 介護予防・生活支援サービス事業の利用や、ケアマネによる自立支援に向けたケアプランの作成、在宅医療と介護の連携、認知症の早期発見と早期支援などの在宅支援施策により、昨年度より0.34ポイント上がった。
	R02実績	11.15		対前年度	
	R03実績	11.21		対前年度	
	R04実績	11.36		対前年度	
	R05実績	11.70		対前年度	
	R06実績			対前年度	
	R06目標値	11.24		対前年度	

基本事業05 介護保険の適正利用（継続的な介護保険運営）



指標値の注釈
特記事項
介護予防・生活支援サービス事業の利用や住民主体の通いの場の支援を行い、継続した介護予防の取組や必要なサービスが過不足なく提供されるよう介護給付適正化に取組んでいる。

基本事業05 介護保険の適正利用（継続的な介護保険運営）



指標値の注釈
特記事項
介護保険料は大部分が特別徴収による年金引落しとなっているため、例年高い徴収率で推移している。前年度比で0.10ポイント増加し、目標値を達成した。

政策 02 ひとづくり

施策 07 障がい者福祉の推進

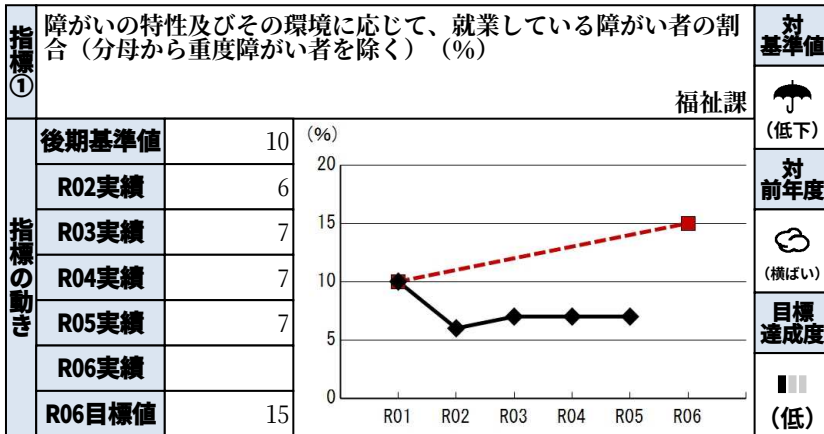
■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)

市民、障がい者

意図(どのような状態にしたいのか)

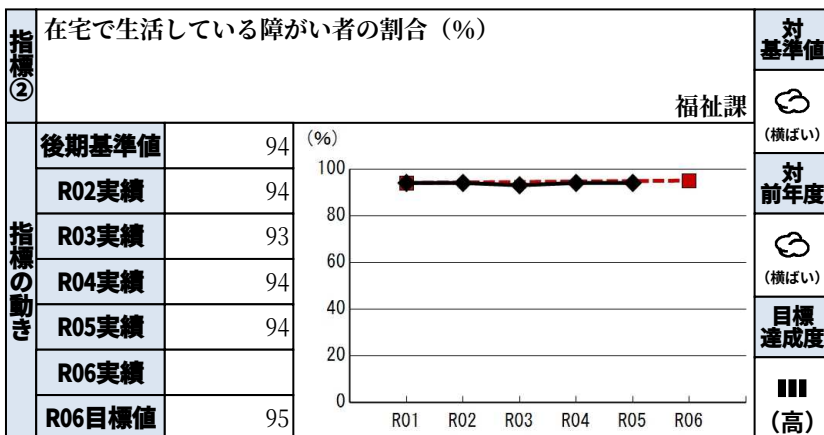
障がい者等の自立社会参加が促進され、安心して暮らせる福祉のまちづくりが進んでいます。



指標値の注釈

特記事項

就業系サービス利用について、昨年度と同様の利用水準となった。



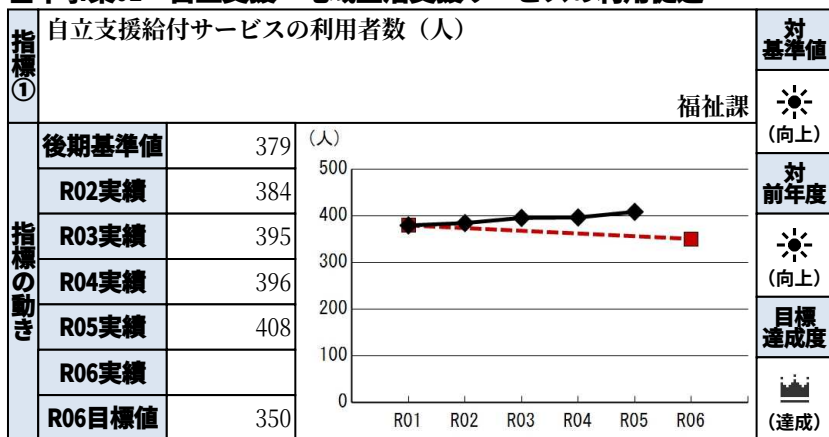
指標値の注釈

特記事項

利用者のニーズを踏まえながら、在宅で生活しやすい環境の整備を進めていく必要があると考える。

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 自立支援・地域生活支援サービスの利用促進

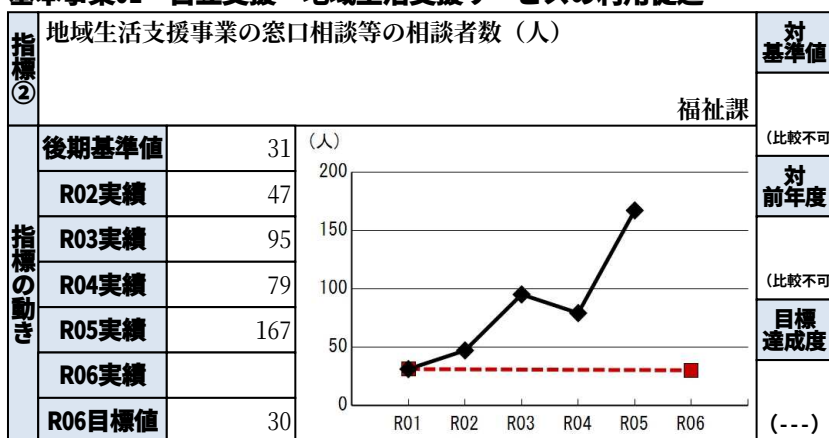


指標値の注釈

特記事項

障害福祉サービスは年々増加傾向である。今後も、自立支援サービス利用の需要があると考えられる。

基本事業01 自立支援・地域生活支援サービスの利用促進



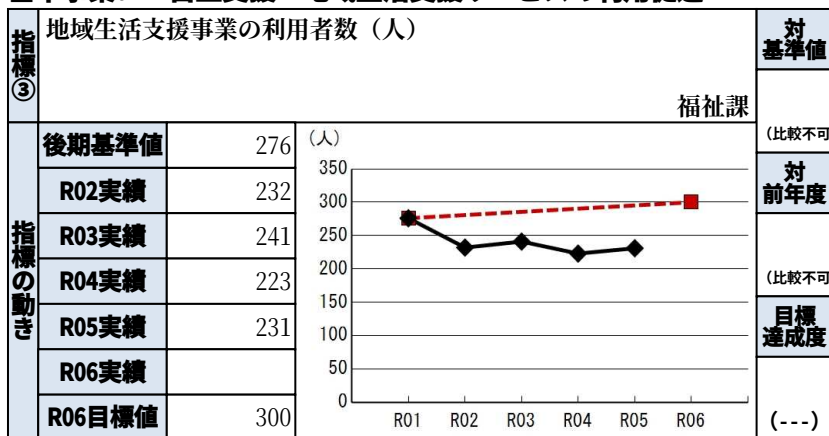
指標値の注釈

指標の増減が成果と言えないため、比較不可。

特記事項

今後も住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるよう、障がいのある方やそのご家族等からの、暮らし、福祉、健康、仕事など、さまざまな相談に応じる。

基本事業01 自立支援・地域生活支援サービスの利用促進



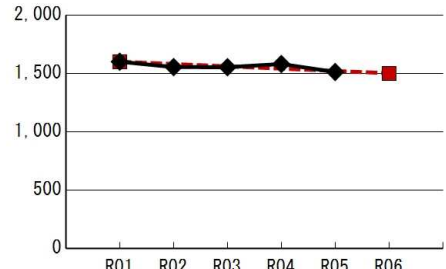
指標値の注釈

指標の増減が成果と言えないため、比較不可。

特記事項

障がい者の地域での生活を支援するため引き続き状況に応じた事業を行うとともに、地域のニーズを把握しノーマライゼーションの浸透を図る。

基本事業02 障がい者への経済援助

指標①		助成を受け経済的負担が軽減されている障がい者数（人）		福祉課		対基準値		指標値の注釈	
指標の動き	後期基準値	1,599			☂	(低下)			
	R02実績	1,553			対前年度				
	R03実績	1,552			☂	(低下)			
	R04実績	1,579			目標達成度				
	R05実績	1,511			🏠	(達成)			
	R06実績								
	R06目標値	1,500							

基本事業03 障がいに対する理解の推進

障がい者法定雇用率達成企業割合（県単位）（％）		福祉課		対基準値
指標①				
指標の動き	後期基準値	53.7		(比較不可)
	R02実績	52.8		対前年度
	R03実績	48.9		(比較不可)
	R04実績	51.9		目標達成度
	R05実績	54.7		(---)
	R06実績			
	R06目標値	↑		

指標値の注釈

特記事項

前年比において、雇用障害者数・実雇用率ともに過去最高を更新。法定雇用率は義務化されているため、各事業所が雇用率を上昇できるよう県下で対策していく必要があると思われる。

基本事業03 障がいに対する理解の推進

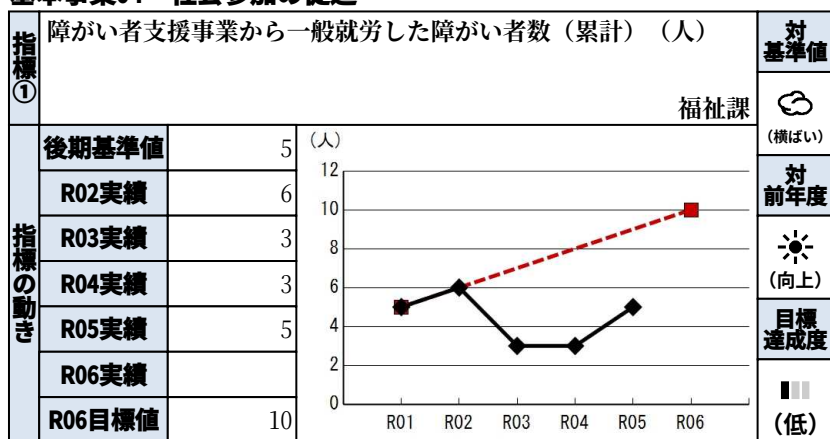
障がい者（児）の権利が損なわれた件数（虐待・権利）（件）			福祉課		対基準値 ☀ (向上)													
指標の動き	後期基準値	0	(件) <table border="1"><thead><tr><th>指標</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R01</td><td>0</td></tr><tr><td>R02</td><td>0</td></tr><tr><td>R03</td><td>2</td></tr><tr><td>R04</td><td>0</td></tr><tr><td>R05</td><td>0</td></tr><tr><td>R06</td><td>0</td></tr></tbody></table>	指標	値	R01	0	R02	0	R03	2	R04	0	R05	0	R06	0	対前年度 ☀ (向上)
	指標	値																
	R01	0																
	R02	0																
	R03	2																
	R04	0																
	R05	0																
R06	0																	
R02実績	0	目標達成度 ☀ (達成)																
R03実績	2																	
R04実績	0																	
R05実績	0																	
R06実績																		
R06目標値	0																	

指標値の注釈

特記事項

指標に至る件数は無し。今後も啓発活動を強化し、関係機関等と連携を図り防止に努める。

基本事業04 社会参加の促進



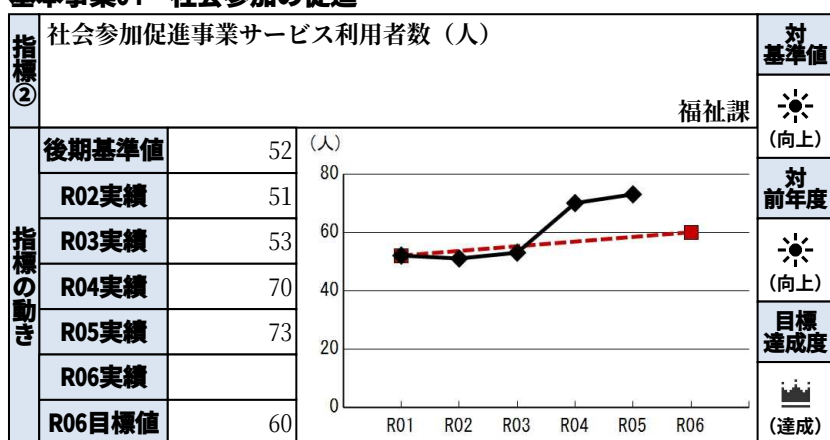
指標値の注釈

計画期間累計ではなく、単年度集計とする。

特記事項

法律に基づく就業制限等もなくなったことから、障がい者の就労意欲や事業所側の雇用が回復の傾向にあると考えられる。

基本事業04 社会参加の促進

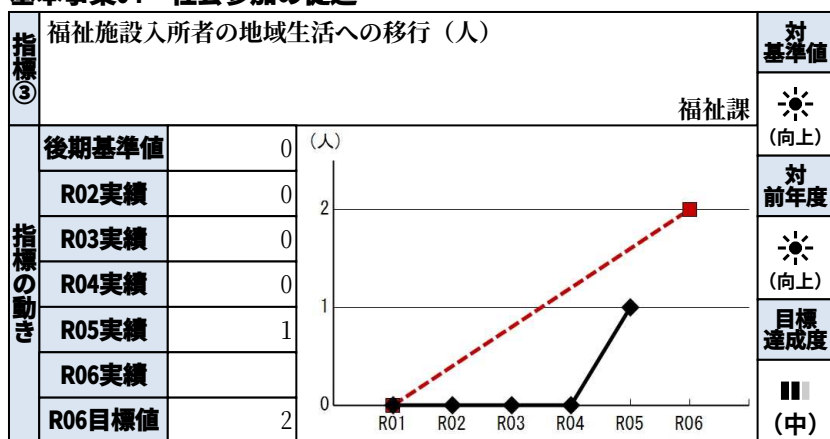


指標値の注釈

特記事項

当指標値は手話通訳派遣とタクシー利用助成者数。新型コロナウイルス感染症が収束したことで、外出自粛等の影響もなくなったため利用率が向上した。

基本事業04 社会参加の促進



指標値の注釈

特記事項

施設利用者のニーズを踏まえて、必要により地域移行のための支援につなげていく必要があると考える。

政策 02 ひとづくり

施策 08 セーフティネットの確保と地域福祉の推進

■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)	意図(どのような状態にしたいのか)
市民	最低生活が保障され安心した日常生活を送っています。

指標①	法定受託事業のため「なし」()			対基準値	指標値の注釈
	福祉課			(比較不可)	
指標の動き	後期基準値	-		対前年度	特記事項
	R02実績	-			
	R03実績	-			
	R04実績	-		(比較不可)	
	R05実績	-		目標達成度	
	R06実績	-			
	R06目標値	-		(---)	

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 自立支援と適正な生活保護

指標①

生活保護率（％）

福祉課

対基準値

傘

(低下)

対前年度

傘

(低下)

目標達成度

(低)

指標の動き

後期基準値	0.82
R02実績	0.80
R03実績	0.80
R04実績	0.84
R05実績	0.87
R06実績	
R06目標値	0.78

(%)

2

1

0

R01

R02

R03

R04

R05

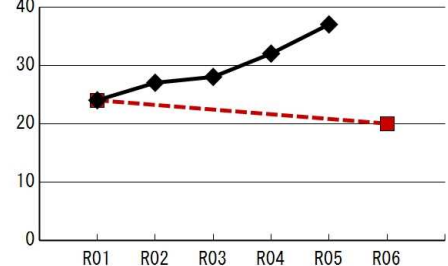
R06

指標値の注釈

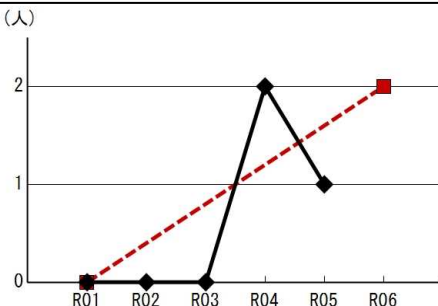
特記事項

被保護者数は横ばいであるが、人口減少により保護率が上昇した。長引く物価高騰の影響、高齢化に伴う医療費及び介護費の支払難により被保護者の増加が懸念されるが、被保護者への自立支援策を推進する。

基本事業01 自立支援と適正な生活保護

指標②	生活保護開始決定件数（件）		福祉課	対基準値	指標値の注釈
				（低下）	
指標の動き	後期基準値	24		対前年度	特記事項 物価高騰及び医療費、介護費の負担の影響による預貯金の減少等の理由で、生活保護開始決定件数が増加した。 長引く物価高騰の影響、高齢化に伴う医療費及び介護費の支払難により被保護者の増加が懸念されるが、被保護者への自立支援策を推進する。
	R02実績	27		（低下）	
	R03実績	28		（低下）	
	R04実績	32		（低下）	
	R05実績	37		（低下）	
	R06実績			（低下）	
	R06目標値	20		（低）	

基本事業02 生活困窮者対策の推進

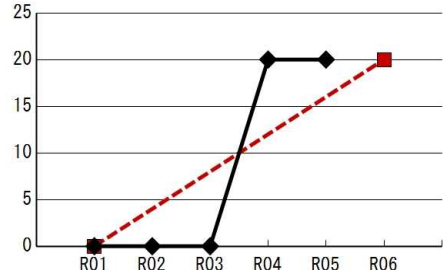
指標①	自立支援プログラムにより生活改善が図られた生活困窮者数（人）		福祉課	対基準値	指標値の注釈
				☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	0		対前年度	特記事項 物価高騰等の影響により延べ678件の相談があり、プログラム策定は2件、そのうちプログラム策定により生活改善が図られた件数が1件となった。
	R02実績	0		☂ (低下)	
	R03実績	0		目標達成度	
	R04実績	2		■ (中)	
	R05実績	1			
	R06実績				
	R06目標値	2			

基本事業03 インフォーマルサービスの推進

指標①	インフォーマルサービスの実施件数（件）		福祉課	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	0		(横ばい)	
指標の動き	R02実績	0	（件） 14 12 10 8 6 4 2 0 R01 R02 R03 R04 R05 R06	対前年度	特記事項
	R03実績	0		(横ばい)	
	R04実績	0		目標達成度	
	R05実績	0		■ ■ ■	
	R06実績			(低)	
	R06目標値	12			

指標値の注釈
特記事項
ニーズの確認等も行いながら、インフォーマルサービスに繋がる企画を計画し、拡充に努める。

基本事業04 窓口業務のワンストップ化

指標①	本庁・支所・公民館でワンストップ化された業務の達成率（％）		デジタル推進課		対基準値	指標値の注釈
					☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	0			対前年度	特記事項 令和5年度はワンストップサービスについて新たな業務を組み込むことはできなかったが、引き続きどうすればできるかについて検討を行っていく。
	R02実績	0			☁ (横ばい)	
	R03実績	0			目標達成度	
	R04実績	20			🏰 (達成)	
	R05実績	20				
	R06実績					
	R06目標値	20				

政策 02 ひとづくり

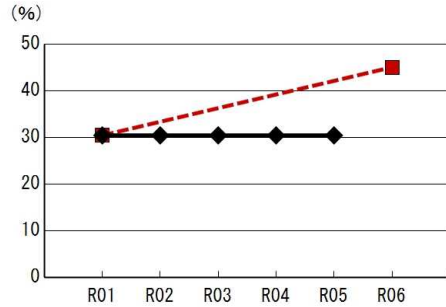
施策 09 生涯学習の推進

■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)	意図(どのような状態にしたいのか)
市民	市民一人ひとりの学びが進み、心豊かに過ごす地域が形成されます。

生涯学習活動を行っている市民の割合（％）			対基準値	指標値の注釈	
指標①	まちづくり推進課			実績値の取得は隔年（R2年度、R4年度、R6年度）	
指標の動き	後期基準値	30.4	(比較不可)	対前年度	
	R02実績	30.4			
	R03実績	30.4	(比較不可)	目標達成度	
	R04実績	30.4			
	R05実績	30.4	(---)		
	R06実績				
	R06目標値	45.0			

年度	割合（％）
R01	30.4
R02	30.4
R03	30.4
R04	30.4
R05	30.4
R06	45.0



■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生涯学習施設の管理

指標①	地域づくり活動センターにおける修繕件数（維持管理上の不具合による）（件）		まちづくり推進課		対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	31	(件)		対前年度	
指標の動き	R02実績	66			目標達成度	前年度に比べ修繕件数は減少したが、どの施設も築年数が相当数経過しており、今後も経年劣化に伴う修繕は増えていくと考える。市民の利用に大きく影響を与えないよう適切に対応しているが、施設利用に支障が生じる不具合が生じた場合は、市民の安全を第一に適切に対応している。
	R03実績	80			(横ばい)	
	R04実績	84			(低)	
	R05実績	38				
	R06実績					
	R06目標値	15				

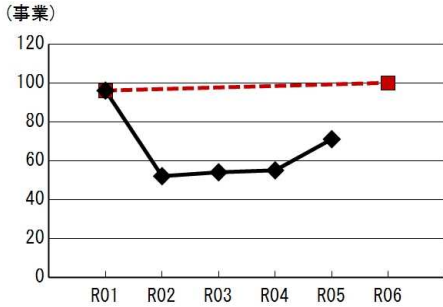
基本事業02 生涯学習機会の充実

指標①	地域づくり活動センターの講座・講演、体験型事業・イベント等への年間参加者数（人）		まちづくり推進課		対基準値	指標値の注釈
					☂ (低下)	
指標の動き	後期基準値	19,931		対前年度 ☀ (向上)	目標達成度 ■■■ (低)	特記事項
	R02実績	10,337				
	R03実績	8,624				
	R04実績	9,365				
	R05実績	13,130				
	R06実績					
	R06目標値	21,000				

新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことで、講座やイベント回数がコロナ禍以前に戻りつつある。またセンター化により、地域づくり組織との協働による新たな取り組みも見られる。

基本事業03 地域・学校との連携

指標①	学校との連携事業数（累計）（事業）		対基準値	
	まなび推進課		（低下）	
指標の動き	後期基準値	96	対前年度 （向上） 目標達成度 （低）	
	R02実績	52		
	R03実績	54		
	R04実績	55		
	R05実績	71		
	R06実績			
	R06目標値	100		



指標値の注釈

計画期間累計ではなく、単年度集計とする。

特記事項

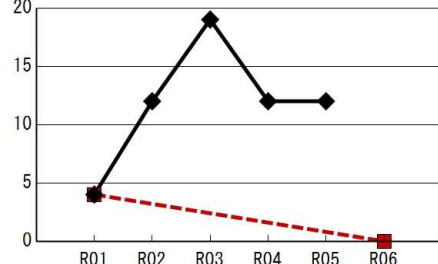
昨年度よりも制限もなくなったため、学校との連携事業も増えてきた。しかしながら新型コロナウイルス感染症の影響により何年も中止になったことで事業が廃止になったものあり、目標達成度は低くなった。

政策 02 ひとづくり

施策 10 人権の尊重と男女共同参画の推進

■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)	意図(どのような状態にしたいのか)
市民	すべての人の人権が、真に尊重されるまちです。

指標①	最近1年間に人権を傷つけられたことがある市民の相談件数（件）		対基準値	指標値の注釈
	人権啓発課		 (低下)	
指標の動き	後期基準値	4		対前年度
	R02実績	12		 (横ばい)
	R03実績	19		目標達成度
	R04実績	12		 (中)
	R05実績	12		
	R06実績			
	R06目標値	0		

指標②

女性の就業割合（％）

指標の動き

後期基準値	44.57
R02実績	44.57
R03実績	46.96
R04実績	46.96
R05実績	47.01
R06実績	
R06目標値	50.00

人権啓発課

対基準値

対前年度

目標達成度

(中)

指標値の注釈

実績値の取得は隔年（R2年度、R4年度、R6年度）

特記事項

男女参画共同社会の推進や働き方改革により女性の就業率は高い水準にある。共働き世帯の増加や、定年後の再任用の取得により、就業率は高まっている。

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 人権教育の推進

指標①		人権教育 年間受講者数（人）		対基準値		指標値の注釈	
				☂ (低下)			
指標の動き	後期基準値	2,331	人権啓発課	対前年度	特記事項 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、参加者は増加した。愛媛県人権教育協議会西予支部の5分会は5年度で廃止のため、新しい実施方法を検討し取組むよう努める。		
	R02実績	1,396		☀ (向上)			
	R03実績	1,442		☀ (向上)			
	R04実績	1,228		☀ (向上)			
	R05実績	1,985		☀ (向上)			
	R06実績			☀ (向上)			
	R06目標値	2,500		■ (高)			

基本事業02 人権の擁護

指標①	各種人権侵害に対する措置件数（人）		対基準値
	人権啓発課		☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	0	対前年度 ☀ (向上)
	R02実績	0	
	R03実績	0	目標達成度 🏠 (達成)
	R04実績	0	
	R05実績	0	
	R06実績		
	R06目標値	0	

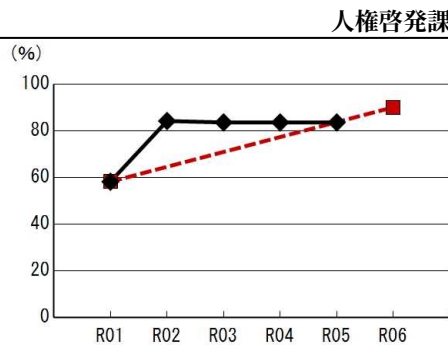
指標値の注釈
特記事項
グラフは横ばい傾向に見て取れるが、人権侵害に対する措置は実績は0である。値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

基本事業03 男女共同参画の推進

指標①	「男女共同参画社会」の認知率（％）		対基準値
指標の動き	後期基準値	58.1	(比較不可)
	R02実績	84.1	対前年度
	R03実績	83.5	(比較不可)
	R04実績	83.5	目標達成度
	R05実績	83.5	(---)
	R06実績		
	R06目標値	90.0	

人権啓発課

年度	実績 (%)	目標 (%)
R01	58.1	58.1
R02	84.1	61.5
R03	83.5	66.0
R04	83.5	70.5
R05	83.5	75.0
R06		90.0

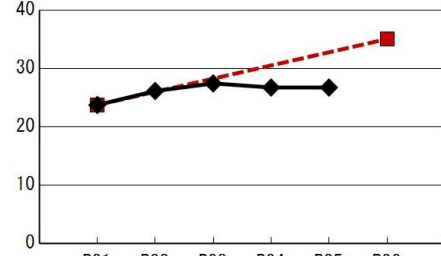


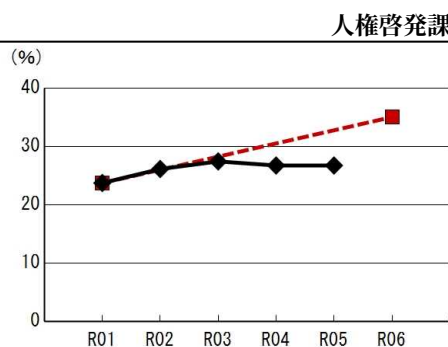
指標値の注釈

特記事項

令和5年度を対象とする市民アンケート未実施により、実績値の取得が不可のため、評価内容は前年度のまちづくり報告書と同様とする。

基本事業03 男女共同参画の推進

指標②	審議会・委員会の女性登用率（％）		人権啓発課		対基準値 ☀ (向上)
	後期基準値	23.7		対前年度 ☁ (横ばい)	
指標の動き	R02実績	26.1		目標達成度 ■■■ (中)	
	R03実績	27.4			
	R04実績	26.7			
	R05実績	26.7			
	R06実績				
	R06目標値	35.0			



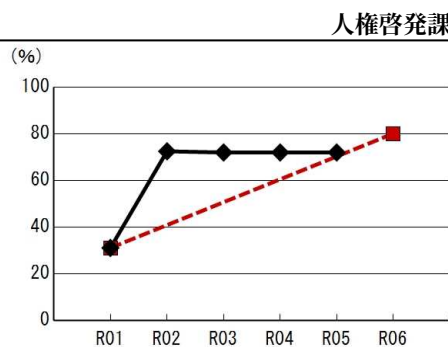
指標値の注釈

特記事項

実績値は前年度と同様値だが、ほぼ横ばい傾向にあるため、引き続き女性登用率の増加を目指し、状況把握と啓発に努める。

基本事業03 男女共同参画の推進

指標③		LGBTの認知率（％）		対基準値	
指標の動き				人権啓発課	
		後期基準値	31.0	(％)	(比較不可)
		R02実績	72.4		対前年度
		R03実績	71.9		(比較不可)
		R04実績	71.9		目標達成度
		R05実績	71.9		(---)
		R06実績			
R06目標値	80.0				



指標値の注釈

特記事項

令和5年度を対象とする市民アンケート未実施により、実績値の取得が不可のため、評価内容は前年度のまちづくり報告書と同様とする。

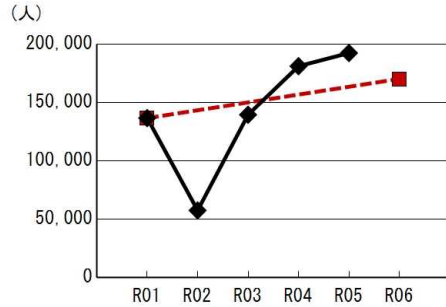
政策 02 ひとづくり

施策 11 スポーツの振興

■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)	意図(どのような状態にしたいのか)
市民、関係団体、スポーツ施設	市民の誰もがいつでも、どこでも、気軽にスポーツを楽しめる環境が整備されています。

指標①	西予市が維持管理するスポーツ施設の利用者数（人）		対基準値	指標値の注釈
	まちづくり推進課		対前年度	
指標の動き	後期基準値	136,433	☀ (向上)	令和5年度については、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行されたことで、制限なくスポーツに携わる機会が増え、利用者が増加した。
	R02実績	57,301	☀ (向上)	
	R03実績	139,298	☀ (向上)	
	R04実績	180,909	☀ (向上)	
	R05実績	192,181	☀ (向上)	
	R06実績		☀ (向上)	
	R06目標値	170,000	🏠 (達成)	



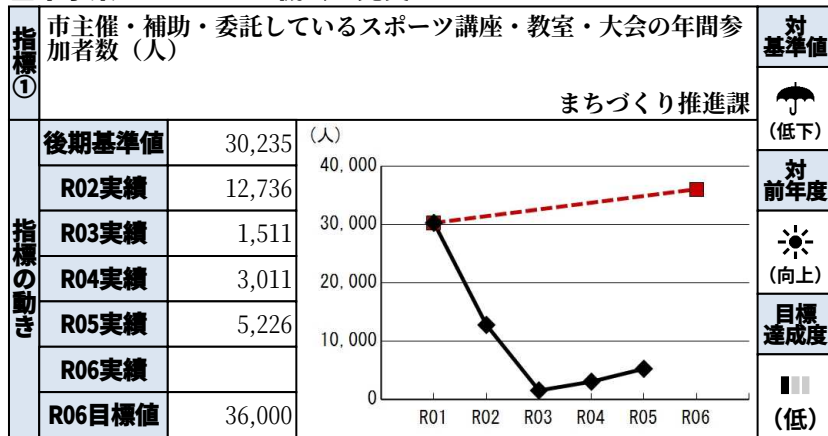
■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 スポーツ推進の基盤整備

指標①	スポーツ関連団体の登録者数（体協、統合型スポーツクラブ等）（人）		まちづくり推進課		対基準値	指標値の注釈
					（低下）	
指標の動き	後期基準値	2,962		 （向上）	対前年度 目標達成度 （低）	特記事項
	R02実績	2,369				
	R03実績	2,043				
	R04実績	2,027				
	R05実績	2,160				
	R06実績					
	R06目標値	3,600				

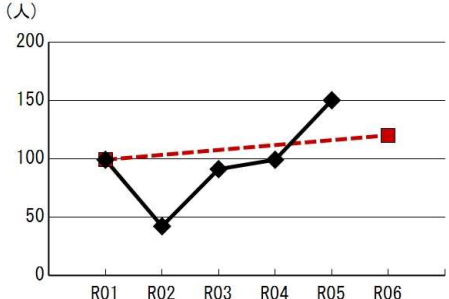
新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、スポーツ団体へ所属し活動する人数が、前年度と比べ133人増となった。

基本事業02 スポーツ機会の充実

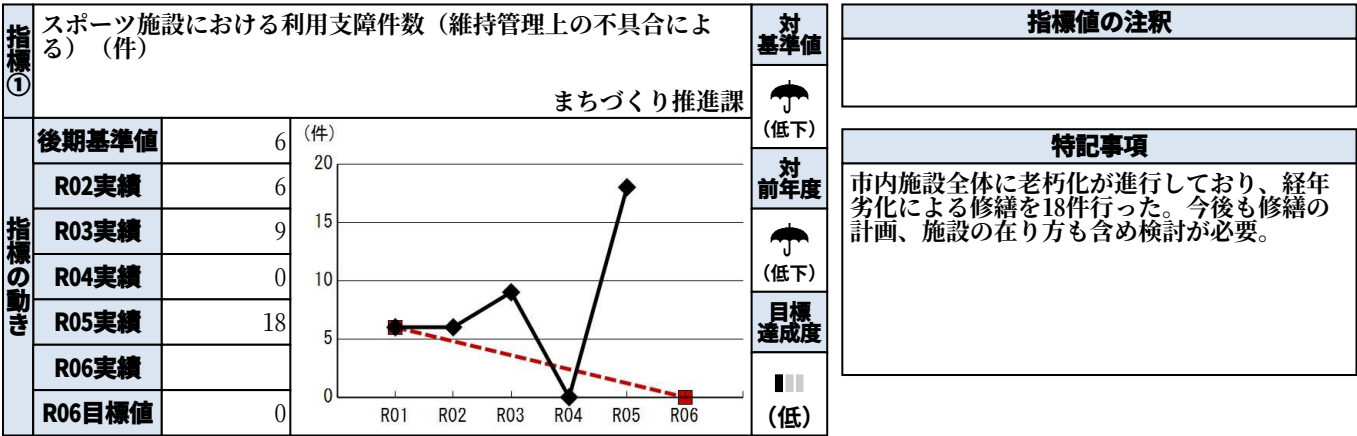


指標値の注釈
特記事項
新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、各種大会が通常通り開催されることで、前年度と比べ2,215名増加となった。しかし、感染症で低迷した各町のイベントが廃止になるなど目標には大きく届かなかった。

基本事業03 競技スポーツの支援

指標①		全国大会出場者数（人）		まちづくり推進課		対基準値		指標値の注釈	
						☀ (向上)			
指標の動き	後期基準値	99				対前年度		特記事項 前年度と比べて、団体競技・個人競技ともに全国大会出場者が増え、前年度比51人の増となった、	
	R02実績	42				☀ (向上)			
	R03実績	91				目標達成度			
	R04実績	99				🏰 (達成)			
	R05実績	150							
	R06実績								
	R06目標値	120							

基本事業04 スポーツ施設の管理と利用促進



政策 02 ひとづくり

施策 12 文化の振興

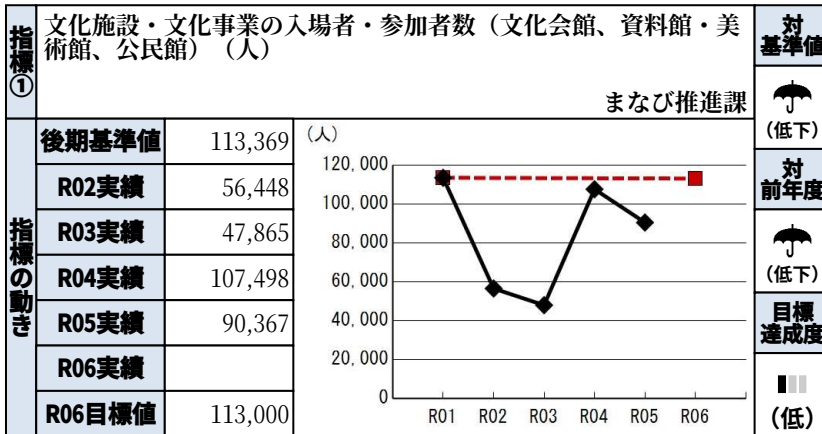
■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)

市民、文化財、文化施設

意図(どのような状態にしたいのか)

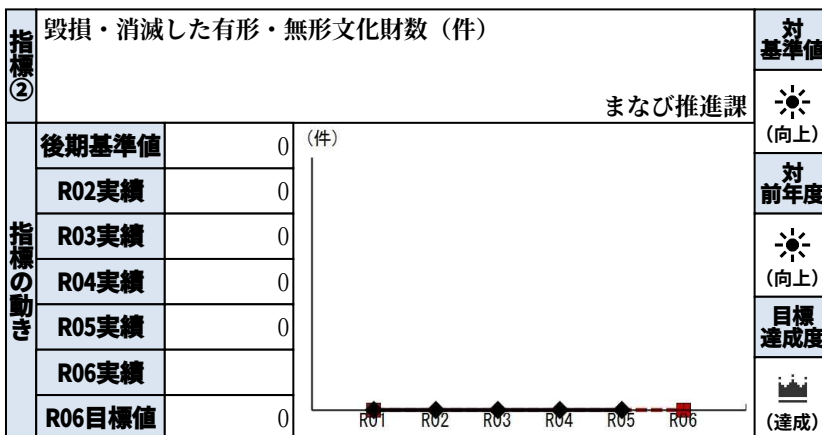
文化・文化財を守り活かす取り組みで、文化を楽しむ人が増え、まちの魅力が増えています。



指標値の注釈

特記事項

新型コロナウイルスの影響が薄まり、文化祭等の参加者数は増加したものの、宇和文化会館の舞台機構設備工事の実施により貸館、自主事業とも大幅な減少となったことが、対前年度比の実績の減少の一因となった。



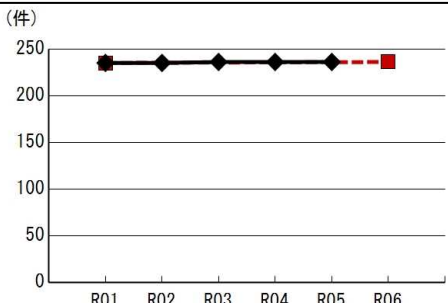
指標値の注釈

特記事項

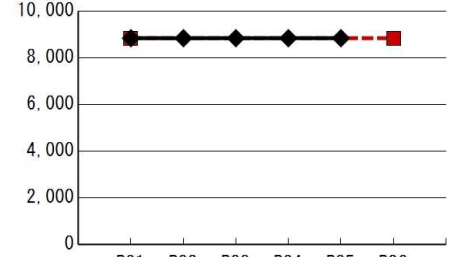
指定文化財や茶堂、文化的景観の重要な構成要素の修理工事が実施され、文化財の保護が図られた。令和2年度から作成に取り組んできた西予市文化財保存活用地域計画については、令和5年12月に国の認定を受けた。

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 文化財の保護

指標①	文化財保護件数（件）		まなび推進課	対基準値	指標値の注釈
				☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	235		対前年度	特記事項 指定文化財の修理、香川大学主催の茅葺講座を活用した茶堂の修理、小森古墳とムカイ山古墳では、確認調査を実施した。文化的景観のサイン整備に向けたワークショップを開催。また、令和5年12月に西予市文化財保存活用地域計画が国の認定を受けた。以上、順調に文化財の保存と活用が図られている。
	R02実績	235		☁ (横ばい)	
	R03実績	236		目標達成度	
	R04実績	236		🏰 (達成)	
	R05実績	236			
	R06実績				
	R06目標値	236			

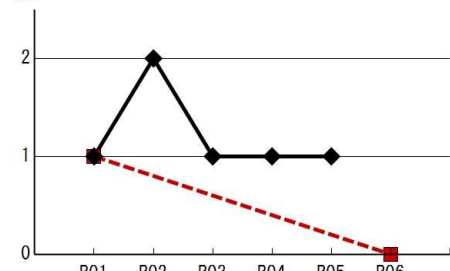
基本事業02 文化施設の適正化と維持管理

指標①	文化施設の延床面積（施設統廃合）（㎡）		まちづくり推進課	対基準値														
	後期基準値	8,830																
指標の動き	R02実績	8,830	 <table border="1"><caption>文化施設の延床面積（施設統廃合）（㎡）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>延床面積（㎡）</th></tr></thead><tbody><tr><td>R01</td><td>8,830</td></tr><tr><td>R02</td><td>8,830</td></tr><tr><td>R03</td><td>8,830</td></tr><tr><td>R04</td><td>8,830</td></tr><tr><td>R05</td><td>8,830</td></tr><tr><td>R06</td><td>8,830</td></tr></tbody></table>	年度	延床面積（㎡）	R01	8,830	R02	8,830	R03	8,830	R04	8,830	R05	8,830	R06	8,830	対前年度
	年度	延床面積（㎡）																
	R01	8,830																
	R02	8,830																
	R03	8,830																
	R04	8,830																
	R05	8,830																
R06	8,830																	
R03実績	8,830																	
R04実績	8,830																	
R05実績	8,830																	
R06実績																		
R06目標値	8,830	目標達成度																
		(---)																

指標値の注釈
指標の増減が成果と言えないため、比較不可。

特記事項
変更なし。

基本事業02 文化施設の適正化と維持管理

指標②	文化施設における利用支障件数（維持管理上の不具合による）（件）		まちづくり推進課		対基準値
					 (横ばい)
指標の動き	後期基準値	1		対前年度	
	R02実績	2		 (横ばい)	
	R03実績	1		目標達成度	
	R04実績	1		■ ■ ■ (低)	
	R05実績	1			
	R06実績				
	R06目標値	0			

指標値の注釈

特記事項
令和4年度から継続していた舞台機構設備改修工事が終了。今後も計画的に改修を進める。

基本事業03 特色ある文化施策の取組み

指標①	西予市に特徴的な文化財などを活かした事業の数（件）		対基準値
	まなび推進課		(横ばい)
指標の動き	後期基準値	4	(件)
	R02実績	4	
	R03実績	4	
	R04実績	4	
	R05実績	4	
	R06実績		
	R06目標値	5	
			対前年度
			(横ばい)
			目標達成度
			III (高)

指標値の注釈

特記事項

文化遺産を活かした地域づくりイベント、重要文化的景観宇和海狩浜の段畑と農漁村景観における整備に向けたワークショップを開催したほか、香川大学茅葺き講座を活用した茶堂修理、卯之町重要伝統的建造物群保存地区における修理事業などに取り組んだことから、目標達成度は「高」と評価する。

政策 03 まちづくり

施策 01 持続的な市域へのデザイン

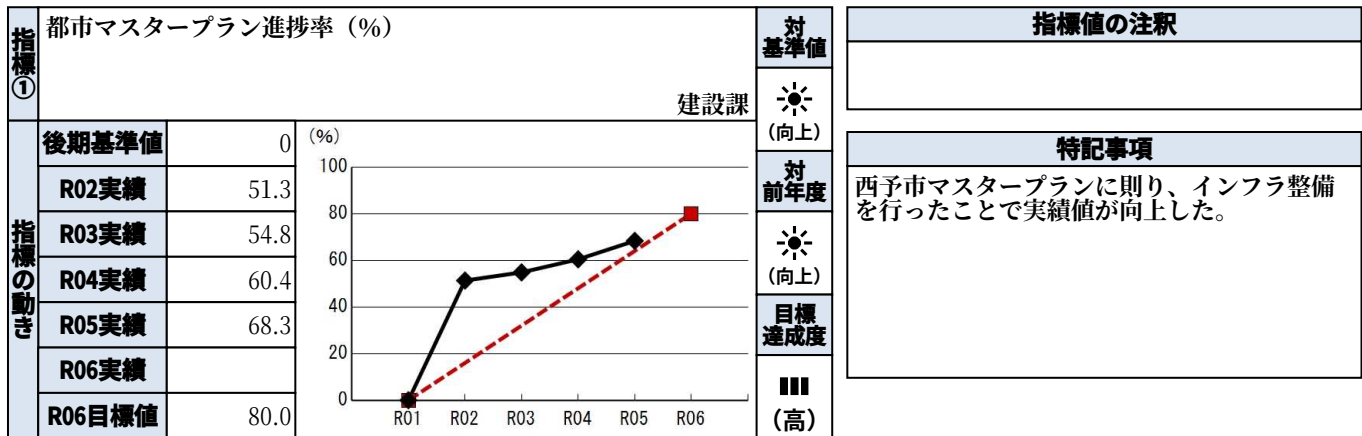
■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)

市民

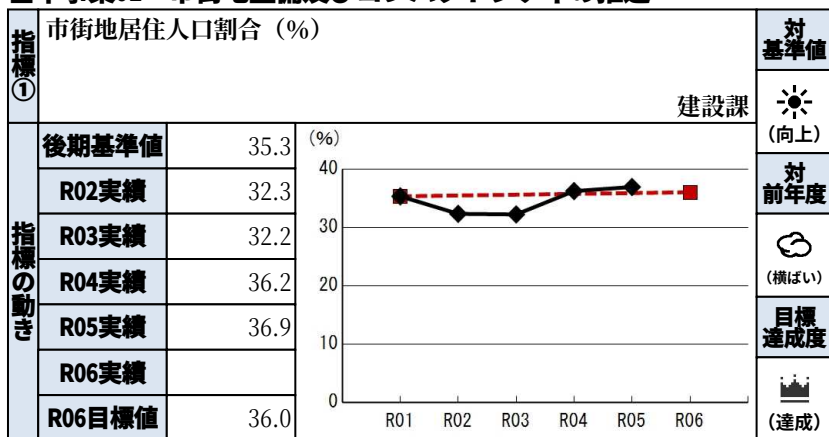
意図(どのような状態にしたいのか)

豊かな風土を育むまち目指し、まちづくりを進めます。



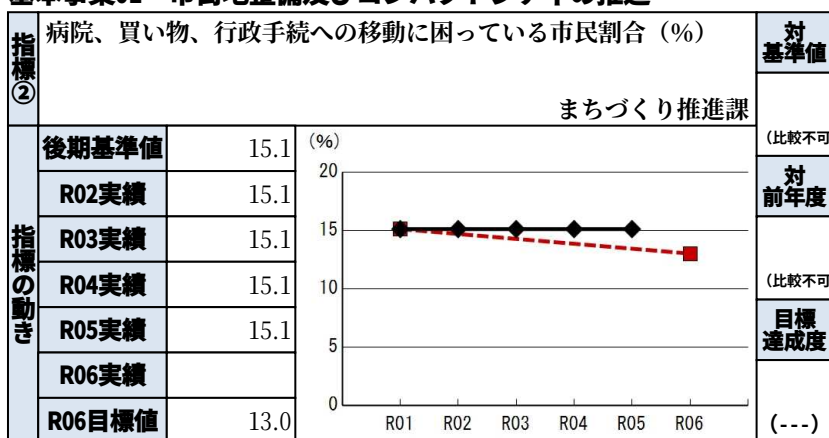
■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 市街地整備及びコンパクトシティの推進



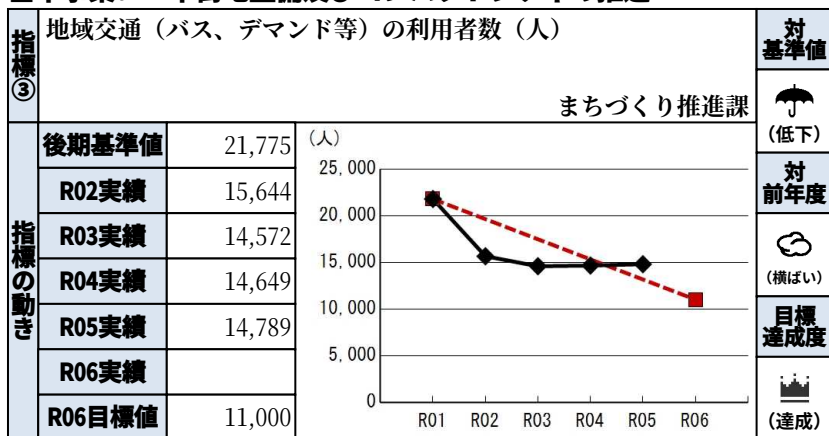
指標値の注釈
特記事項
立地適正化計画を周知することで、居住誘導区域における人口減少率の低減が図られ、実績値が向上し目標値を達成した。

基本事業01 市街地整備及びコンパクトシティの推進



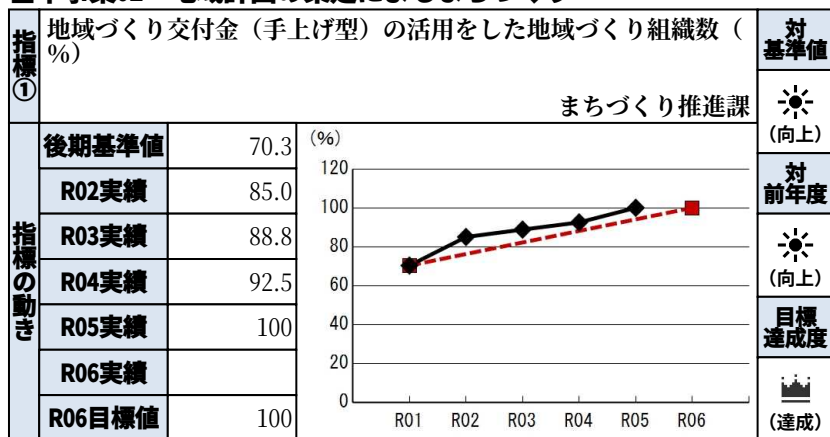
指標値の注釈
実績値の取得は隔年（R2年度、R4年度、R6年度）
特記事項
令和5年度を対象とする市民アンケート未実施により、実績値の取得が不可のため、評価内容は前年度のまちづくり報告書と同様とする。

基本事業01 市街地整備及びコンパクトシティの推進



指標値の注釈
特記事項
令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したものの利用者は前年度と比較して微増に留まっている。

基本事業02 地域計画の策定によるまちづくり

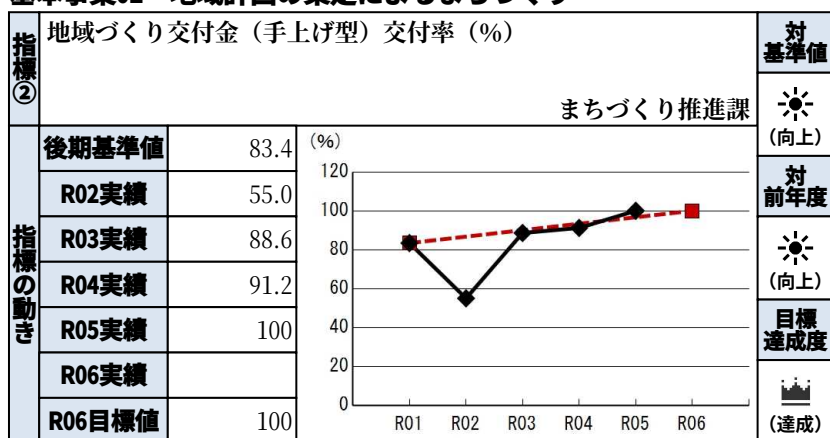


指標値の注釈

特記事項

旧町単位の組織が協力して事業に取り組むことで、これまで実績のなかった地域づくり組織の手上げ型交付金の活用につながった。これによりすべての地域づくり組織が手上げ型交付金事業を活用することができた。

基本事業02 地域計画の策定によるまちづくり

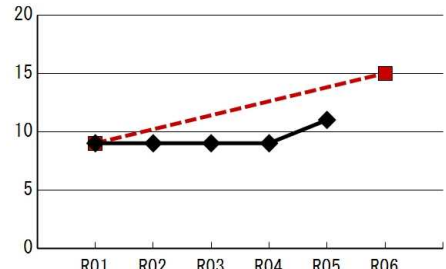


指標値の注釈

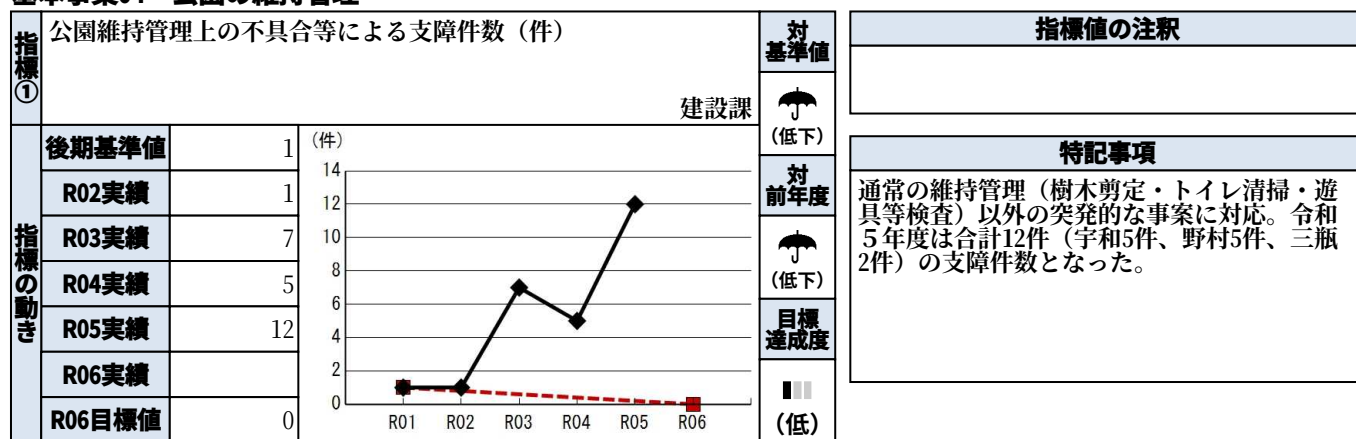
特記事項

旧町単位の組織が協力して事業に取り組むことで、これまで実績のなかった地域づくり組織の手上げ型交付金の活用につながった。これによりすべての地域づくり組織が手上げ型交付金事業を活用することができた。

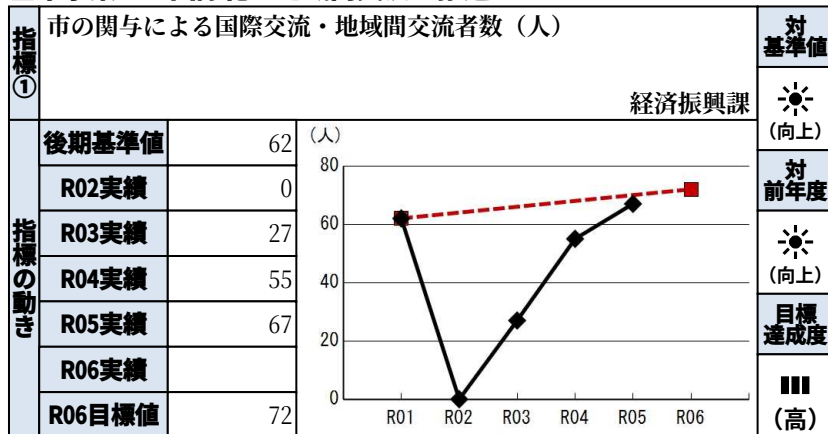
基本事業03 遊休資産の有効活用

指標①	遊休公共施設の利活用件数（件）		財政課	対基準値	指標値の注釈		
				☁ (横ばい)			
指標の動き	後期基準値	9		対前年度	特記事項 令和5年度は、廃校になった小学校1校が地域づくり活動センターとして活用され、1校は、民間へ譲与されたことにより廃校になった学校を有効活用することができた。		
	R02実績	9		☀ (向上)			
	R03実績	9		目標達成度			
	R04実績	9					
	R05実績	11		■ ■ (中)			
	R06実績						
	R06目標値	15					

基本事業04 公園の維持管理



基本事業05 国際化・地域間交流の推進

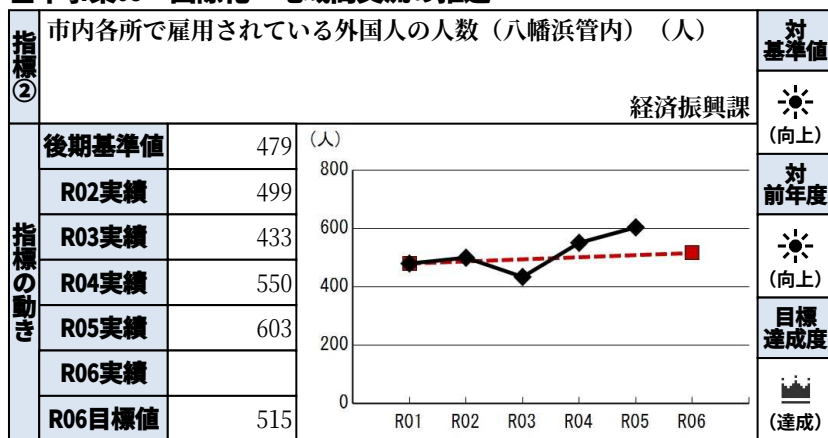


指標値の注釈

特記事項

従来の3か所開催から明浜地区を加えたこと等から日本語教室の参加者が増加した。
※指標は日本語教室の参加人数（実人数）

基本事業05 国際化・地域間交流の推進



指標値の注釈

特記事項

指標は八幡浜管内の外国人雇用者数（令和5年10月末時点）であるが、前年度比で増加しており、県全体でも外国人労働者数は12,476人で平成19年以降で過去最高を更新している。

基本事業06 市内高等学校の魅力化

指標①

市内高校生徒数（人）

まなび推進課

後期基準値	510
R02実績	477
R03実績	448
R04実績	440
R05実績	426
R06実績	
R06目標値	430

対基準値

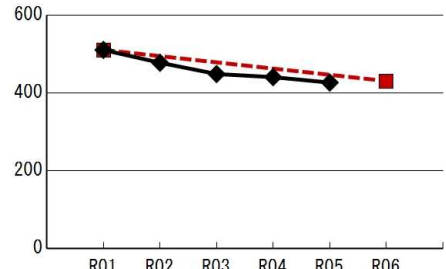
☂
(低下)

対前年度

☂
(低下)

目標達成度

■■■
(高)

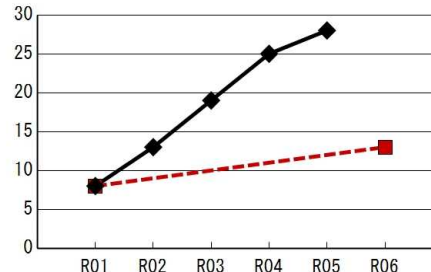


指標値の注釈

特記事項

人口流出及び少子化により市内中学生の生徒数は減少傾向にあり、地元高校への入学者数にも影響を与えている状況にある。令和2年度より公営塾（三瓶、野村）を運営し、魅力化への取り組みとしているが、高校自体の取り組みの魅力化と行政との連携は不可欠なものとなってきている。

基本事業07 大学連携の推進

指標①	大学と連携して実施した事務事業（件）		政策推進課	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	8		(件)	
指標の動き	R02実績	13		対前年度	特記事項 愛媛大学、大阪大学、東北学院大学、福山市立大学などと事業を行ったことで、実績値の向上が図られた。様々な分野で連携して事業を推進しており、実績値は順調に増加している。 ※実績値の誤りにより以下のとおり修正 R3実績値31→19 R4実績値35→25
	R03実績	19			
	R04実績	25			
	R05実績	28			
	R06実績				
	R06目標値	13			
				目標達成度	
				(達成)	

指標値の注釈

特記事項

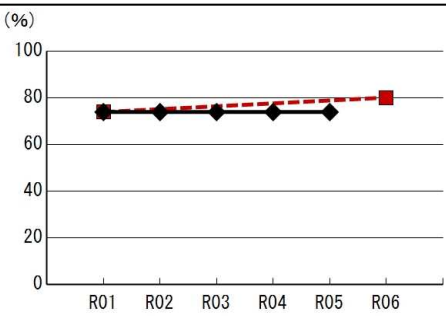
愛媛大学、大阪大学、東北学院大学、福山市立大学などと事業を行ったことで、実績値の向上が図られた。様々な分野で連携して事業を推進しており、実績値は順調に増加している。
 ※実績値の誤りにより以下のとおり修正
 R3実績値31→19 R4実績値35→25

政策 03 まちづくり

施策 02 市民協働の推進

■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)	意図(どのような状態にしたいのか)
市民、地域住民	地域が抱える様々な課題について、地域住民が自発的かつ主体的に課題解決に取り組んでいます。

指標①	自助共助の意識が維持若しくは、向上していると感じる市民割合 (%)		対基準値		指標値の注釈	
			(比較不可)			
指標の動き	後期基準値		73.8		対前年度	特記事項 令和5年度を対象とする市民アンケート未実施により、実績値の取得が不可のため、評価内容は前年度のまちづくり報告書と同様とする。
	R02実績		73.8		(比較不可)	
	R03実績		73.8			
	R04実績		73.8			
	R05実績		73.8			
	R06実績					
	R06目標値		80.0		目標達成度	
			(---)			

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 コミュニティ施設の管理・再編

指標①

コミュニティ施設（集会所）の大規模改修、新設件数（件）

まちづくり推進課

後期基準値

1

(件)

R02実績

0

R03実績

1

R04実績

0

R05実績

0

R06実績

R06目標値

21

年度	基準値	実績値
R01	1	1
R02	0	0
R03	1	1
R04	0	0
R05	0	0
R06	21	21

対基準値

(比較不可)

対前年度

(比較不可)

目標達成度

(---)

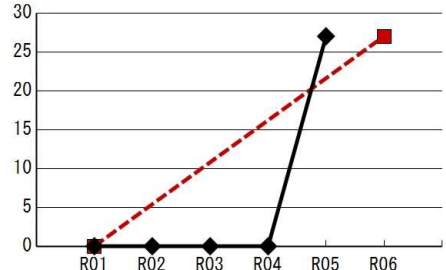
指標値の注釈

指標の増減が成果と言えないため、比較不可。

特記事項

令和5年度においても、コミュニティ施設（集会所）の大規模改修や新設案件が無かった。

基本事業02 支所・公民館機能の再編

指標①	地域づくり活動センターへの移行件数（件）		まちづくり推進課		対基準値	指標値の注釈
					☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	0			対前年度	特記事項 令和5年4月にすべての公民館が地域づくり活動センターへ移行することができた。
	R02実績	0			☀ (向上)	
	R03実績	0			☀ (向上)	
	R04実績	0			☀ (向上)	
	R05実績	27			目標達成度	
	R06実績				🏠 (達成)	
	R06目標値	27				

基本事業03 地域主導の地域づくり

指標①

自治会加入率 (%)

指標の動き

後期基準値	99
R02実績	90
R03実績	90
R04実績	90
R05実績	86.8
R06実績	
R06目標値	100

まちづくり推進課

年度	値 (%)
R01	100
R02	90
R03	90
R04	90
R05	86.8
R06	100

対基準値

☂
(低下)

対前年度

☁
(横ばい)

目標達成度

■■■
(低)

指標値の注釈

特記事項

基準値：算定根拠不明
R02実績値：自治会加入世帯調査
R03実績値以降：世帯数における広報配布率
($\frac{\text{広報配布数} - \text{直送} \cdot \text{施設配布数}}{\text{世帯数}}$)
今後も、地域づくり活動を推進することで、
魅力的な自治活動へと発展させ、自治会加入率の更なる向上を図る。

基本事業04 市民活動の活性化

指標①

NPO法人団体数（団体）

指標の動き

後期基準値	8
R02実績	8
R03実績	8
R04実績	9
R05実績	9
R06実績	
R06目標値	8

まちづくり推進課

(団体)

対基準値

☁
(横ばい)

対前年度

☁
(横ばい)

目標達成度

🏰
(達成)

指標値の注釈

特記事項

近年、市民の協働による活動の法人化は特定地域づくり事業協同組合制度や労働者協同組合法が整備されるなど多様化しており、NPO法人の申請件数は横ばいの状態である。

政策 03 まちづくり

施策 03 防災・減災対策の推進

■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)	意図(どのような状態にしたいのか)
市民	市民が高い危機意識を持ち、安心・安全な生活を送っています。

指標①	市民レベルでの防災・減災体制ができていると思う市民の割合（％）		危機管理課		指標値の注釈	
	後期基準値			対基準値	実績値の取得は隔年（R4年度、R6年度）	
指標の動き	R02実績			対前年度	特記事項 令和5年度を対象とする市民アンケート未実施により、実績値の取得が不可のため、評価内容は前年度のまちづくり報告書と同様とする。	
	R03実績			(比較不可)		
	R04実績			(比較不可)		
	R05実績			目標達成度		
	R06実績					
	R06目標値	60.0		(---)		

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域防災力の強化

指標①	地域での防災訓練及び講習会参加者数（人）		危機管理課	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	5,362		☂ (低下)	
指標の動き	R02実績	2,775		対前年度	特記事項 県内持ち回りで開催される大型訓練があった令和4年度と比較して実績値は下がっているが、それ以外の参加者数は増加傾向である。夜間津波避難訓練をはじめて実施するなど、新たな訓練形態にも取り組んでいる。
	R03実績	1,176		☂ (低下)	
	R04実績	6,265		目標達成度	
	R05実績	2,424			
	R06実績				
	R06目標値	12,000		■ (中)	

基本事業01 地域防災力の強化

指標②	自主防災組織の訓練実施率（％）		危機管理課	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	55.2		(横ばい)	
指標の動き	R02実績	28.4		対前年度	特記事項 県事業（夜間津波避難対策補助金）を活用し、夜間津波避難訓練を実施する自主防災組織があったこと等により、実績値は増加した。 引き続き、同事業による訓練実施に努めていくほか、訓練未実施組織に対し継続的に啓発を行う。
	R03実績	22.4		(向上)	
	R04実績	35.8		目標達成度	
	R05実績	41.2			
	R06実績				
	R06目標値	100		(低)	

基本事業01 地域防災力の強化

指標③	土砂崩れ等の危険地区での対策箇所数（箇所）		建設課	対基準値	指標値の注釈	
	後期基準値	426		対前年度	特記事項 対象事業である、県営急傾斜崩壊防災対策事業（4392：6箇所）・がけ崩れ防災対策事業（4618：4箇所）の工事が完了したため、実績値が向上した。	
指標の動き	R02実績	439	（向上）			
	R03実績	441	（横ばい）			
	R04実績	467	目標達成度			
	R05実績	477	（達成）			
	R06実績					
	R06目標値	435				

（箇所）

年度	実績値	目標値
R01	426	426
R02	439	426
R03	441	426
R04	467	426
R05	477	426
R06	435	435

基本事業02 防災情報システムの整備

指標①

指標の動き

防災行政無線戸別受信機の設置率（％）

危機管理課

後期基準値	76.2
R02実績	75.9
R03実績	76.6
R04実績	76.6
R05実績	76.4
R06実績	
R06目標値	100

(%)

年度	設置率 (%)
R01	76.2
R02	75.9
R03	76.6
R04	76.6
R05	76.4
R06	100.0

対基準値

(横ばい)

対前年度

(横ばい)

目標達成度

(低)

指標値の注釈

特記事項

令和3年度に防災行政無線デジタル化が完了したことに伴い戸別受信機の新規設置は継続しているが、設置者の死去や転居等により実績値は横ばいとなった。施設入居者や屋外子局(スピーカー)近くにお住いの市民は、戸別受信機不要という方もおられるため、今後も指標値は横ばいであると推測する。

基本事業03 空き家の安全管理

指標①	特定空き家件数（件）		建設課	対基準値	指標値の注釈
					指標の増減が成果と言えないため、比較不可。
指標の動き	後期基準値	0		対前年度	特記事項
	R02実績	1			
	R03実績	6			
	R04実績	0		(比較不可)	
	R05実績	2		目標達成度	
	R06実績				
	R06目標値	2		(---)	

政策 03 まちづくり

施策 04 交通安全・防犯対策の推進

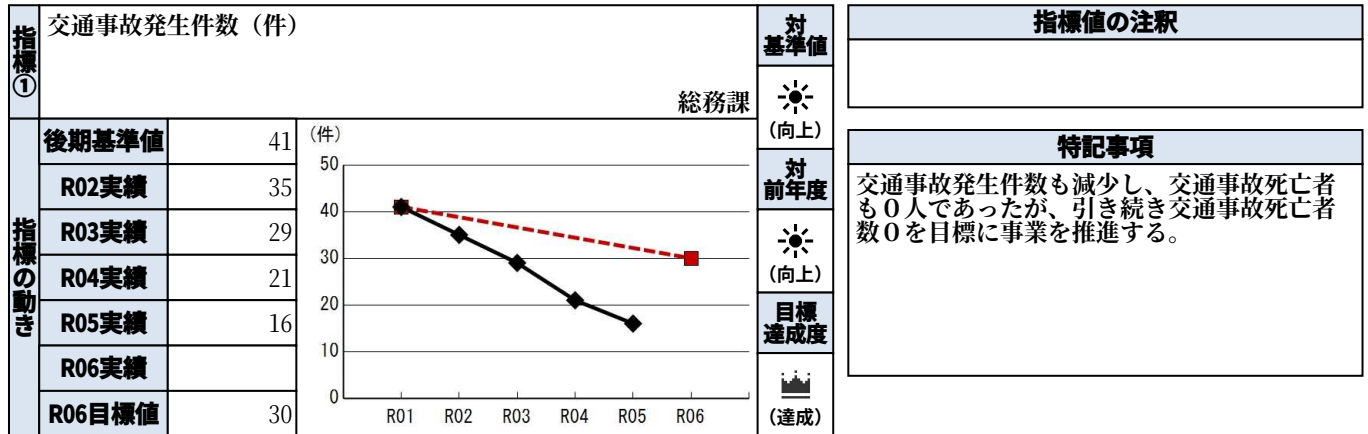
■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)

市民、交通安全設備、防犯設備

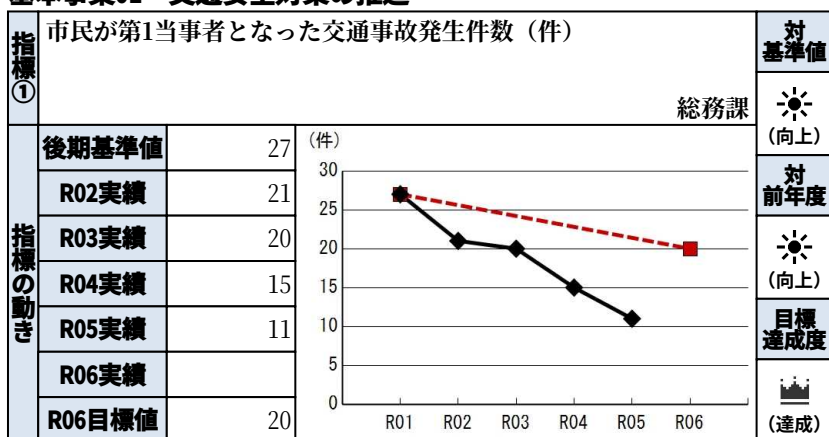
意図(どのような状態にしたいのか)

交通安全意識や防犯意識が高く、交通事故や犯罪被害が少ない暮らしやすいまちになっています。



■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 交通安全対策の推進

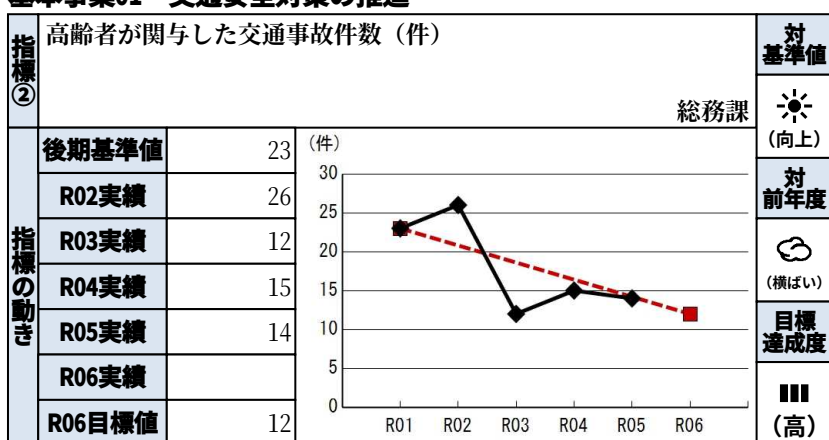


指標値の注釈

特記事項

市民が第1当事者となった交通事故発生件数は昨年度より4件減少し、交通事故死亡者数も0であった。今後も、継続して交通事故死亡者数0を目標に事業を推進する。

基本事業01 交通安全対策の推進

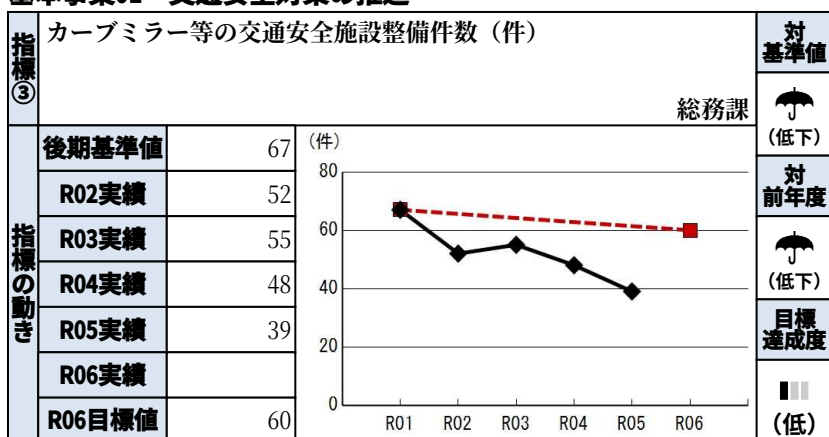


指標値の注釈

特記事項

交通事故件数16件のうち高齢者が関与した交通事故は14件となった。交通事故発生件数は減少しているが、高齢者が関与する事故件数は横ばいであることから、継続して対策を講じていく。

基本事業01 交通安全対策の推進

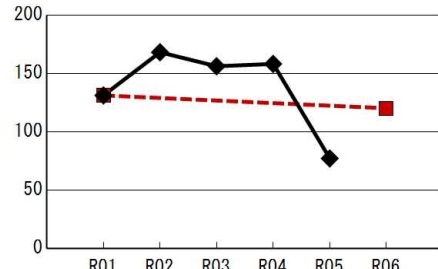


指標値の注釈

特記事項

予算の範囲内で対応しており、予算減少及び原材料高騰による単価の上昇により、実績値が低下。交通安全対策の一環として、新設や経年劣化等による取替など、継続して事業を推進する。

基本事業02 防犯対策の推進

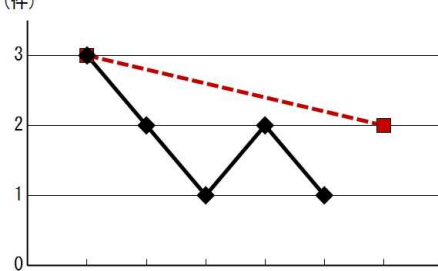
指標①	防犯灯等の防犯施設の設置・整備件数（件）		総務課	対基準値
				（低下）
指標の動き	後期基準値	131		対前年度
	R02実績	168		（低下）
	R03実績	156		目標達成度
	R04実績	158		（低下）
	R05実績	77		
	R06実績			
	R06目標値	120		

指標値の注釈

特記事項

新設 23灯
LED灯への交換 54灯
予算減額により、昨年度より実績数が大幅に減少した。防犯対策と防犯灯の長寿命化のため、今後もLED灯の新設、LED灯への交換を継続して行っていく。特に後者については、来年度以降の5年間にかけて重点的に推進していく。

基本事業02 防犯対策の推進

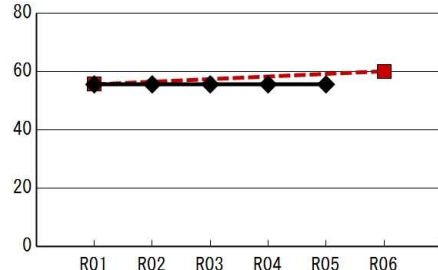
防犯カメラ等の防犯施設の設置・整備件数（件）		総務課		対基準値
指標②				（低下）
指標の動き	後期基準値	3		対前年度
	R02実績	2		（低下）
	R03実績	1		目標達成度
	R04実績	2		（低）
	R05実績	1		
	R06実績			
	R06目標値	2		

指標値の注釈

特記事項

新設 1 基（市内20か所に設置）
「犯罪の起きにくい街づくり基金」への賛同を関係団体へ働き掛け、令和 5 年度は 4 団体からの協力により設置。今後も、安心して暮らせるエリア拡充のため、新設のほか既存の防犯カメラの維持管理を継続して実施する。

基本事業03 被害にあわない・被害を軽減する取組みの推進

指標①	消費者トラブルに対する対策を知っている市民割合（％）		経済振興課		対基準値
					(比較不可)
指標の動き	後期基準値	55.5			対前年度
	R02実績	55.5			(比較不可)
	R03実績	55.5			目標達成度
	R04実績	55.5			(---)
	R05実績	55.5			
	R06実績				
	R06目標値	60.0			

指標値の注釈

特記事項

令和5年度を対象とする市民アンケート未実施により、実績値の取得が不可のため、評価内容は前年度のまちづくり報告書と同様とする。

政策 03 まちづくり

施策 05 道路・橋梁整備と維持管理

■施策の目的と成果状況

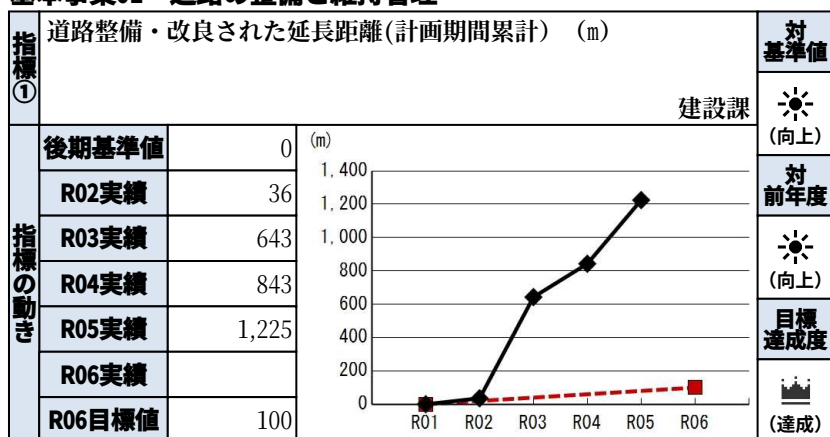
対象(誰、何を対象としているか)	意図(どのような状態にしたいのか)
市民	インフラの維持管理を通して地域住民が安心安全な生活を送っています。

指標①	幹線道路に満足している市民の割合 (%)		建設課	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	70.0	(%)	(比較不可)	
指標の動き	R02実績	70.0		対前年度	特記事項 令和5年度を対象とする市民アンケート未実施により、実績値の取得が不可のため、評価内容は前年度のまちづくり報告書と同様とする。幹線道路の整備が若干遅れているが、市民の満足度が低下している状況ではない。
	R03実績	70.0		(比較不可)	
	R04実績	70.0		目標達成度	
	R05実績	70.0		(---)	
	R06実績				
	R06目標値	72.0			

指標②	生活道路に満足している市民の割合 (%)		建設課	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	63.3	(%)	(比較不可)	
指標の動き	R02実績	63.3		対前年度	特記事項 令和5年度を対象とする市民アンケート未実施により、実績値の取得が不可のため、評価内容は前年度のまちづくり報告書と同様とする。生活道路の整備が若干遅れているが、市民の満足度が低下している状況ではない。
	R03実績	63.3		(比較不可)	
	R04実績	63.3		目標達成度	
	R05実績	63.3		(---)	
	R06実績				
	R06目標値	65.0			

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 道路の整備と維持管理

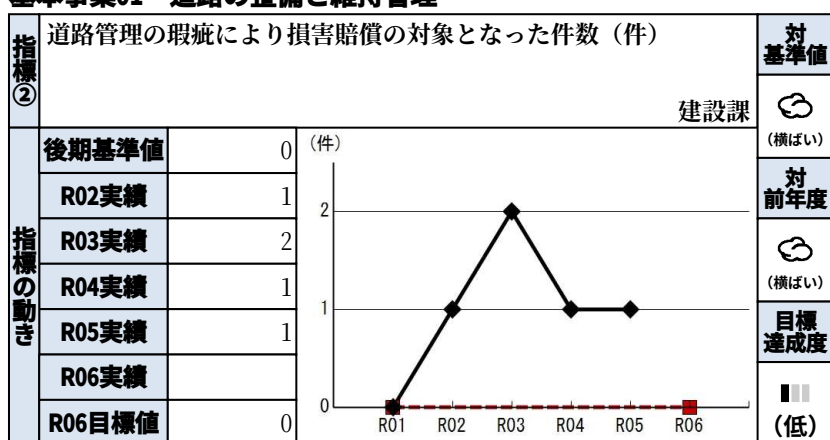


指標値の注釈

特記事項

西予市全域において、道路改良工事が6路線、舗装工事が3路線の事業進捗が図られ、住民の道路交通の改善及び利便性が向上した。

基本事業01 道路の整備と維持管理

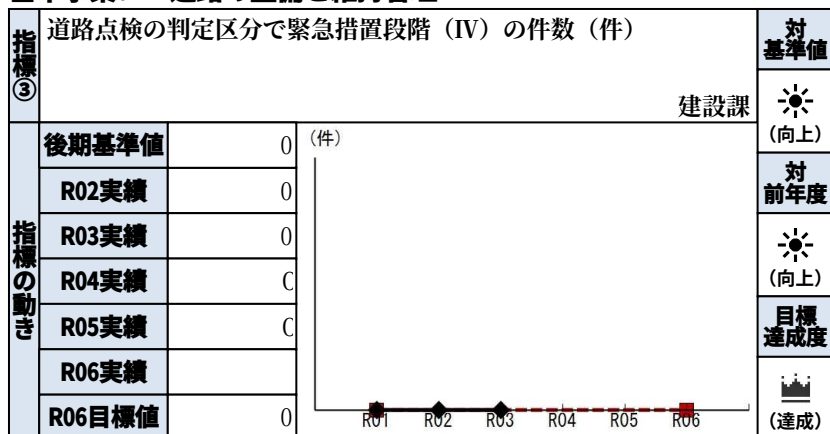


指標値の注釈

特記事項

道路管理の瑕疵により、損害賠償の対象となった案件が1件発生した。安全が前提である道路の維持管理において事故が発生したため、道路管理としての目標達成度は「低」とする。

基本事業01 道路の整備と維持管理

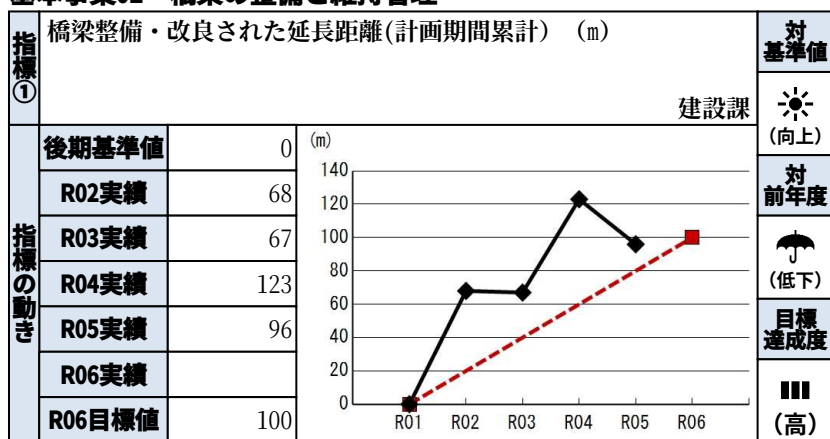


指標値の注釈

特記事項

グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

基本事業02 橋梁の整備と維持管理

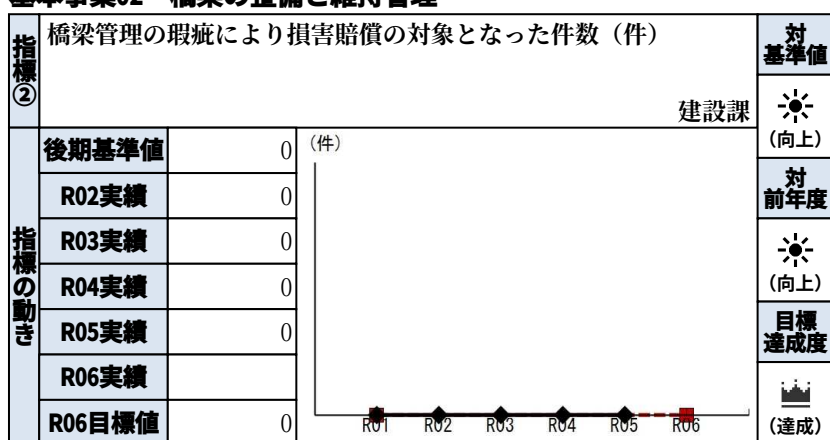


指標値の注釈

特記事項

5橋96mの補修が完了し、事業進捗が図られ、利便性が向上した。

基本事業02 橋梁の整備と維持管理

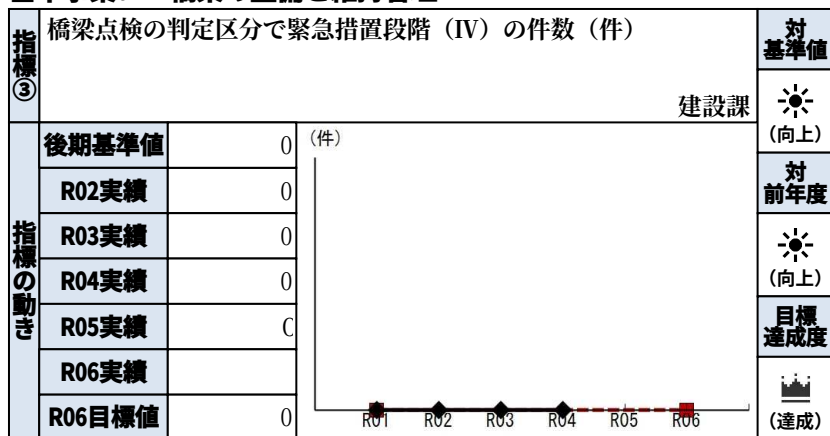


指標値の注釈

特記事項

グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする

基本事業02 橋梁の整備と維持管理



指標値の注釈

特記事項

グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする

政策 03 まちづくり

施策 06 水道水の安定供給

■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)

市民

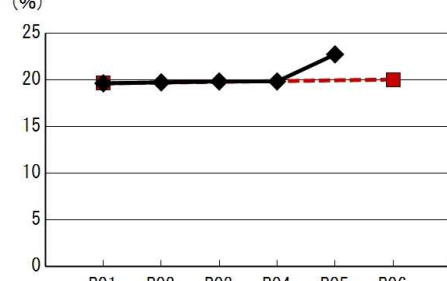
意図(どのような状態にしたいのか)

持続的に安定した水道水を供給します。

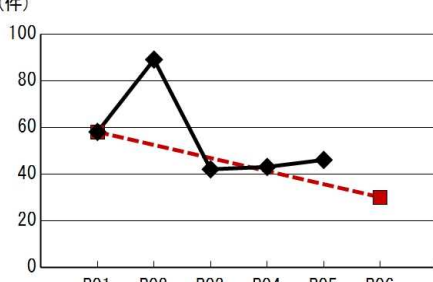
指標①	水道水が常に安心・安全に使えると思う市民の割合（％）		対基準値		指標値の注釈															
指標の動き			上下水道課																	
	後期基準値	91.2	(％) <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値（％）</th></tr></thead><tbody><tr><td>R01</td><td>91.2</td></tr><tr><td>R02</td><td>91.2</td></tr><tr><td>R03</td><td>91.2</td></tr><tr><td>R04</td><td>91.2</td></tr><tr><td>R05</td><td>91.2</td></tr><tr><td>R06</td><td>94.0</td></tr></tbody></table>	年度	実績値（％）	R01	91.2	R02	91.2	R03	91.2	R04	91.2	R05	91.2	R06	94.0	（比較不可）		
	年度	実績値（％）																		
	R01	91.2																		
	R02	91.2																		
	R03	91.2																		
	R04	91.2																		
R05	91.2																			
R06	94.0																			
R02実績	91.2	対前年度																		
R03実績	91.2																			
R04実績	91.2	（比較不可）																		
R05実績	91.2	目標達成度																		
R06実績																				
R06目標値	94.0		（---）																	
					特記事項															
					令和5年度を対象とする市民アンケート未実施により、実績値の取得が不可のため、評価内容は前年度のまちづくり報告書と同様とする。															

基本事業の成果状況と評価

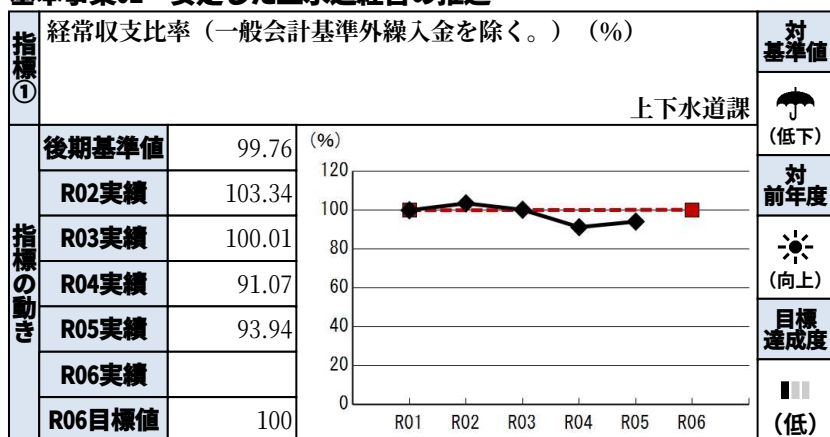
基本事業01 水道施設の整備・更新

指標①		管路の耐震化率（％）		上下水道課		対基準値	指標値の注釈
指標の動き	後期基準値	19.6		対前年度	対基準値		
	R02実績	19.7			対前年度		
	R03実績	19.8			対前年度		
	R04実績	19.8			対前年度		
	R05実績	22.7			対前年度		
	R06実績				対前年度		
	R06目標値	20.0			対前年度		

基本事業01 水道施設の整備・更新

指標②	浄水場の施設維持管理上の不具合件数（件）		上下水道課	対基準値	指標値の注釈
				対前年度	
指標の動き	後期基準値	58		対前年度	特記事項 前年度より数値が悪化しており、目標達成には至っていない。順次経年劣化した機器の更新を図っていく必要がある。
	R02実績	89		対前年度	
	R03実績	42		対前年度	
	R04実績	43		対前年度	
	R05実績	46		対前年度	
	R06実績			対前年度	
	R06目標値	30		対前年度	

基本事業02 安定した上水道経営の推進

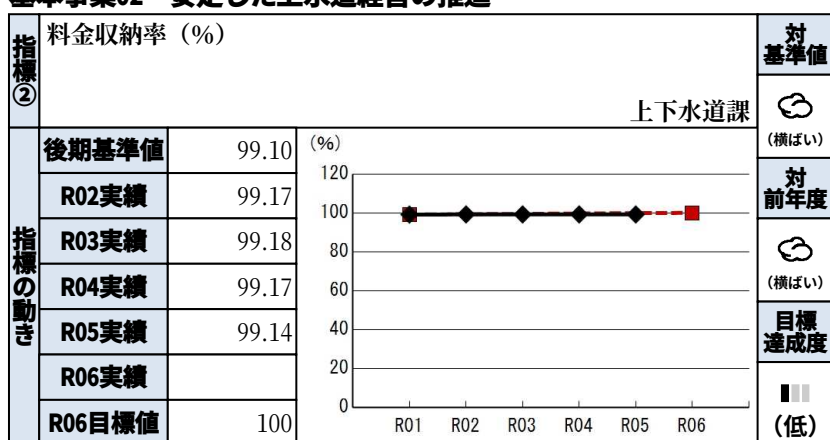


指標値の注釈

特記事項

給水人口の減少と節水型生活環境への移行により、給水収益等が減少したことで経常収益が減少した。一方で、経常費用についても動力費及び委託料等が大幅に減少したことにより、経常収支比率については前年度から2.87ポイント改善されたが、健全経営の水準とされる100%を大幅に下回った。

基本事業02 安定した上水道経営の推進

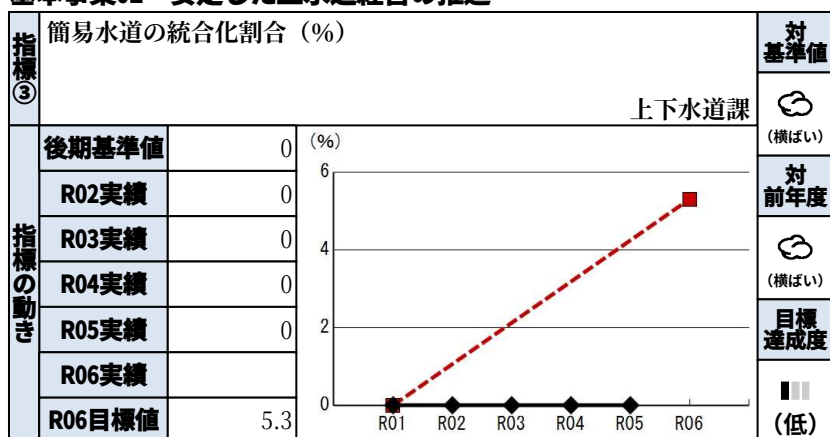


指標値の注釈

特記事項

調定額599,371,167円に対して収納額は594,188,892円であり収納率99.14%と前年度に対して0.03ポイント低下したため、目標達成に向けて収納額を増加させる必要がある。

基本事業02 安定した上水道経営の推進



指標値の注釈

特記事項

平成26年度に上水道事業と一部の簡易水道事業について経営統合したが、簡易水道施設の多くが広範囲に点在し、また、老朽化による改修等の負担を懸念している一方で、高齢化と人口減少により施設の維持管理が困難になっていることから上水道への統合を目指す。

基本事業03 水質の保全

指標①	水道水の水質検査において、基準値を上回った件数（％）		対基準値
	上下水道課		☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	0	対前年度
	R02実績	0	☀ (向上)
	R03実績	0	目標達成度
	R04実績	0	☀ (達成)
	R05実績	0	
	R06実績		
	R06目標値	0	

(％)

R01 R02 R03 R04 R05 R06

指標値の注釈

特記事項

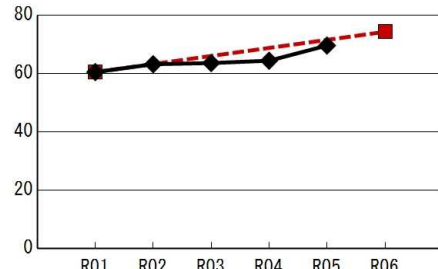
グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

政策 03 まちづくり

施策 07 汚水処理の推進

■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)	意図(どのような状態にしたいのか)
市民	快適で衛生的な生活環境の確保と、本市の恵まれた水資源を後世に引き継ぐため、公共用水域の水質保全・向上を図ります。

汚水処理人口普及率（％）		上下水道課		対基準値	指標値の注釈
指標① 指標の動き	後期基準値	60.4		☀ (向上)	特記事項 合併処理浄化槽の設置数増加などにより、汚水処理人口普及率が上昇した。 ※合併浄化槽設置数の計上基となるデータを見直したため対前年比・対基準値は比較不可。
	R02実績	63.1		対前年度	
	R03実績	63.5		(比較不可)	
	R04実績	64.3		目標達成度	
	R05実績	69.5		■■ (中)	
	R06実績				
	R06目標値	74.2			

■基本事業の成果状況と評価

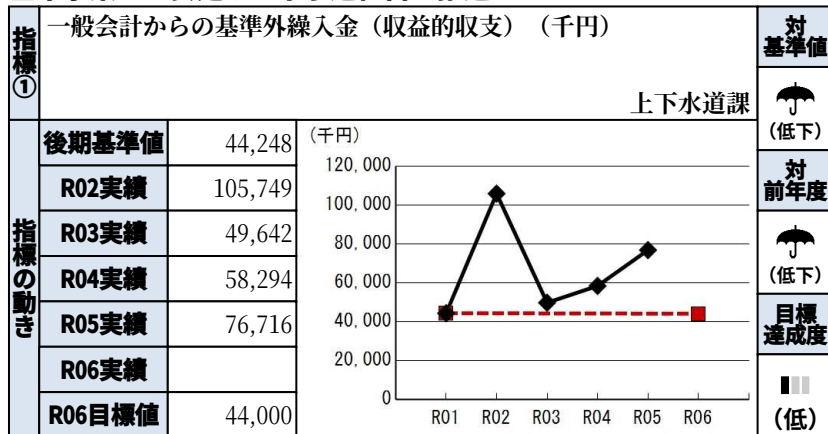
基本事業01 汚水処理施設・管渠の維持管理

指標①	汚水処理施設・管渠の維持管理上のトラブル件数（件）		上下水道課	対基準値	指標値の注釈
				(低下)	
指標の動き	後期基準値	108		対前年度	特記事項 機器類の定期的な点検を行い、必要な修繕を計画的に実施している。
	R02実績	138		(向上)	
	R03実績	120		目標達成度	
	R04実績	132		(低)	
	R05実績	122			
	R06実績				
	R06目標値	100			

基本事業01 汚水処理施設・管渠の維持管理

処理後の水質が計画放流水質基準を超えた日数（日）		上下水道課		対基準値	指標値の注釈
指標の動き	後期基準値	13		☀ (向上)	特記事項 機器の不具合は無かったものの、大雨による不明水流入の影響により、基準を超えた日があった。
	R02実績	23		対前年度	
	R03実績	3		☁ (横ばい)	
	R04実績	4		目標達成度	
	R05実績	3		■■■ (高)	
	R06実績				
	R06目標値	0			

基本事業02 安定した下水道経営の推進

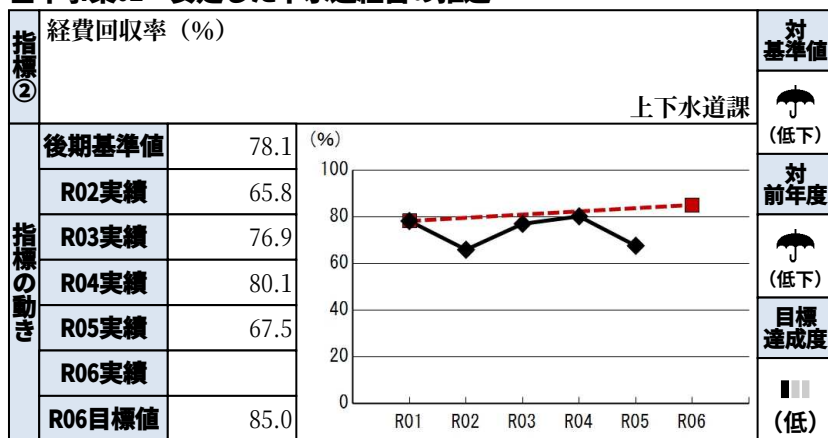


指標値の注釈

特記事項

令和5年度は農業集落排水事業法適用の初年度であったことなどから、一般会計からの基準外繰入金（収益的収支）が対前年比18,422千円増加した。

基本事業02 安定した下水道経営の推進

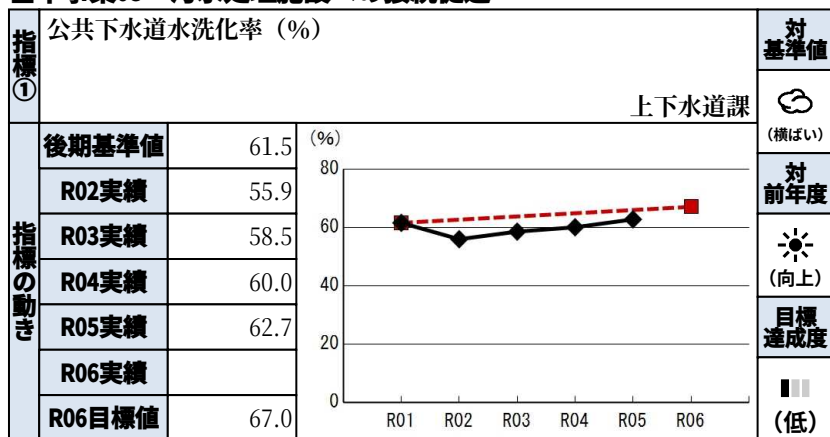


指標値の注釈

特記事項

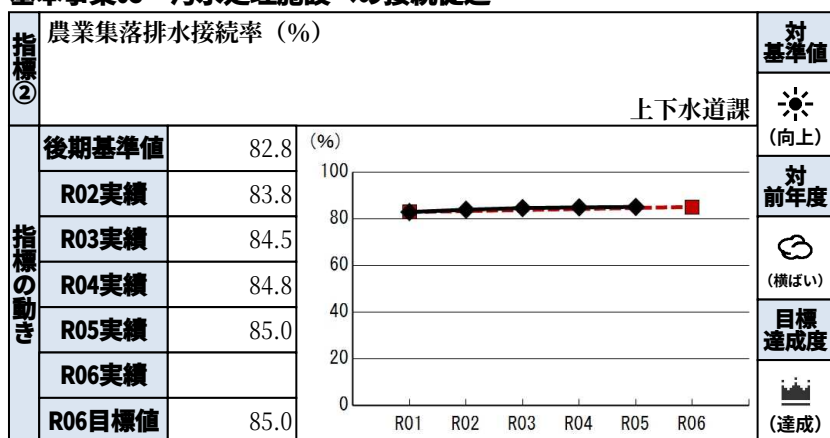
修繕費の増加により汚水処理費が増加したことから、経費回収率は12.6ポイント低下した。

基本事業03 汚水処理施設への接続促進



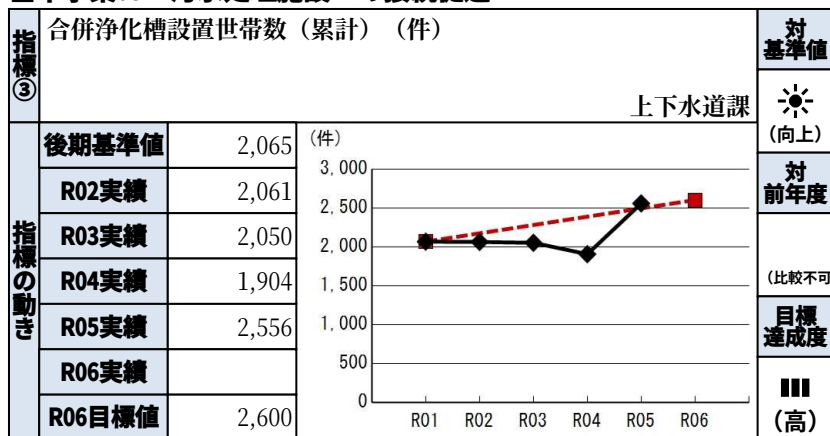
指標値の注釈
特記事項
宇和処理区における整備済み区域において接続件数が増加したことにより、2.7ポイント増加した。

基本事業03 汚水処理施設への接続促進



指標値の注釈
特記事項
処理区域内における賃貸住宅等の増加により、農業集落排水の接続需要はあるものの、賃貸住宅等が増加している区域の処理場においては処理能力の限界もあり、接続率は横ばいとなった。今後、農業集落排水施設の一部を段階的に公共下水の統合する予定。

基本事業03 汚水処理施設への接続促進



指標値の注釈
計画期間累計ではなく、単年度集計とする。
特記事項
公共下水道及び農業集落排水区域外の新築や汲み取りからの転換に伴う合併浄化槽の設置により設置数が増加した。 ※設置数の計上基となるデータを見直したため、対前年比は比較不可。

政策 03 まちづくり

施策 08 自然環境・生活環境の保全

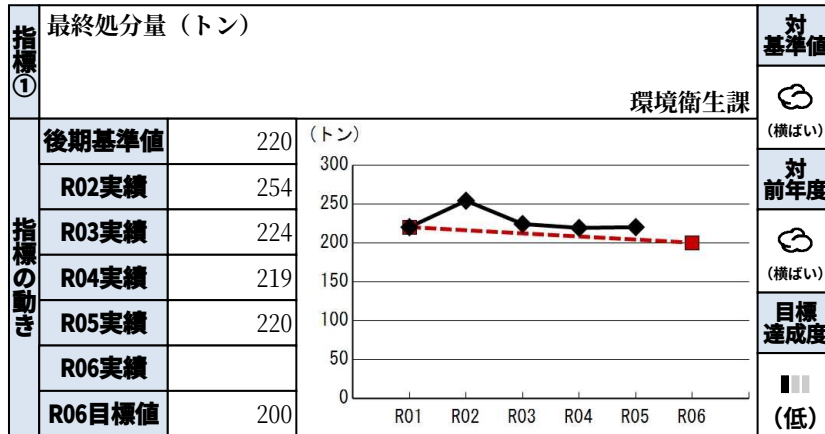
■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)

市民

意図(どのような状態にしたいのか)

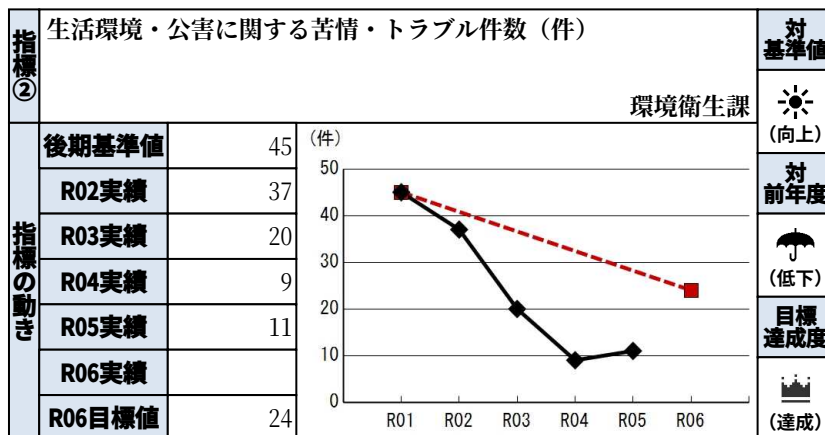
豊かな自然環境の中で、快適な日常生活を送っています。



指標値の注釈

特記事項

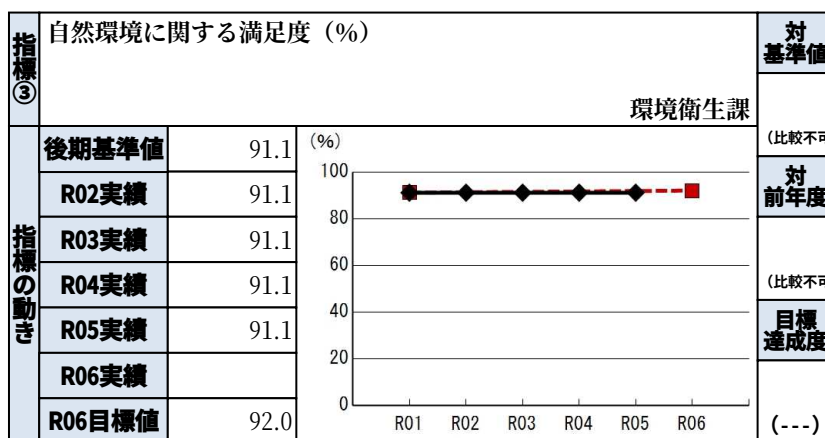
人口減少しているものの、1トン増加しており変化はみられない。市外から空き家等の廃棄物についての相談が増加しており、影響はあるものと考えられる。



指標値の注釈

特記事項

市に寄せられる相談・苦情はほぼ横ばいであるが、野良猫に関する相談・苦情がやや多くなっている。相談・苦情までに至っていない事案等も見込まれるため、今後も継続した対応が必要。



指標値の注釈

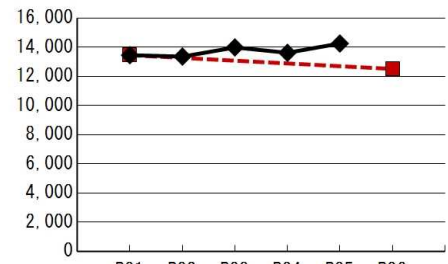
実績値の取得は隔年 (R2年度、R4年度、R6年度)

特記事項

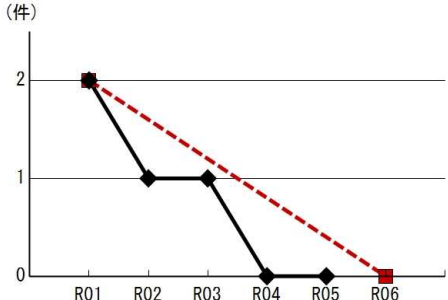
令和5年度を対象とする市民アンケート未実施により、実績値の取得が不可のため、評価内容は前年度のまちづくり報告書と同様とする。

■基本事業の成果状況と評価

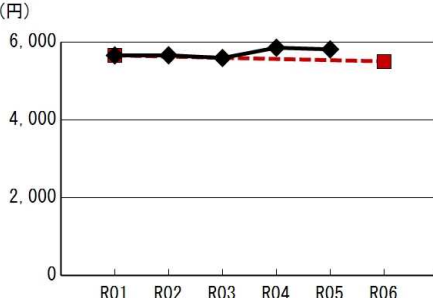
基本事業01 適正な廃棄物処理

指標①			環境衛生課		対基準値	指標値の注釈
					☂ (低下)	
指標の動き	後期基準値	13,446			対前年度	特記事項 処理単価等が増加してきており、市民一人あたりの廃棄物処理費用は639円の増加となった。
	R02実績	13,348			☂ (低下)	
	R03実績	13,975				
	R04実績	13,607				
	R05実績	14,246				
	R06実績					
	R06目標値	12,500			■ ■ ■ (低)	

基本事業01 適正な廃棄物処理

指標②			環境衛生課		対基準値	指標値の注釈
					☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	2			対前年度	特記事項 引き続き安全指導を徹底しており、目標値を達している。
	R02実績	1			☀ (向上)	
	R03実績	1				
	R04実績	0				
	R05実績	0				
	R06実績					
	R06目標値	0			目標達成度 🏰 (達成)	

基本事業01 適正な廃棄物処理

指標③	市民一人当たりのごみ収集費用（円）		環境衛生課	対基準値	指標値の注釈
指標の動き	後期基準値	5,653		対前年度	特記事項 令和5年10月から一部地域のごみ収集を入札により事業者を選定したことにより収集費用全体として減少となり、市民一人あたりのごみ収集費用は42円減少した。
	R02実績	5,657			
	R03実績	5,587			
	R04実績	5,851			
	R05実績	5,809			
	R06実績				
	R06目標値	5,500			

基本事業02 減量化・資源化の推進

指標①	市民一人当たりのごみの排出量（1日当たり）（グラム）		環境衛生課	対基準値	指標値の注釈														
				☂ (低下)															
指標の動き	後期基準値	716	(グラム) <table><thead><tr><th>年度</th><th>排出量 (グラム)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R01</td><td>716</td></tr><tr><td>R02</td><td>735</td></tr><tr><td>R03</td><td>753</td></tr><tr><td>R04</td><td>761</td></tr><tr><td>R05</td><td>741</td></tr><tr><td>R06</td><td>713</td></tr></tbody></table>	年度	排出量 (グラム)	R01	716	R02	735	R03	753	R04	761	R05	741	R06	713	対前年度	特記事項 粗大ごみ持ち込みや資源ごみが減少したため、市民一人当たりのごみの排出量（1日当たり）は20g減少した。
	年度	排出量 (グラム)																	
	R01	716																	
	R02	735																	
	R03	753																	
	R04	761																	
	R05	741																	
R06	713																		
R02実績	735	☁ (横ばい)																	
R03実績	753																		
R04実績	761																		
R05実績	741																		
R06実績																			
R06目標値	713	■ (中)																	

基本事業02 減量化・資源化の推進

指標②

リサイクル率（％）

環境衛生課

対基準値

(横ばい)

対前年度

(横ばい)

目標達成度

(低)

指標の動き

後期基準値	23
R02実績	24
R03実績	23
R04実績	23
R05実績	22
R06実績	
R06目標値	24

(%)

R01

R02

R03

R04

R05

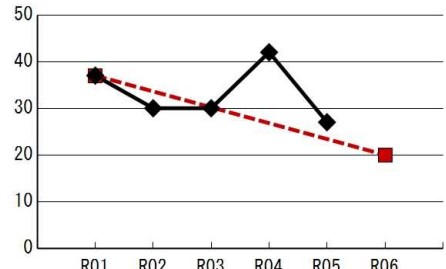
R06

指標値の注釈

特記事項

令和5年10月より製品プラスチックリサイクルを実施しているが、他の資源ごみの排出量が減少しており、わずかではあるがリサイクル率は減少した。

基本事業03 生活環境の改善

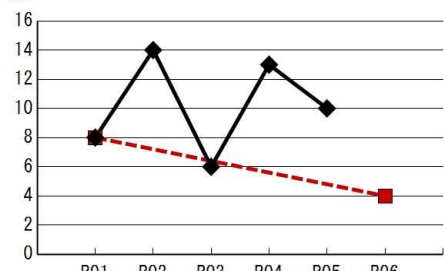
指標①	生活環境に関する苦情件数(含む不法投棄) (件)		環境衛生課	対基準値
				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	37		対前年度
	R02実績	30		☀ (向上)
	R03実績	30		目標達成度
	R04実績	42		■ ■ ■ (中)
	R05実績	27		
	R06実績			
	R06目標値	20		

指標値の注釈

特記事項

パトロール等を実施したことにより、苦情件数は前年度より減少している。ただ、苦情があっても対応しても、原因者の特定に至らず指導できない場合がある。また解決まで長期にわたる事案も増えている。

基本事業03 生活環境の改善

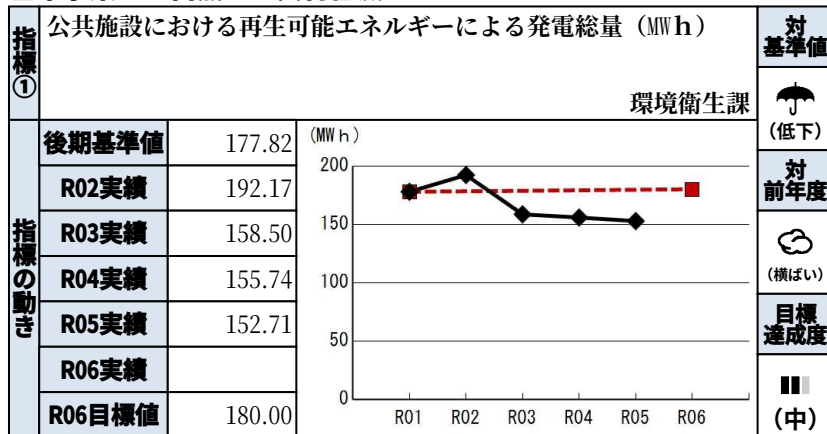
指標②	公害での指導件数（産業廃棄物含む）（件）		環境衛生課	対基準値
				☂ (低下)
指標の動き	後期基準値	8		対前年度
	R02実績	14		☀ (向上)
	R03実績	6		目標達成度
	R04実績	13		■ ■ ■ (低)
	R05実績	10		
	R06実績			
	R06目標値	4		

指標値の注釈

特記事項

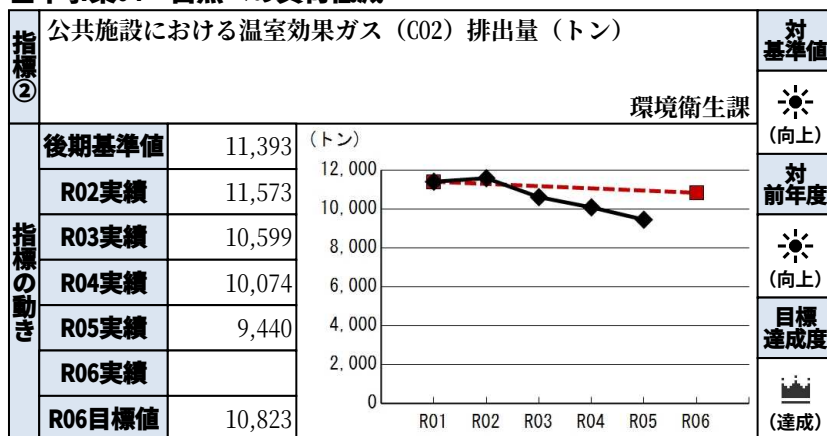
苦情件数は減少しているが、市民からの相談件数は増加している。

基本事業04 自然への負荷低減



指標値の注釈
特記事項
太陽光発電は太陽光をエネルギー源としていることから、天候や気候によって発電量が大きく変動するため、この程度であれば横ばいと判断した。前年度より明浜小と三瓶小の設備が稼働はしているものの計測ができなくなっている。基準値、目標値との差異が出ている。

基本事業04 自然への負荷低減



指標値の注釈
特記事項
施設の更新等において、高効率機器や省エネ機器を導入することにより電気使用量が減り、温室効果ガスの発生を抑制できている。また、クールビズ・ウォームビズの取り組みにより節電に努めたことも実績値向上の要因と推察する。今後も、脱炭素に繋がる取り組みを継続し、さらなる成果向上に努める。

基本事業05 生物多様性の保全・推進

指標①

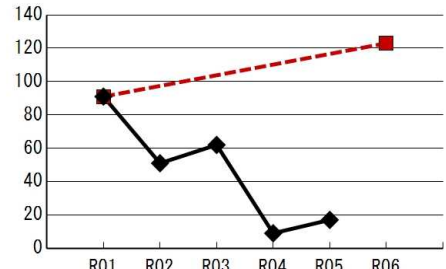
指標の動き

ツル・コウノトリの飛来数（羽）

環境衛生課

後期基準値	91
R02実績	51
R03実績	62
R04実績	9
R05実績	17
R06実績	
R06目標値	123

（羽）



対基準値

☂
（低下）

対前年度

☀
（向上）

目標達成度

■■■
（低）

指標値の注釈

特記事項

ナベヅル12羽、コウノトリ5羽の飛来は確認されたが、マナヅルの飛来は確認されなかった。数年ぶりにコウノトリの飛来が確認されたが、滞在日数は1日であったため、引き続き地域住民や活動団体と連携し、餌場やねぐら環境の保全・整備を図る。

政策 03 まちづくり

施策 09 地域情報化と情報発信力の向上

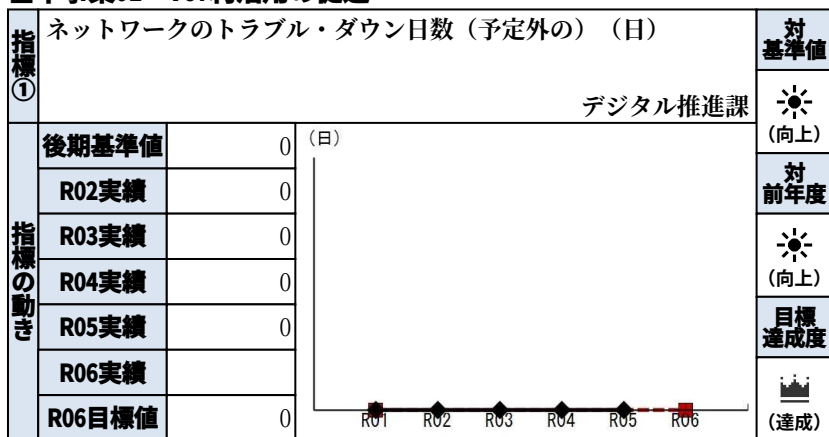
■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)	意図(どのような状態にしたいのか)
市民	市民の生活の中にICT機器が溶け込み充実した生活を送っています。

指標①	市内の情報環境が整っていると思う市民割合 (%)		政策推進課	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	70.7	(%)	(比較不可)	
指標の動き	R02実績	70.7		対前年度	特記事項 令和5年度を対象とする市民アンケート未実施により、実績値の取得が不可のため、評価内容は前年度のまちづくり報告書と同様とする。
	R03実績	70.7		(比較不可)	
	R04実績	70.7		(比較不可)	
	R05実績	70.7		目標達成度	
	R06実績			(---)	
	R06目標値	72.3			

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 ICT利活用の促進

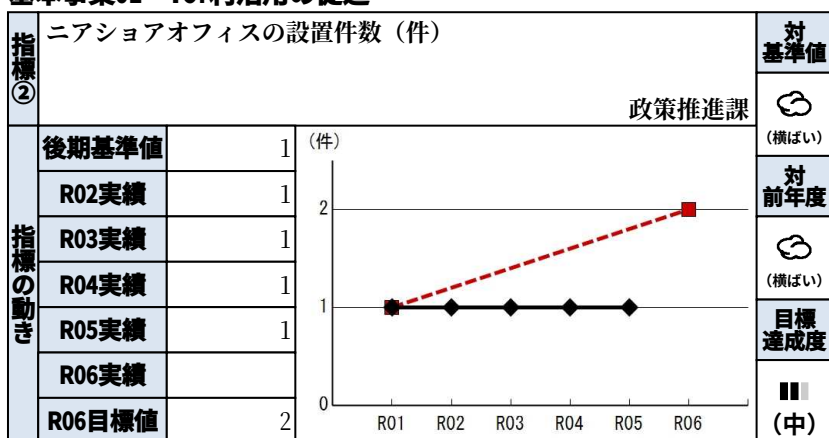


指標値の注釈

特記事項

予定外のネットワークのトラブル・ダウンは発生しなかった。グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

基本事業01 ICT利活用の促進

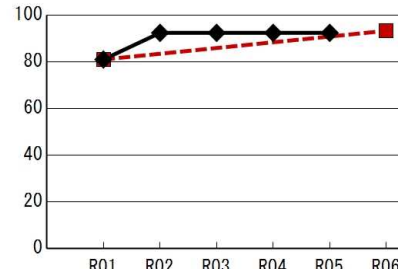


指標値の注釈

特記事項

新たな動きもなく増減はなかった。

基本事業02 情報提供及び発信の強化

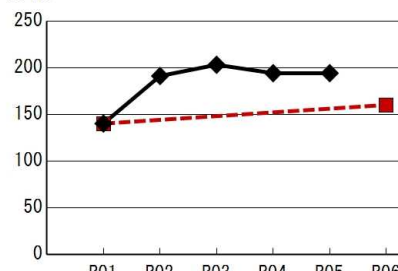
市の情報提供の質・量に満足している市民割合（％）		政策推進課		対基準値
指標①				
指標の動き	後期基準値	80.9		(比較不可)
	R02実績	92.3		対前年度
	R03実績	92.3		(比較不可)
	R04実績	92.3		(比較不可)
	R05実績	92.3		目標達成度
	R06実績			
	R06目標値	93.2		(---)

指標値の注釈

特記事項

令和5年度を対象とする市民アンケート未実施により、実績値の取得が不可のため、評価内容は前年度のまちづくり報告書と同様とする。

基本事業02 情報提供及び発信の強化

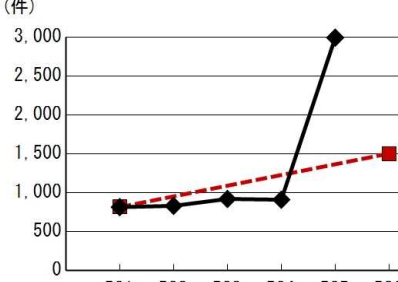
ホームページのアクセス数（万件）			政策推進課		対基準値
指標②					☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	140	(万件) 	対前年度	
	R02実績	191		(向上)	
	R03実績	203		(横ばい)	
	R04実績	194		目標達成度	
	R05実績	194		🏰 (達成)	
	R06実績				
	R06目標値	160			

指標値の注釈

特記事項

前年度に引き続き、アクセス数は横ばいとなっている。今後もページ内の表示方法の改善やSNSからのアクセスなどに取り組み、より見やすいホームページの構築に努める。

基本事業02 情報提供及び発信の強化

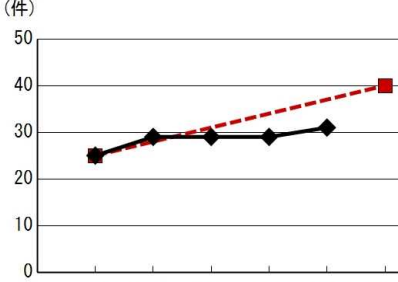
SNS等のフォロワー件数（件）		政策推進課		対基準値
指標の動き	後期基準値	812		（横ばい）
	R02実績	828		対前年度
	R03実績	917		（横ばい）
	R04実績	907		目標達成度
	R05実績	2,990		
	R06実績			
	R06目標値	1,500		（低）

指標値の注釈

特記事項

R5年度からFacebook以外のSNSのフォロワー数を計上。（Facebook918・Instagram395・YouTube322・LINE1355）状況把握や発信方法の改善箇所の洗い出しを行い、市民が情報を受け取りやすい体制構築に努める。

基本事業02 情報提供及び発信の強化

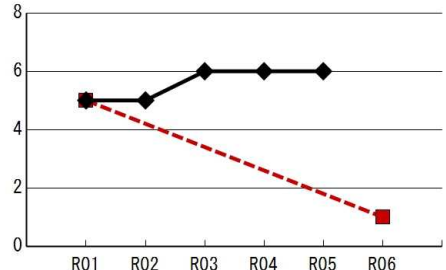
Wi-Fiアクセスポイントの設置件数（件）		デジタル推進課		対基準値
指標④				☀ (向上)
指標の動き	後期基準値	25		対前年度
	R02実績	29		☀ (向上)
	R03実績	29		目標達成度
	R04実績	29		■ ■ ■ (低)
	R05実績	31		
	R06実績			
	R06目標値	40		

指標値の注釈

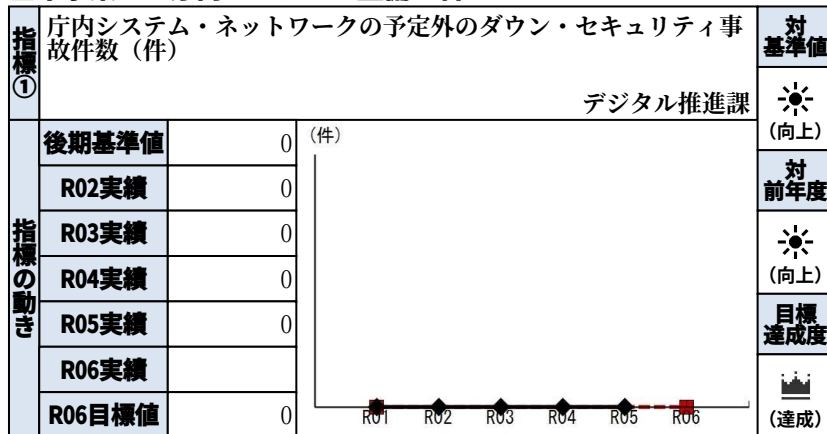
特記事項

令和5年度からの地域づくり活動センター化に伴い、新規設置されたセンター2か所に整備を行った。必要に応じて、FreeWi-Fiサービス自体の在り方など各種事例を参考に、今後の整備を検討する。

基本事業02 情報提供及び発信の強化

指標⑤	西予市の魅力度の県内順位（調査対象15自治体中）（位）		政策推進課	対基準値	指標値の注釈
				☁ (横ばい)	
指標の動き	後期基準値	5		対前年度	特記事項 当市票の調査対象である県内15自治体での順位は昨年度から変化がないものの、全国順位は前年度より向上している。今後も、当市の魅力度向上のため、工夫して事業を推進する。
	R02実績	5		☁ (横ばい)	
	R03実績	6			
	R04実績	6			
	R05実績	6			
	R06実績				
	R06目標値	1		目標達成度 ■■■ (低)	

基本事業03 庁内システムの整備と管理

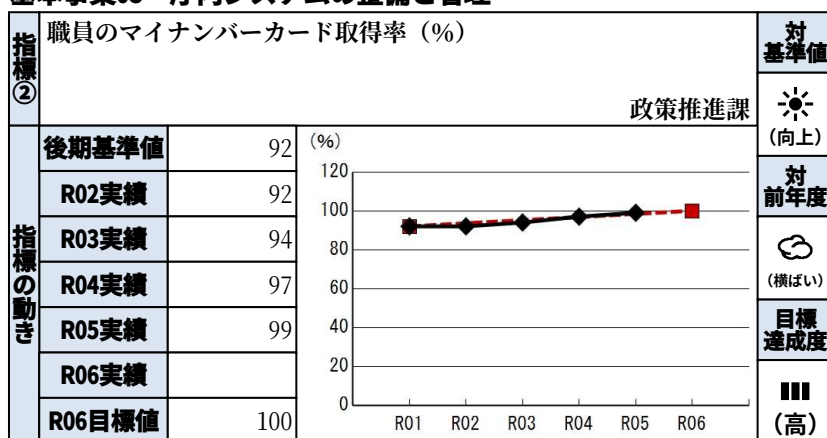


指標値の注釈

特記事項

庁内システム・ネットワークの予定外のダウン・セキュリティ事故は発生しなかった。グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

基本事業03 庁内システムの整備と管理

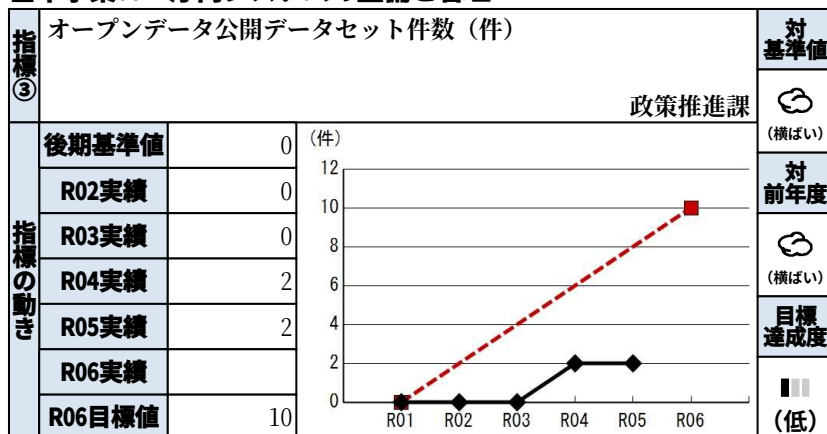


指標値の注釈

特記事項

顔認証マイナンバーカードの運用開始や国のマイナポイント事業及び公用車や庁内公共スペースを活用した普及促進の周知の効果もあり、実績値はやや向上した。

基本事業03 庁内システムの整備と管理



指標値の注釈

特記事項

前年度に引き続き、掲載数は横ばいとなっている。

政策 04 行財政

施策 01 持続的な行政経営への取り組み推進

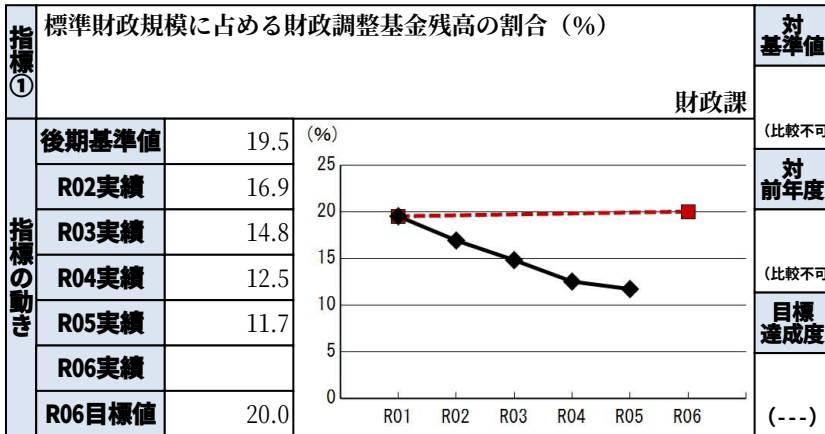
■施策の目的と成果状況

対象(誰、何を対象としているか)

財政、市有財産、施策・事務事業

意図(どのような状態にしたいのか)

健全な行財政運営が持続されています。

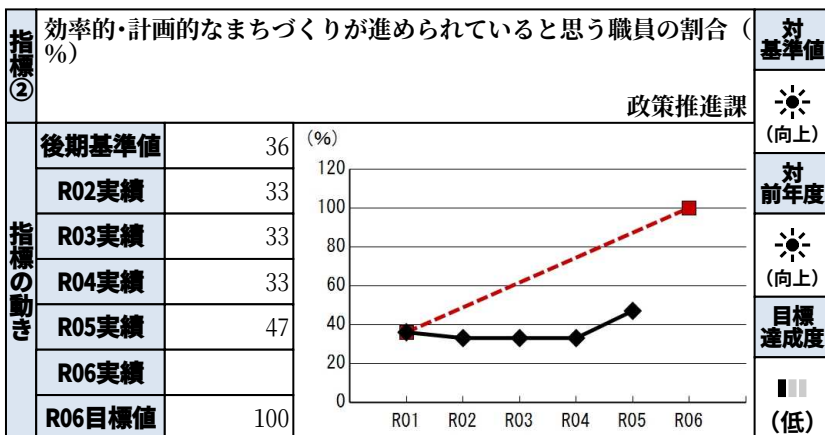


指標値の注釈

指標の増減が成果と言えないため、比較不可。

特記事項

元利償還金の増加等に伴う財源不足に対応した結果、財政調整基金の残高が令和4年度より約1億8千万円減少し、指標値が0.8ポイント低下。

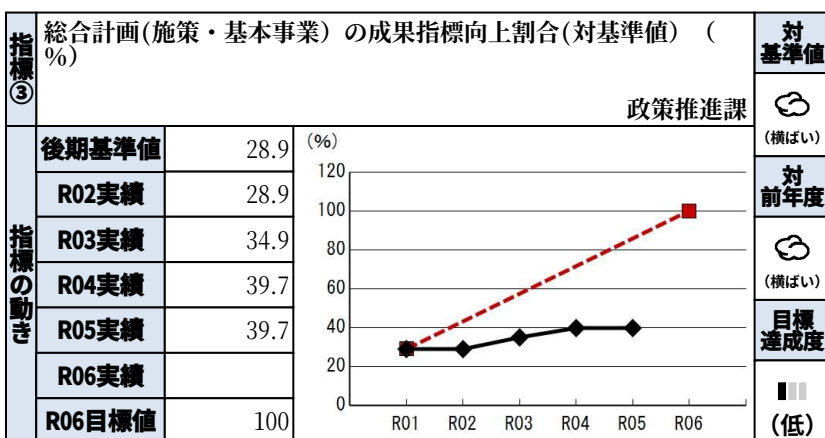


指標値の注釈

実績値の取得 (R2年度、R5年度)

特記事項

職員アンケートの結果は前回より向上したが、「どちらかといえばそう思う」と回答した職員が、47%のうち45%を占めている。職員が効率化・計画性を強く実感できるよう改善に努める。



指標値の注釈

特記事項

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、各事業の動きが再開したが、実績値は前年度と同様となった。今後も、総合計画の目標値達成に向けて各施策の推進に努める。

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 財政運営の健全化

指標①		実質赤字比率（％）		対基準値
				財政課
指標の動き	後期基準値	-		(比較不可)
	R02実績	-		対前年度
	R03実績	-		(比較不可)
	R04実績	-		目標達成度
	R05実績	-		(---)
	R06実績	-		
	R06目標値	-		

指標値の注釈

特記事項

実質赤字が無い場合、指標値は「-」と表示される。

基本事業01 財政運営の健全化

連結実質赤字比率（％）		対基準値
指標②	財政課	
指標の動き	後期基準値	-
	R02実績	-
	R03実績	-
	R04実績	-
	R05実績	-
	R06実績	-
	R06目標値	-
		(比較不可)
		対前年度
		(比較不可)
		目標達成度
		(---)

指標値の注釈

特記事項

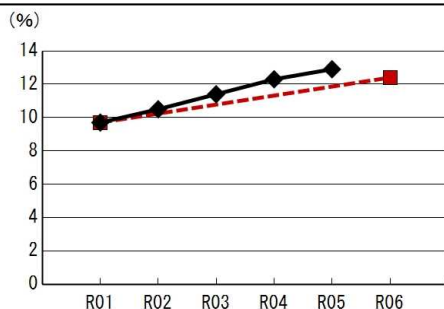
連結実質赤字が無い場合、指標値は「-」と表示される。

基本事業01 財政運営の健全化

指標③		実質公債費比率（％）		対基準値	
				対基準値	
				傘 (低下)	
				対前年度	
				傘 (低下)	
				目標達成度	
				■■■ (高)	

指標の動き		実質公債費比率（％）		財政課	
後期基準値	9.7	(%)			
R02実績	10.5				
R03実績	11.4				
R04実績	12.3				
R05実績	12.9				
R06実績					
R06目標値	12.4				

R01	R02	R03	R04	R05	R06
-----	-----	-----	-----	-----	-----

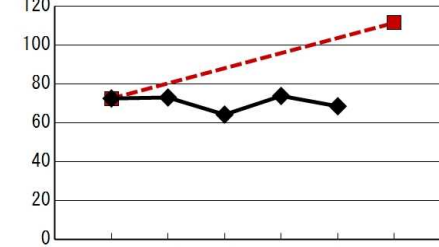


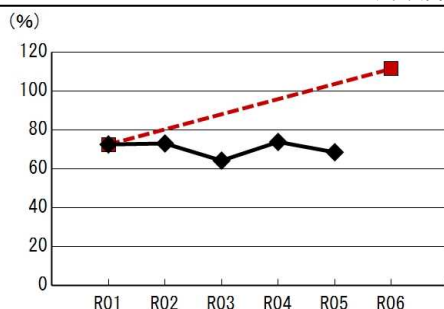
指標値の注釈

特記事項

令和5年度の元利償還金の額が前年度と同水準であったことから0.6ポイントの低下となった。今後は、起債枠の設定により、将来の公債費負担の軽減に向けた中長期的な取り組みに努める。

基本事業01 財政運営の健全化

将来負担比率（％）		対基準値	
指標④			☀️ (向上)
		財政課	対前年度
指標の動き			☀️ (向上)
後期基準値	72.4		目標達成度
R02実績	72.9		🏰 (達成)
R03実績	64.1		
R04実績	73.7		
R05実績	68.4		
R06実績			
R06目標値	111.3		

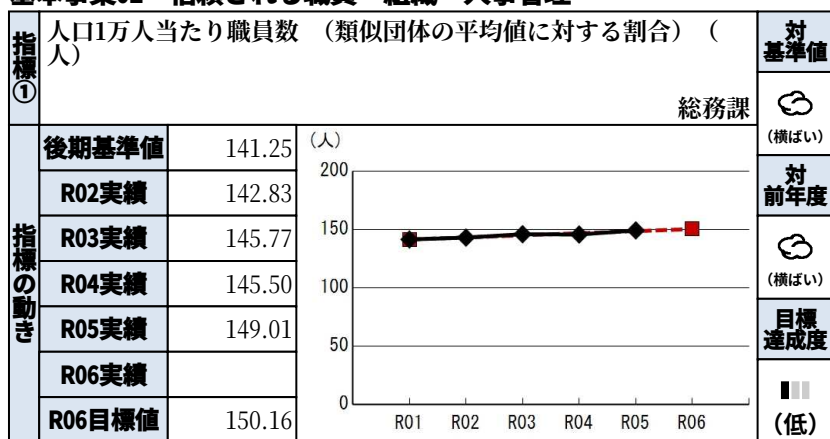


指標値の注釈

特記事項

元金償還に伴う地方債現在高の減少により5.3ポイント向上したが、今後、充当可能基金の減少等により上昇が見込まれる。後年度の公債費削減に向けた取り組みが重要であり、実質公債費比率の取り組み同様に起債枠の設定により中長期的な視点で対応を進める。

基本事業02 信頼される職員・組織・人事管理

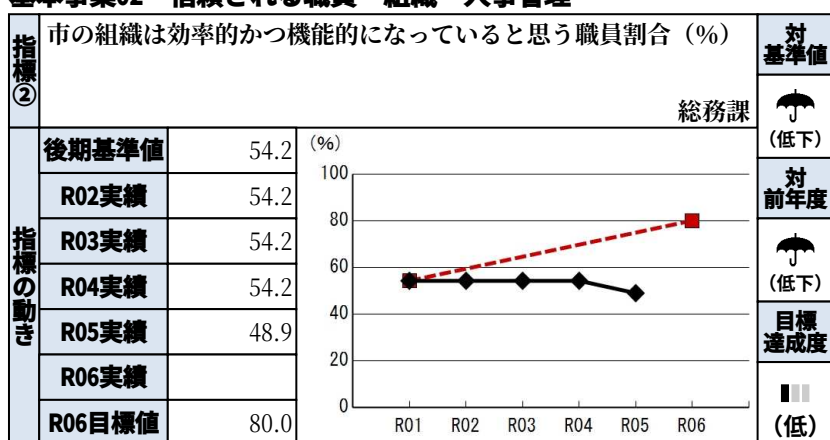


指標値の注釈

特記事項

公民館の地域づくり活動センター化をはじめとした組織再編及び消防職員の採用増などにより、実績値が上昇した。今後は、定年延長を考慮した採用を行うとともに、不足する専門職やより専門的な人材の確保の検討を行う。

基本事業02 信頼される職員・組織・人事管理



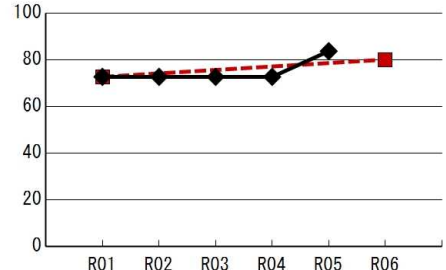
指標値の注釈

実績値の取得（R2年度、R5年度）

特記事項

前回調査時以降、大規模な組織機構改革や職員数の減少などがあり、単純に比較することが困難である。今後の状況を分析し、より機能的かつ効率的な組織を目指せるよう検討を行う。

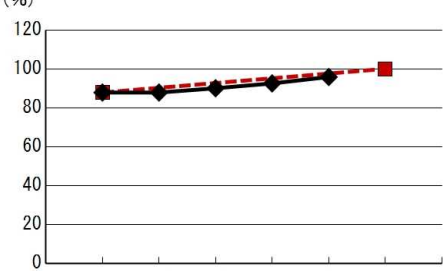
基本事業03 成果志向・効率的な仕事の推進

指標①	業務改善・働き方見直し等の取り組みを行っていると感じている職員の割合（％）		総務課	対基準値 ☀ (向上)
	後期基準値	72.6		
指標の動き	R02実績	72.6		対前年度 ☀ (向上)
	R03実績	72.6		目標達成度 🏠 (達成)
	R04実績	72.6		
	R05実績	83.61		
	R06実績			
	R06目標値	80.0		

指標値の注釈
実績値の取得（R2年度、R5年度）

特記事項
業務改善・働き方見直し等の取り組みの推進が図られたため、実績値が向上した。

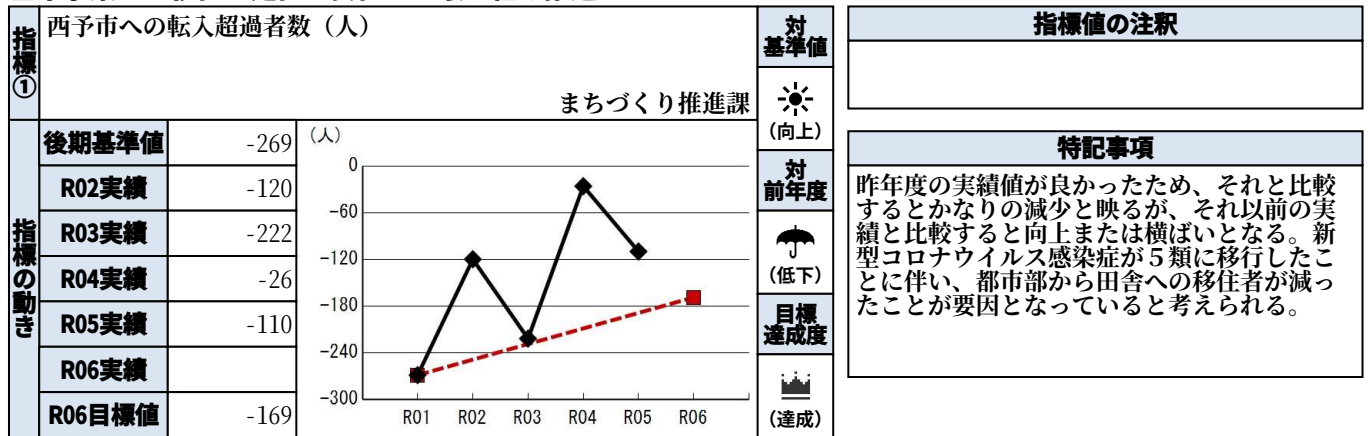
基本事業03 成果志向・効率的な仕事の推進

指標②	成果が向上した事務事業割合（通常評価のみ）（％）		政策推進課	対基準値 ☀ (向上)
	後期基準値	87.8		
指標の動き	R02実績	87.8		対前年度 ☀ (向上)
	R03実績	90.0		目標達成度 🏠 (中)
	R04実績	92.5		
	R05実績	95.8		
	R06実績			
	R06目標値	100		

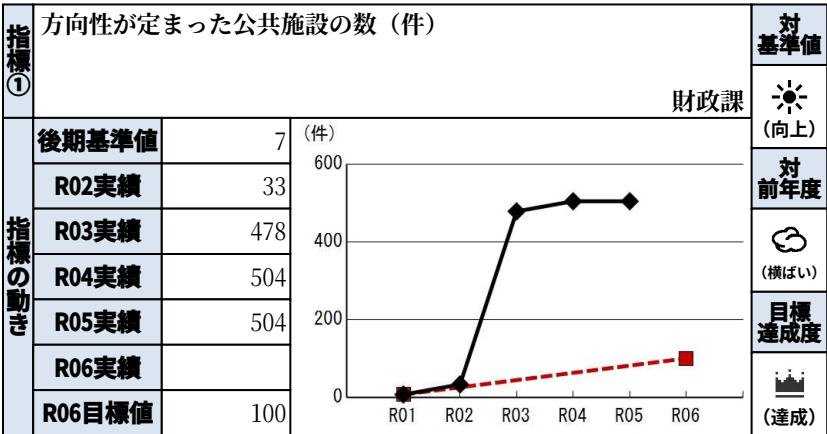
指標値の注釈

特記事項
各事務事業において適切な事務の推進が図られたため、前年度比で実績値が向上した。

基本事業04 移住・定住・安住への取り組み推進

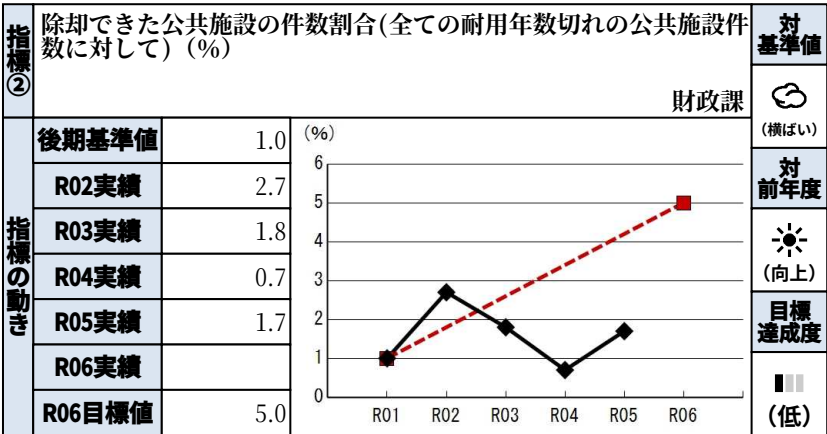


基本事業05 公共施設マネジメントの推進



指標値の注釈
特記事項
令和4年度に西予市公共施設個別施設計画を策定し、14分野504施設の方向性を示した。今後も、施設の方向性に沿って施設管理を進めるが、一部の施設では見直しが必要となる場合もあるため、検討・協議を継続する。

基本事業05 公共施設マネジメントの推進



指標値の注釈
特記事項
令和5年度においては、耐用年数切れの建物が831棟あり、14棟の除却を行うことができた。今後も、耐用年数切れの建物については、継続して除却を進める必要がある。

基本事業06 情報公開と保護

指標①	不服申立てによる情報公開決定件数（件）		総務課	対基準値 ☀ (向上)
	後期基準値	0		
指標の動き	R02実績	0		対前年度 ☀ (向上)
	R03実績	0		目標達成度 🏠 (達成)
	R04実績	0		
	R05実績	0		
	R06実績	0		
	R06目標値	0		

指標値の注釈

特記事項

グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

基本事業06 情報公開と保護

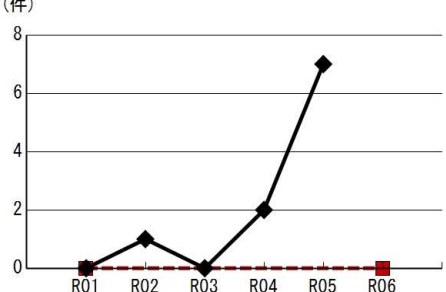
指標②	個人情報に関するトラブル・事故件数（件）		総務課	対基準値 ☀ (向上)
	後期基準値	0		
指標の動き	R02実績	0		対前年度 ☀ (向上)
	R03実績	0		目標達成度 🏠 (達成)
	R04実績	0		
	R05実績	0		
	R06実績	0		
	R06目標値	0		

指標値の注釈

特記事項

グラフは横ばい傾向に見て取れるが、実績値0を目指す指標のため、対前年度、対基準値の評価は「向上」とする。

基本事業07 適切な事務の執行（内部統制的）※会計課、議会事務局、選挙、監査等含む

指標①	適正な事務処理がされず市民に影響を与えた件数（件）		政策推進課		対基準値	指標値の注釈
					☂ (低下)	
指標の動き	後期基準値	0			対前年度	特記事項 ※実績値の誤りにより以下のとおり修正 R2実績値0→1 R4実績値0→2
	R02実績	1			☂ (低下)	
	R03実績	0			☂ (低下)	
	R04実績	2			☂ (低下)	
	R05実績	7			目標達成度	
	R06実績				■ ■ ■	
	R06目標値	0			(低)	